

(tokyo-f-unigrammar)

フィリピン語文法モジュールへようこそ

フィリピン語とはフィリピンの国語の名称です。1986年にマルコス独裁政権が倒れ、翌年に新憲法が制定されるまでは、ピリピノ語と呼ばれていました。ただ、国語の名称が何であれ、その実態はマニラ首都圏やその周辺諸州で使われているタガログ語とほとんど変わりありません。現在、日本国内に住んでいる方が、フィリピン語（あるいはタガログ語）の文法を学ぼうとするとき、手に入るきちんとした文法書はほとんどありません。したがって、このコースでは、フィリピン語を習得する上で、ぜひとも知っておく必要のある文法事項、特に動詞を中心としたものを取り上げました。動詞が多く、少々味気ないかもしれませんが、“急がば回れ”で、がんばりましょう。動詞をきちんと使えるようになれば、フィリピン語はほぼ習得できたも同じです。

ステップ名リスト

ang 句と基本文1の作り方

基本文1を疑問文にする

基本文1を否定文にする

基本文2の作り方

基本文3の作り方

基本文2と基本文3を疑問文と否定文にする

繋辞(リンカー)

所有・所属の表し方

ng 形の人称代名詞と指示代名詞

特別な人称代名詞 kita

sa 句を使って場所や方向を表す

sa 句を使って所有者を表す

para sa 句を使って恩恵を表す

may, mayroon, wala を使って人や物の存在の有無を表す

may, mayroon, wala を使って人や物の存在の有無をたずねる

may, mayroon, wala を使って人や物を所有しているか否かを表す

may を使った所有表現を疑問文にする

mayroon, wala, marami を使った所有表現・非所有表現を疑問文にする

人や物の所在を表す nasa 句

人や物の所在を表す

人や物の非所在を表す

所在・非所在文を疑問文にする

一般形容詞とその強調形

形容詞の最上級と比較級

同等を表す形容詞

人や物の性質や状態の度合いを表す

小辞と呼ばれる副詞

時を表す副詞(句)

1日の時間を表す

物や人、場所の好き嫌いを表す

擬似動詞と疑問代名詞

擬似動詞の形容詞的な使われ方

フォーカスと接辞

モードと接辞

アスペクト(相)と接辞

動詞文と補語

行為者フォーカス動詞の mag-動詞
 行為者フォーカス動詞の -um-動詞
 形容詞や副詞による動詞の修飾
 行為者フォーカス動詞の mang-動詞
 行為者フォーカス動詞の m-動詞
 huwag, dapat, maaari / puwede による動詞の修飾
 gusto, ayaw, kailangan による動詞の修飾
 状況モードの maka-動詞
 参加モードの maki-動詞
 行為者フォーカスの ma-動詞
 行為者フォーカスの ma- -an 動詞
 目的フォーカス動詞の -in 動詞
 疑問代名詞と動詞の関係
 目的フォーカス動詞の i-動詞
 恩恵フォーカスの i-動詞
 目的・恩恵フォーカス動詞の -an 動詞
 方向・場所フォーカス動詞の -an 動詞
 恩恵フォーカス動詞の ipag-動詞
 方向・場所フォーカス動詞の pag- -an 動詞
 話題フォーカス動詞の pag- -an 動詞
 道具フォーカス動詞の ipang-動詞
 方向フォーカス動詞の ka- -an 動詞
 理由フォーカス動詞の ika-動詞
 非行為者フォーカス動詞の状況モード
 近完了表現
 使役者フォーカス動詞の magpa-動詞
 被使役者フォーカス動詞の pa- -in 動詞と pag- -in 動詞
 使役目的フォーカス動詞の ipa-動詞と pa- -an 動詞
 may, mayroon, wala を使って不特定な行為者や対象の存在の有無を表す
 倒置文

フィリピン語文法入門コース

Lesson01 : ang 句と基本文 1 について

フィリピン語の文の多くは、主語と述語からできています。主語と述語からできている文を基本文といいます。主語と述語の位置、加えて主語に冠詞がついているかどうかで基本文は3つのタイプに分かれます。この課では一番良く使われるタイプの基本文 1 を勉強します。

Step1 : ang 句と基本文 1 の作り方

フィリピン語で一番よく使われるタイプの文が基本文 1 です。「～は…です」のように一般的な事実を表すために用いられます。基本文 1 の特徴は、述語が主語の前に位置し、かつ、その主語が限定されていることです。主語が限定されているということは主語となる名詞(句)の前に、英語の冠詞 the に相当する ang, si, sina がつくことを意味します。主語が代名詞の場合は〈ang + 名詞〉に相当する ang 形という形をとります。冠詞のついた名詞(句)、ang 形の代名詞を一括したものが ang 句です。

基本文 1 : 〈述語〉 + 〈ang 句で表わされる限定された主語〉

ang 句 : ang + (mga) + 普通名詞
 ang + 固有名詞
 si(単) / sina(複) + 人名
 ang 形の人称代名詞・指示代名詞

※ mga は後ろに来る名詞が複数であることを示す記号のようなものです。

Step1 : ang 句と基本文 1 の作り方

主語を形成する ang 形の人称代名詞と指示代名詞は以下のようになります。
基本文 1 では、主語が限定されています。

〈ang 形の人称代名詞〉

	単数	複数	
1 人称	ako 私	tayo* 私たち	*…話し相手を含む 1 人称複数形。
		kami** 私ども	**…話し相手を含まない 1 人称複数形。
2 人称	ikaw/ ka 君	kayo あなたたち	本書ではこの訳を「私ども」としました。
3 人称	siya 彼/彼女	sila 彼たち / 彼女たち	

人称代名詞を扱うときは以下の点に注意してください。

- ・男女の区別はありません。
- ・1 人称複数の tayo は話し相手を含むのに対し、kami は話し相手が含まれません。
- ・2 人称単数の ikaw は文頭にくる場合のみに用いられ、ka は文中、文末にくる場合に用いられます。
- ・kayo は本来は 2 人称複数ですが、相手が 1 人でも敬意を払うときに使われます。

〈ang 形の指示代名詞〉

	単数	複数	
話し手の近く	ito これ	ang mga ito これら	
聞き手の近く	iyon それ	ang mga iyan それら	
両者から離れて	iyon あれ	ang mga iyon あれら	

ang 形の指示代名詞は、話し手の近く、聞き手の近く、両者から離れての 3 種類で、単数と複数がそれぞれあります。普通、物を表すために使われますが、時には人を表すためにも使われます。例文を見ながら使い方を覚えてしまいましょう。

基本文 1 では、主語は限定されていますが述語は限定されていません。つまり述語には冠詞がつきません。述語は動詞や形容詞などに加え名詞(句)や数詞、前置詞が一般的です。
基本文 1 の例文をもう少し見てみましょう。

1) 〈述語〉 + ang + (mga) + 普通名詞

ang + 固有名詞

si / sina + 人名

Naglalaro ang mga bata. 子供たちは遊んでいます。(maglaro 遊ぶ)

動詞

Masaya ang pista. 祭りは楽しいです。

形容詞

Malaki ang Luneta park. ルネタ公園は大きいです。

形容詞

Sampu ang mga saging. バナナは 10 本です。

数詞

「sampu は isang+pu (10 を示す) から i が脱落し ng が p と同化し m に変化」

ちなみに数詞の語末のリンカーの ng とその他の子音との同化のルールは次の通り

ng+b, p → ng は m に変化

ng+d, l, s, t → ng は n に変化

Estudyante si Lita. リタは学生です。

名詞

Nasa probinsya sina Cherry. チェリーたちは地方にいます。

前置詞句

2) 〈述語〉 + 〈ang 形の人称代名詞〉

Natutulog sila. 彼らは寝ています。(matulog 寝る)

動詞

Maligaya siya. 彼は幸せです。

形容詞

Kuripot ka. あなたはケチです。

形容詞

Estudyante kami. 私たちは学生です。

名詞

Lima kayo. あなたたちは5人です。

数詞

3) 〈述語〉 + 〈ang 形の指示代名詞〉

Maasim ito. これはすっぱいです。

形容詞

Matangkad ito. これは(この人は)背が高いです。

形容詞

Anim iyan. それは6つです。

数詞

Mangga ang mga ito. これらはマンゴーです。

名詞

Pagkain ang mga iyon. あれらは食べ物です。

(Step1) : ang 句と基本文1の作り方 ang 形を使った例文

Naglalaro ang mga bata. (子供たちは遊んでいます。)

Estudyante si Lita. (リタは学生です。)

Natutulog sila. (彼らは寝ています。)

Estudyante kami. (私たちは学生です。)

Maasim ito. (これはすっぱいです。)

Mangga ang mga ito. (これらはマンゴーです。)

Step2 : 基本文1を疑問文にする

基本文1を疑問文にするときには述語と主語の間に **ba** を入れます。

〈述語〉 + **ba** + 〈主語〉 ?

疑問文に答えるのに一番簡単な方法は単に **Oo**. 「はい」、または **Hindi**. 「いいえ」です。ただし話し相手が年上だったりするときは、もう少し丁寧に **Opo**. または **Hindi po**. で答えます。

Pilipina ba si Lita? リタはフィリピン人ですか。

Oo. / Opo. はい。 Hindi. / Hindi po. いいえ。

Step2 : 基本文1を疑問文にする

基本文1を疑問文にするには、述語と主語の間に **ba** を入れます。

ただし、主語が2人称単数の **ka** のときには **ba** の位置は **ka** の後ろになります。

次の例文を疑問文にしてみましょう。

疑問文

Matamis ang mangga. → Matamis ba ang mangga? マンゴーは甘いですか。

Hinog ang mga saging. → Hinog ba ang mga saging? バナナは熟れていますか。
 Makulit si John. → Makulit ba si John? ジョンは頑固ですか。
 Masaya ka. → Masaya ka ba? あなたは幸せですか。
 Gutom ka. → Gutom ka ba? あなたはお腹が空いていますか。
 Pagod kayo. → Pagod ba kayo? あなたは疲れませんか。
 Matibay ito. → Matibay ba ito? これは丈夫ですか。
 Sampagita ang mga ito. → Sampagita ba ang mga ito? これらはサンパギータですか。
 Mabait siya. → Mabait ba siya? 彼は親切ですか。

(Step2) : 基本文 1 を疑問文にする 疑問文

Matamis ba ang mangga? (マンゴーは甘いですか。)
 Makulit ba si John? (ジョンは頑固ですか。)
 Masaya ka ba? (あなたは幸せですか。)
 Sampagita ba ang mga ito? (これらはサンパギータですか。)

Step3 : 基本文 1 を否定文にする

hindi は英語の no 「いいえ」のほかに、not 「違います」の意味でも使われます。ここでは hindi を使った基本文 1 の勉強をします。なお hindi が文頭に来ることによって文中の単語の位置が変わることがあるので注意しましょう。

Sariwa ang mga gulay. → Hindi sariwa ang mga gulay.
 この野菜は新鮮です。 この野菜は新鮮ではありません。
 Guwapo siya. → Hindi siya guwapo.
 彼はハンサムです。 彼はハンサムではありません。

Step3 : 基本文 1 を否定文にする

基本文 1 の主語が〈ang + 名詞〉、〈si / sina + 人名〉の場合は、これを否定文にしても、述語が主語の前にくるという本来の位置関係は変わりません。しかし、主語が人称代名詞や指示代名詞(単数)の場合は、hindi が文頭にくることによって、主語が hindi のすぐ後にきて、述語が主語をはさむような形になります。

1) 主語が〈ang + 名詞〉、〈si / sina + 人名〉の場合

Mura ang pinya. パイナップルは安いです。

述語 主語

→ Hindi mura ang pinya. パイナップルは安くありません。

述語 主語

Matamis ang pakwan. スイカは甘いです。

述語 主語

→ Hindi matamis ang pakwan. スイカは甘くありません。

述語 主語

Pilipina si Carmen. カルメンはフィリピン人です。

述語 主語

→ Hindi Pilipina si Carmen. カルメンはフィリピン人ではありません。

述語 主語

Malusog sina Ramon. ラモンたちは健康です。

述語 主語

→ Hindi malusog sina Ramon. ラモンたちは健康ではありません。

述語 主語

2) 主語が人称代名詞や指示代名詞(単数)の場合

Gutom ako. 私はお腹が空いています。

述語 主語

→ Hindi ako gutom. 私はお腹が空いていません。

述語 主語 述語

Mataba ka. あなたは太っています。

述語 主語

→ Hindi ka mataba. あなたは太っていません。

述語 主語 述語

Malungkot sila. 彼らは寂しいです。

述語 主語

→ Hindi sila malungkot. 彼らは寂しくありません。

述語 主語 述語

Gumamela ito. これはハイビスカスです。

述語 主語

→ Hindi ito gumamela. これはハイビスカスではありません。

述語 主語 述語

(Step3) : 基本文1を否定文にする 否定文

Hindi mura ang pinya. (パイナップルは安くありません。)

Hindi Pilipina si Carmen. (カルメンはフィリピン人ではありません。)

Hindi ako gutom. (私はお腹が空いていません。)

Hindi ito gumamela. (これはハイビスカスではありません。)

Lesson02 : 基本文2、基本文3と繋辞について

1 課では基本文1について学びましたが、この課では基本文2、基本文3を学びます。さらに繋辞と呼ばれるものを使って単語を修飾する方法を学習します。

Step1 : 基本文2の作り方

基本文1は述語が主語より前にきますが、基本文2は主語が述語より前にきます。基本文1では主語だけが冠詞 (ang, si, sina) に導かれていましたが、基本文2では主語に加え、述語の前にも冠詞の ang がつきます。つまり主語と述語、両方が限定された文と言えます。基本文1が単なる事実「～は…です」を表すのに対して、基本文2は「～が…です」という、他の「どれ、誰」でもなく、まさに「これ、この人が」という表現になります。

基本文1 Natutulog ang bata. 子供は寝ています。

述語 主語

基本文2 Ang bata ang natutulog. 子供が寝ています。

主語 述語

基本文1 Pinakapopular si Andrew. アンドリューが一番人気があります。

述語 主語

*最上級「最も～である」という表現 接頭辞 PINAKA-を形容詞に直接つける。

**最上級には上記以外に「KA- +語根の二音節繰り返し+ -AN」の形がある。

kabigat-bigatan 最も重い **kalinis-linisan** 最も清潔な

kasama-samaan 最も悪い **kataas-taasan** 最も高い

基本文2 Si Andrew ang pinakapopular. アンドリューが一番人気があります。

主語 述語

Step1 : 基本文2の作り方

疑問代名詞 sino「誰」や alin「どれ」で始まる疑問文、その答えとして使われる文が基本文2に属します。もっとも、答えとして使われる文は単独でも用いられます。

〈限定された主語〉	+	〈限定された述語〉
ang + (mga) + 普通名詞		動詞
ang + 固有名詞		形容詞
si(単)/sina(複) + 人名	+ ang +	名詞(句)
ang 形の人称代名詞・指示代名詞		前置詞句
疑問代名詞 sino と alin		その他

基本文2においては主語が文頭にくるため、2人称単数はkaではなくikawを使います。

〈限定された主語〉 〈限定された述語〉

Alin	ang sampagita?	どれがサンパギータですか。
Ito	ang sampagita.	これがサンパギータです。
Alin	ang mabango?	どれがよい香りですか。
Ito	ang mabango.	これがよい香りです。
Sino	ang mabait?	誰が親切ですか。
Ikaw	ang mabait.	あなたが親切です。
Sino	ang taga-Pilipinas?	誰がフィリピン出身ですか。
Sina Malu	ang taga-Pilipinas.	マルーたちがフィリピン出身です。
Sino	ang kumakanta?	誰が歌っていますか。(kumanta)
Ang mga bata	ang kumakanta.	子供たちが歌っています。

(Step1) : 基本文2の作り方 基本文2

Alin ang sampagita? Ito ang sampagita. (どれがサンパギータですか。これがサンパギータです。)

Sino ang mabait? Ikaw ang mabait. (誰が親切ですか。あなたが親切です。)

Sino ang kumakanta? Ang mga bata ang kumakanta. (誰が歌っていますか。子供たちが歌っています。)

Step2 : 基本文3の作り方

この課では、主語と述語からできている、基本文の最後のパターンとも言える基本文3について勉強します。基本文3は、基本文2と同じく主語が述語より先にきますが、限定されているのは、述語だけです。つまり、述語には冠詞のangがつきますが、主語には冠詞(ang, si, sina)はつきません。

基本文1 Mapait ang mga ampalaya. ニガウリは苦い。

基本文2 Ang mga ampalaya ang mapait. ニガウリが苦い。

基本文3 Mga ampalaya ang mapait. ニガウリが苦い。

基本文1は「ニガウリは苦い」という事実を伝えている文ですが、基本文2と基本文3はAno ang mapait? 「何が苦いのですか。」という文の答えとして使われる場合が多いと言えます。

基本文3が「ニガウリ一般が苦い」という意味に解釈されるのに対し、基本文2は「ある特定のニガウリが苦い」という意味に解釈できます。

Step2 : 基本文3の作り方

疑問代名詞anoで始まる文やその答えがこの基本文3に属します。基本文2と基本文3の違いは、主語が限定されているかどうかの違いです。主語が限定されているということは、その主語がある特定のものと解釈できるのに対し、限定されていない主語とは、不特定で、かつ一般的なものと解釈できます。

基本文3 : 〈限定されていない主語〉 + 〈限定された述語〉

		動詞
(mga) + 名詞(句)		形容詞
疑問代名詞のano +	ang +	名詞(句)
		前置詞句

その他

Ano ang lumilipad? 何が飛んでいるの。(lumipad)

Mga paruparo ang lumilipad. チョウが飛んでいます。

Ano ang masarap? 何がおいしいですか。

Mangga ang masarap. マンゴーがおいしいです。

Ano ang pangalan mo? 何があなたの名前ですか。→あなたの名前は何ですか。

Tony ang pangalan ko. トニーが私の名前です。→私の名前はトニーです。

(Step2) : 基本文3の作り方 基本文3を使った例文

Ano ang lumilipad? Mga paruparo ang lumilipad.

(何が飛んでいるの。チョウが飛んでいます。)

Ano ang masarap? Mangga ang masarap.

(何がおいしいですか。マンゴーがおいしいです。)

Ano ang pangalan mo? Tony ang pangalan ko.

(あなたの名前は何ですか。トニーが私の名前です。(→私の名前はトニーです。))

Step3 : 基本文2と基本文3を疑問文と否定文にする

この課では、基本文2と基本文3をまず疑問文にする方法を学びます。

次に否定文にする方法を学びます。

基本文1 Maganda ba si Lita? リタは美しいですか。

基本文2 Si Lita ba ang maganda? リタが美しいですか。

基本文3 Mga dalaga ba ang maganda? (不特定の)乙女たちが美しいですか。

基本文1 Hindi maganda si Lita. リタは美しくありません。

基本文2 Hindi si Lita ang maganda. リタが美しくありません。

Si Lita ang hindi maganda.

基本文3 Hindi mga dalaga ang maganda. (不特定の)乙女たちは美しくありません。

Mga dalaga ang hindi maganda.

Step3 : 基本文2と基本文3を疑問文と否定文にする

I. 基本文2と基本文3を疑問文にするには、主語と述語の間に ba を入れます。

基本文2 Ito ang sariwa. これが新鮮です。→ Ito ba ang sariwa? これは新鮮ですか。

Si Heneral Aguinaldo ang unang presidente ng Pilipinas.

アギナルド将軍がフィリピンの最初の大統領です。

→ Si Heneral Aguinaldo ba ang unang presidente ng Pilipinas?

アギナルド将軍がフィリピンの最初の大統領ですか。

Sampagita ang paborito niyang bulaklak. サンパギータが彼女のお気に入りの花です。

→ Sampagita ba ang paborito niyang bulaklak? サンパギータが彼女のお気に入りの花ですか。

基本文3 Adobo ang pinakapopular na ulam. アドボが一番人気のあるおかずです。

→ Adobo ba ang pinakapopular na ulam? アドボが一番人気のあるおかずですか。

II. 基本文2と基本文3を否定文にするには、2通りの方法があります。hindi を用いて主語を否定する場合と、述語を否定する場合がありますが、主語を否定するほうが一般的です。主語を否定した場合と述語を否定した場合、意味のニュアンスは少々違ってきます。

基本文2 Si Quezon ang hindi unang presidente.

Hindi si Quezon ang unang presidente.

上の2つの例文は日本語にするとどちらも「ケソンが1代目の大統領ではない」という意味です。

ただし、上のほうの文は「ケソンが1代目ではないが、何代目かの大統領である」という事実を示唆しています。一方、下の文章は「ケソン以外の誰かが一代目の大統領である」という事実を示唆しています。

(Step3) : 基本文2と基本文3を疑問文と否定文にする
基本文2と基本文3の疑問文と否定文の例文

Ito ba ang sariwa? (これは新鮮ですか。)

Si Heneral Aguinaldo ba ang unang presidente ng Pilipinas?

(アギナルド将軍がフィリピンの最初の大統領ですか。)

Sampagita ba ang paborito niyang bulaklak? (サンパギータが彼女のお気に入りの花ですか。)

Adobo ba ang pinakapopular na ulam? (アドボが一番人気のあるおかずですか。)

Si Quezon ang hindi unang presidente.

(ケソンが1代目の大統領ではありません。)
「しかしケソンは何代目かの大統領である。」

Hindi si Quezon ang unang presidente.

(ケソンが1代目の大統領ではありません。)
「ケソン以外の誰かが1代目の大統領である。」

Step4 : 繋辞(リンカー)

フィリピン語の際立った特徴の1つとして繋辞(けいじ)があります。英語では **linker** と言います。この言葉が示すように繋辞は単語と単語や文と文をつなぐものです。ここでは単語と単語をつなぐとき、具体的には1つ、あるいはいくつかの単語が名詞を修飾するときの繋辞の使われ方を学びます。繋辞には **na** と **-ng** があります。どちらを使うかは、直前の単語の最後の音によって決まります。

n 以外の子音のとき : **na** mataas na bundok 高い山
母音、声門閉鎖音のとき : **-ng** mababang lugar 低い土地
子音 n のとき : **-(n)g** mayamang lolo 裕福な祖父

Step4 : 繋辞(リンカー)

ここでは形容詞、指示代名詞、数詞が名詞を修飾するときに、繋辞がどのように使われるかを学びます。

1) 形容詞が名詞を修飾する場合は、名詞の前、後、どちらからでも修飾できます。

〈形容詞 + 繋辞 + 名詞〉 〈名詞 + 繋辞 + 形容詞〉

(a) hinog na bunga (b) bungang hinog 熟した果物
mabangong bulaklak bulaklak na mabango 良い香りの花

2) 指示代名詞が名詞を修飾する場合は、形容詞と同じで、名詞の前、後ろ、どちらからでも修飾できます。

〈指示代名詞+ 繋辞 + 名詞〉 〈名詞+ 繋辞 + 指示代名詞〉

(a) itong bulaklak (b) bulaklak na ito この花
iyong puno punong iyon あの木

3) 形容詞と指示代名詞が名詞を修飾する場合は、以下のように2通りあります。

〈指示代名詞+ 繋辞+ 形容詞+ 繋辞+ 名詞〉

(a) itong mabangong bulaklak この香りの良い花
iyong mataas na puno あの高い木

〈形容詞+ 繋辞+ 名詞+ 繋辞+ 指示代名詞〉

(b) mabangong bulaklak na ito この香りの良い花
mataas na punong iyon あの高い木

2) と 3) の名詞句において (a) タイプの名詞句を主語にするときは、このままでかまいません

が、(b)タイプの名詞句を主語にするときには、ang を忘れないようにしてください。

4) 数詞が名詞を修飾する場合は、名詞の前からしか修飾できません。

〈数詞 + 繫辞 + 名詞〉

anim na kalabaw 6頭の水牛
pitong mangga 7つのマンゴー

5) 形容詞と数詞が名詞を修飾する場合は、必ず数詞が先です。

〈数詞 + 繫辞 + 形容詞 + 繫辞 + 名詞〉

limang magandang dalagita 5人の美しい少女
anim na guwapong binata 6人のハンサムな若者

Lesson03 : ng 句で所有者や所有を表す

1 課では基本文 1 に関連して ang 句について学びましたが、この課では ng 句を使った所有や所属の表し方と基本文 1 における ng 句の使われ方を勉強します。

Step1 : 所有・所属の表し方

フィリピン語で物(生物を含む)の所有者を表すには2通りの方法がありますが、ここではまず ng 句を使って表す方法を勉強します。ng 句とは ng, ni, nina などの記号とも言える単語に導かれる名詞(句)、またはこれに相当する ng 形の代名詞を一括した呼び名です。

ng 句 : ng + (mga) + 普通名詞
ng + 地名
ni(単) / nina(複) + 人名
ng 形の人称代名詞・指示代名詞

ng 句を使った例文

Marumi ang kuwarto ng mga estudyante. 学生たちの部屋は汚れています。

Maganda ang nanay ni Annie. アニーの母親は美人です。

Bago ang kotse nila. 彼らの車は新しいです。

Step1 : 所有・所属の表し方

ng 句を使って所有を表す場合、所有される物や人は所有者の前に置かれます。人称代名詞と指示代名詞は次の Step で学習しますので、ここでは普通名詞や人名を使った場合の所有表現を学びましょう。

〈所有される物を表す名詞〉 + ng + (mga) + 普通名詞
ni(単) / nina(複) + 人名

kuwarto ng mga bata 子供たちの部屋

bayani ng mga Pilipino フィリピン人たちの英雄

tatay ni Tina ティナの父親

nanay nina Annie アニーたちの母親

これらの ng 句を基本文 1 で主語として使うときは、前に ang をつけることを忘れないようにしましょう。

Malinis ang kuwarto ng mga bata. 子供たちの部屋はきれいです。

Alkalde ang tatay ni Tina. ティナの父親は市長です。

述語として使うときは ang をつける必要はありません。

Kuwarto ng mga bata ito. これは子供たちの部屋です。

Bayani ng mga Pilipino si Jose Lizal. ホセ・リサールはフィリピン人たちの英雄です。

Tatay ni Tina si Mr.Cruz. クルース氏はティナの父親です。

フィリピン語では、所属も所有を表すのと同じように **ng** 句を用います。

bulaklak ng saging バナナの花

talbos ng kamote サツマイモの新芽

puno ng mangga マンゴーの木

estudyante ng Filipino フィリピン語の学生

Masarap ang talbos ng kamote. サツマイモの新芽はおいしいです。

Malago ang puno ng mangga. マンゴーの木はこんもりしています。

Bulaklak ng saging iyon. あれはバナナの花です。

Estudyante ng Filipino sina Hanako. 花子たちはフィリピン語の学生です。

(Step1) : 所有・所属の表し方

所有・所属を表す **ng** 形を使った例文

Malinis ang kuwarta ng mga bata. (子供たちの部屋はきれいです。)

Kuwarta ng mga bata ito. (これは子供たちの部屋です。)

Masarap ang talbos ng kamote. (サツマイモの新芽はおいしいです。)

Bulaklak ng saging iyon. (あれはバナナの花です。)

Step2 : **ng** 形の人称代名詞と指示代名詞

ng 形の人称代名詞と指示代名詞が前にある名詞の所有者として用いられるときは、「～の」の意味になります。

〈**ng** 形の人称代名詞〉

単数

複数

1 人称 **ko** 私 (の)

natin* 私たち (の)

namin ** 私ども (の)

2 人称 **mo** あなた (の)

ninyo あなたたち (の)

3 人称 **niya** 彼/彼女 (の)

nila 彼ら/彼女ら (の)

*…話し相手を含む1人称複数形の **ng** 形。

…話し相手を含まない1人称複数形の **ng 形。本書ではこの訳を「私ども(の)」としました。

〈**ng** 形の指示代名詞〉

単数

複数

話し手の近く **nito** これ (の)

ng mga ito これら (の)

聞き手の近く **niyan** それ (の)

ng mga iyan それら (の)

両者から離れて **niyon** あれ (の)

ng mga iyon あれら (の)

Step2 : **ng** 形の人称代名詞と指示代名詞

I. **ng** 形の人称代名詞・指示代名詞は、〈**ng** + 名詞〉と同じように、所有されるものを後ろから修飾します。

ate ko 私の姉

bahay natin 私たちの家

bahay namin 私どもの家

pagkain mo あなたの食べ物

pagkain ninyo あなたたちの食べ物

anak niya 彼・彼女の子

nanay nila 彼ら・彼女らの母親

bunso nito この人の末っ子

panganay noon あの人が一番上の子

ng 形の人称代名詞・指示代名詞を基本文 1 で主語として使うときは、前に **ang** をつけることを忘れないようにしましょう。

Mahigpit ang ate ko. 私の姉は厳しいです。

Maliit ang bahay namin. 私どもの家は小さいです。

Berde ang kulay nito. この物の色は緑です。

Pagkain ang laman nito. この物の中身は食べ物です。

述語として使うときは、**ang** は必要ありません。

Ate ko si Sister Fe. フェ修道女は私の姉です。

Bahay namin iyon. あれは私どもの家です。

II. 所有と所属が同時に 1 つの名詞を修飾するときには、所有が先になります。

titser ko ng Ingles. 私の英語の先生

(所有者) (所属)

klase namin ng kasaysayan 私どもの歴史の授業

(所有者) (所属)

Dalaga ang titser ko ng Ingles. 私の英語の先生は独身です。

Masaya ang klase namin ng kasaysayan. 私どもの歴史の授業は楽しい。

(Step2) : ng 形の人称代名詞と指示代名詞

ng 形の人称代名詞・指示代名詞を使った例文

Mahigpit ang ate ko. (私の姉は厳しいです。)

Ate ko si Sister Fe. (フェ修道女は私の姉です。)

Dalaga ang titser ko ng Ingles. (私の英語の先生は独身です。)

Step3 : 特別な人称代名詞 **kita**

今まで **ang** 形の人称代名詞と **ng** 形の人称代名詞を学びましたが、これとは別にもう 1 つ **ang** 形と **ng** 形が一緒になった、**kita** という人称代名詞があります。基本文 1 の文において、主語が **ka** 「君、あなた」で、加えて、述語の一部に **ko** 「私の」 がくるとき、～ **ko ka** の代わりに **kita** が登場します。

Kaibigan ko ka. → Kaibigan kita. あなたは私の友達です。

述語 主語

Asawa ko ka. → Asawa kita. あなたは私の夫・妻です。

述語 主語

Step3 : 特別な人称代名詞 **kita**

kita を使った例文をもう少し見てみましょう。

Anak kita. あなたは私の息子(娘)です。

Hindi kita anak. あなたは私の息子(娘)ではありません。

Kalaban kita. あなたは私の敵です。

Hindi kita kalaban. あなたは私の敵ではありません。

上記の例文でわかるように述語が名詞である基本文 1 に現れる **kita** は「**あなたは私の～です**」を意味します。また、否定文では **kita** が **hindi** の次にきます。動詞についてはあとの課で学びますが、述語に動詞がくる基本文 1 に現れる **kita** は「**私はあなたを～します**」を意味します。

Minamahal ko ka. → Minamahal kita. 私はあなたを愛しています。

Hihintayin ko ka. → Hihintayin kita. 私はあなたを待ちます。

Lesson04 : sa 句と para sa 句について

この課では、sa 句と呼ばれるものを使ってまず場所や方向の表し方を学びます。
次に sa 句を使っての所有者表現を勉強します。
さらに sa 句の延長である para sa 句を使った恩恵表現も学びます。

Step1 : sa 句を使って場所や方向を表す

フィリピン語には ang 句と ng 句の他に、sa 句と呼ばれるものがあります。sa 句とは sa, kay, kina などの記号ともいえる単語に導かれる句、またはこれに相当する代名詞を一括した呼び名です。sa 句は何を差し置いてもまず場所や方向を表すために使われます。

sa 句 : sa + (mga) + 普通名詞
sa + 地名を表す固有名詞
kay (単) / kina (複) + 人名を表す固有名詞
sa 形の人称代名詞・指示代名詞

sa kusina 台所で、台所に
sa Pilipinas フィリピンで、フィリピンに
kay Gloria グローリアに
kina Gloria グローリアたちに

Step1 : sa 句を使って場所や方向を表す

I. sa 句の中でも場所や方向を表すのに一番よく使われるのは〈sa + 普通名詞〉、あるいは〈sa + 固有名詞〉です。日本語では「～に、～へ、～で」の意に解釈されます。

Nag-aaral ako sa University of the Philippines. 私はフィリピン大学で勉強しています。

Pupunta ako sa Pilipinas bukas. 明日、私はフィリピンに行きます。

Mahal ang mga isda sa Maynila. マニラでは魚は高いです。

Mura ang mga bilihan sa probinsya nila. 彼らの故郷では品物が安いです。

より具体的な場所を表すために、次のような表現もよく使われます。

sa itaas ng ～の上方に sa ibaba ng ～の下方に
sa ibabaw ng ～の上に sa ilalim ng ～の下に
sa kabila ng ～の反対に
sa harap ng ～の前に sa likod ng ～の後ろに
sa labas ng ～の外に sa loob ng ～の中に
sa dulo ng ～の端に sa gitna ng ～の真中に sa pagitan ng ～の間に

Dumapo ang ibon sa itaas ng puno. 木の上の方に鳥がとまりました。

Nakatira sila sa ilalim ng tulay. 彼らは橋の下に住んでいます。

II. sa 形の人称代名詞も場所や方向を表すときに時たま使われます。

このときは「～所で、～所に、～所へ」の意に解釈されます。

	単数	複数
1 人称	sa akin	sa atin* sa amin**
2 人称	sa iyo	sa inyo
3 人称	sa kanya	sa kanila

*...話し相手を含む1人称複数形の sa 形。

**...話し相手を含まない1人称複数形(「私ども」)の sa 形。

Maganda ang dagat sa amin. 私たちの所では海はきれいです。

Pupunta kami sa inyo bukas. 明日、私たちはあなたたちの所へ行きます。

III. sa 形の指示代名詞は、ang 形や ng 形の指示代名詞と同じく、単数と複数形がありますが、場所や方向を表すときに使用されるのは、単数形のみで複数形は使われません。

	単数		複数
話し手の近く	dito / rito	ここ	sa mga ito
聞き手の近く	diyan / riyan	そこ	sa mga iyan
両者から離れて	doon / roon	あそこ	sa mga iyon

Dumating sila dito kahapon. 彼らは昨日ここに到着しました。
Sariwa ang hangin dito sa probinsya. ここ田舎では空気は新鮮です。
Mahal ang mga isda doon sa Maynila. あそこマニラでは魚は高いです。

(Step1) : sa 句を使って場所や方向を表す
sa 句を使った例文

Nag-aaral ako sa University of the Philippines. (私はフィリピン大学で勉強しています。)
Mahal ang mga isda sa Maynila. (マニラでは魚は高いです。)
Dumapo ang ibon sa itaas ng puno. (木の上のほうに鳥がとまりました。)
Maganda ang dagat sa amin. (私たちの所では海はきれいです。)
Dumating sila dito kahapon. (彼らは昨日ここに到着しました。)

Step2 : sa 句を使って所有者を表す

sa 句のうち、〈sa + (mga) + 普通名詞〉、〈kay / kina + 人名〉、人称代名詞は所有者を表すためにもよく使われます。基本文の述語として使われたり、名詞を前から修飾して名詞句を作ります。

基本文 1 Sa mga bata ang mga laruang ito. これらのおもちゃは子供たちのものです。
述語 主語

基本文 2 Ang mga laruang ito ang sa mga bata. これらのおもちゃが子供たちのものです。
主語 述語

名詞句 aking hikaw 私のイヤリング
aming bahay 私たちの家
kanilang lupa 彼らの土地

sa 形の人称代名詞が名詞を修飾するときは、通常 sa は省かれます。

Step2 : sa 句を使って所有者を表す

I. 基本文 1 や基本文 2 で、述語の位置にある sa 句、具体的には〈sa + (mga) + 普通名詞〉、〈kay / kina + 人名〉、sa 形の人称代名詞は、物(生物を含む)の所有者が誰であることを表します。

基本文 1 : 〈 sa 句 + 主語 〉「～は…のものです。」

Sa mga bata ang mga laruang ito. これらのおもちゃは子供達のもです。

Kay Lilia ang singsing na ito. この指輪はリリアのもです。

Sa akin itong hikaw. このイヤリングは私のものです。

Sa mga ito ang lupang iyon. あの土地はこの人たちのものです。

基本文 2 : 〈 主語+ ang + sa 句 〉「～が…のものです。」

Ang mga laruang ito ang sa mga bata. これらのおもちゃが子供達のもです。

Ang singsing na ito ang kay Lilia. この指輪がリリアのもです。

Itong hikaw ang sa akin. このイヤリングが私のものです。

Ang lupang iyon ang sa mga ito. あの土地がこの人たちのものです。

疑問詞 Kanino 「誰の」で始まる疑問文とその答えは、次のようになります。

Kanino ito? これは誰のものですか。

Sa akin iyan. それは私のものです。

II. 2課で ng 句を使っての所有者の表し方を学びましたが、sa 句を使っても所有者は表せます。ただし sa 句を使えるのは ng 句と違い、所有者が人称代名詞のときに限ります。

ng 句の場合は所有される名詞の後ろから修飾しましたが、sa 句を使う場合は前から繋辞でつないで修飾します。

〈sa 句〉 + 〈繋辞〉 + 〈所有される物を表す名詞〉

ng 句 を使ったときと sa 句 を使ったときと 比較してみましょう。

〈名詞 + ng 形人称代名詞〉 〈sa 形人称代名詞 + -ng + 名詞〉

laruan ng mga bata 子供のおもちゃ

hikaw ni Lilia リリアのイヤリング

hikaw nito この人のイヤリング

hikaw ko --- aking hikaw 私のイヤリング

hikaw mo --- iyong hikaw あなたのイヤリング

hikaw niya --- kanyang hikaw 彼女のイヤリング

Mahal ang hikaw ko. → Mahal ang aking hikaw. 私のイヤリングは高いです。

Kyut ang hikaw mo. → Kyut ang iyong hikaw. あなたのイヤリングはかわいいです。

(Step2) : sa 句を使って所有者を表す

sa 句を使った例文

Sa mga bata ang mga laruang ito. (これらのおもちゃは子供たちのものです。)

Kay Lilia ang singsing na ito. (この指輪はリリアのものです。)

Ang mga laruang ito ang sa mga bata. (これらのおもちゃが子供たちのものです。)

Ang singsing na ito ang kay Lilia. (この指輪がリリアのものです。)

Kanino ito? (これは誰のものですか。)

Sa akin iyan. (それは私のものです。)

Mahal ang aking hikaw. (私のイヤリングは高いです。)

Step3 : para sa 句を使って恩恵を表す

sa 句に para を加えたものが para sa 句で、「～のため」という恩恵表現になります。

基本文の述語として使われたり、名詞を後ろから修飾して名詞句を作ります。

para sa 句 : para sa + (mga) + 普通名詞

para kay (単) / para kina (複) + 人名

para sa 形の人称代名詞・指示代名詞

rosas para sa iyo あなたのためのバラ

batas para sa lahat すべての人のための法

Para sa iyo itong rosas. このバラは君のためのものです。

Para sa lahat ang batas. 法は全ての人のためのものです。

Step3 : para sa 句を使って恩恵を表す

I. para sa 句は述語の位置にきて、主語となっている物の恩恵を受ける物や人を表します。

基本文 1 : 〈para sa 句 + 主語〉「～は…のためのものです。」

Para sa pista ang bandang ito. この楽隊は祭りのためのものです。
Para sa prusisyon ang mga kandilang ito. これらのローソクは行列のためのものです。
Para kay Angel itong kamera. このカメラはエンジェルのためのものです。
Para sa akin ba ang mga bulaklak na ito? これらの花は私のためのものですか。
Para roon ang dekorasyong ito. この飾りはあの場所のためのものです。

基本文2 : 〈主語 + ang + para sa 句〉「～が…のためのものです。」
Ang bandang ito ang para sa pista. この楽隊が祭りのためのものです。
Ang mga kandilang ito ang para sa prusisyon これらのローソクが行列のためのものです。
Itong kamera ang para kay Angel. このカメラがエンジェルのためのものです。
Ang mga bulaklak na ito ba ang para sa akin? これらの花が私のためのものですか。
Ang dekorasyong ito ang para roon. この飾りがあの場所のためのものです。

II. para sa 句は、名詞の後ろからその名詞を繋辞なしで修飾し、「～のための」という名詞句を形成します。この名詞句は主語としても述語としても使われます。

Gamot para sa hika ang mga ito. これはぜんぞくのための薬です。
述語 主語

Mahal ang gamot para sa hika. ぜんそくのための薬は高いです。
述語 主語

III. 動詞や形容詞と一緒に述語を構成し、「～のために」という意味の副詞句を作ることができます。

Namatay si Rizal para sa bansa natin. リサルは私たちの国のために死にました。
述語 主語 述語
Tamang-tama iyon para sa Pasko. あれはクリスマスのためにちょうどよい。
述語 主語 述語

(Step3) : para sa 句を使って恩恵を表す

para sa 句を使った例文

Para sa pista ang bandang ito. (この楽隊は祭りのためのものです。)

Ang bandang ito ang para sa pista. (この楽隊が祭りのためのものです。)

Gamot para sa hika ang mga ito. (これはぜんぞくのための薬です。)

Namatay si Rizal para sa bansa natin. (リサルは私たちの国のために死にました。)

Lesson05 : may, mayroon を使って存在や所有を表す

この課では、英語の There is (are)～, There isn't (aren't)～に相当する表現を勉強します。

人や物の存在を表す表現で、主語のない文です。加えて、ある物(生物を含む)を所有しているか否かを表す文を学習します。

Step1 : may, mayroon, wala を使って人や物の存在の有無を表す

ここでは、may, mayroon を使って「～があります / います」、wala を使って「～がありません / いません」という表現を学習します。主語がない文ですが、基本文と同様によく使われる文ですので、しっかり覚えましょう。

May bilog na buwan sa langit. 空に丸い月があります。

Mayroong bilog na buwan sa langit. 空に丸い月があります。

Walang bilog na buwan sa langit ngayon. 今、空に丸い月はありません。

Step1 : may, mayroon, wala を使って人や物の存在の有無を表す

I. 「～があります / います」という表現は、may, mayroon どちらを使ってもかまいませんが、後ろに続く名詞(句)を修飾するときに繋辞を必要とするかしないかの違いがあります。

「～があります / います」

May + 名詞(句) + 場所や時を表す単語や句

Mayroon + -(n)g

May pista bukas. 明日、祭りがあります。

Mayroong pista bukas.

May dalawang kalabaw sa ilog. 川に2頭の水牛がいます。

Mayroong dalawang kalabaw sa ilog.

II. 「～がありません / いません」は wala を使いますが、mayroon と同様後ろに続く名詞(句) を修飾するときに繋辞を必要とします。

「～がありません / いません」

〈Wala + -ng〉 + 〈名詞(句)〉 + 〈場所や時を表す単語や句〉

Walang alitaptap dito. ここにはホテルがありません。

Walang mataas na puno sa bundok. 山に高い木がありません。

mayroon, wala と同じように、繋辞を伴って用いられるものに marami があります。「たくさん～があります / たくさん～がいます」の意味になります。

Maraming halaman sa sala. 居間に植物がたくさんあります。

Maraming magandang isla sa Pilipinas. フィリピンにはきれいな島がたくさんあります。

(Step1) : may, mayroon, wala を使って人や物の存在の有無を表す

may, mayroon, wala を使った例文

May pista bukas. (明日祭りがあります。)

Mayroong dalawang kalabaw sa ilog. (川に2頭の水牛がいます。)

Walang alitaptap dito. (ここにはホテルがありません。)

Maraming magandang isla sa Pilipinas. (フィリピンにはきれいな島がたくさんあります。)

Step2 : may, mayroon, wala を使って人や物の存在の有無をたずねる

前の Step で出てきた存在を疑問文にしてみましょ。疑問文にするには ba を文中に入れます。入れる位置は以下の通りです。繋辞が移動するので注意しましょう。

1) may を使った文

〈May〉 + 〈名詞(句)〉 + 〈ba〉 + 〈場所や時を表す単語や句〉?

May pista ba bukas? 明日、祭りがありますか。

2) mayroon, wala を使った文

Mayroon

+ 〈bang〉 + 〈名詞(句)〉 + 〈場所や時を表す単語や句〉?

Wala

Mayroon bang pista bukas? 明日、祭りがありますか。

Wala bang alitaptap dito? ここにはホテルがないのですか。

Step2 : may, mayroon, wala を使って人や物の存在の有無をたずねる

I. may を使った文では ba が may と名詞(句)の間に入ることはありません。may に続くものが名詞だけであれば、この名詞の後に ba がきます。ただし may に続くものが名詞句であれば、ba は名詞句の間に割って入る場合があります。

may + 名詞(句) + ba

may + 名詞句の一部 + bang + 名詞句の一部

May malaking puno sa campus. → May malaki bang puno sa campus?

キャンパスに大きな木がありますか。

May magandang trabaho rito. → May maganda **bang** trabaho rito?
ここによい仕事がありますか。

II. mayroon, wala, marami を使った文では、mayroon, wala とそれに続く名詞(句)をつないでいた繫辞は、間に ba が割り込むことにより ba に移り、**bang** になります。

例文を見てみましょう。

Mayroong kotse sa daan. → Mayroon **bang** kotse sa daan? 道に車がありますか。

Mayroong malaking puno sa campus. → Mayroon **bang** malaking puno sa campus?
キャンパスに大きな木がありますか。

Maraming halaman sa sala. → Marami **bang** halaman sa sala?
居間に植物がたくさんありますか。

Maraming magandang isla sa Pilipinas. → Marami **bang** magandang isla sa Pilipinas?
フィリピンに美しい島がたくさんありますか。

may, mayroon, wala で始まる疑問文への答え方は、存在すれば Oo, mayroon. 「はい、あります / います。」、存在しなければ Wala. 「ありません / いません。」で答えます。

(Step2) : may, mayroon, wala を使って人や物の存在の有無をたずねる

May malaki **bang** puno sa campus? (キャンパスに大きな木がありますか。)

Mayroon **bang** kotse sa daan? (道に車がありますか。)

Marami **bang** halaman sa sala? (居間に植物がたくさんありますか。)

Step3 : may, mayroon, wala を使って人や物を所有しているか否かを表す

ここでは may, mayroon, wala を使って物(生物を含む)を所有しているかどうかの表現を勉強します。「～には…があります / います」、「～は…を持っています」という意味です。この文は 1 課で学んだ人や物の存在を表す文に、**ang** 句で表される所有者が付け足された文と言えます。所有者の部分の主語に相当するので基本文 1 の文になります。

May palayan. 水田があります。

May palayan si Andoy. アンドイは水田を持っています。

述語 主語

Mayroong iksam. 試験があります。

Mayroong iksam sina Romel. ロメルたちは試験があります。

述語 主語

Walang tubig. 水がありません。

Walang tubig ang mga magsasaka. 農民たちは水がありません。

述語 主語

Step3 : may, mayroon, wala を使って人や物を所有しているか否かを表す

I. may を使った所有表現は下記のようになりますが、may の後にくるものが名詞句で所有者が人称代名詞のとき、所有者が名詞句を割って入り、繫辞もそちらに移動します。

所有者(ang 句)

〈May〉 + 〈名詞(句)〉 + si/sina + 人名

ang

〈May〉 + 〈名詞句の一部〉 + 〈ang 形の人称代名詞 + -ng〉 + 〈名詞の一部〉

May pitong kapatid si Cherry. チェリーは7人の兄弟がいます。

May pito siyang kapatid. 彼女は7人の兄弟がいます。

May bagong kotse si Eddie. エディは新しい車を持っています。

May bago siyang kotse. 彼は新しい車を持っています。

II. **mayroon, wala** を使った所有表現では、所有者が普通名詞や名前のはっきりした人であれば次のようになります。

所有者 (ang 句)

Mayroon

ang + 名詞

Wala + -ng + 〈名詞〉 +

Marami

si / sina + 人名

Mayroong maliit na lupa ang mga magsasaka. 農民たちは小さな土地を持っています。

Walang anak sina Mang Felipe. フェリペさんたちは子供がいません。

一方、所有者が人称代名詞の時は語順は次のようになります。

繫辞が移動するので注意しましょう。

Mayroon

Marami + 〈ang 形の人称代名詞 + -ng〉 + 〈名詞(句)〉

Wala

Mayroon siyang magandang asawa. 彼には美しい妻がいます。

Marami akong murang sapatos. 私は安い靴をたくさん持っています。

Wala tayong bigas. 私たちにはお米がありません。

Mayroon silang mga lupain. 彼らは土地を持っています。

Wala kaming pera. 私どもはお金を持っていません。

(Step3) : **may, mayroon, wala** を使って人や物を所有しているか否かを表す

May pitong kapatid si Cherry. (チェリーは7人の兄弟がいます。)

May bagong kotse si Eddie. (エディは新しい車を持っています。)

Mayroong maliit na lupa ang mga magsasaka. (農民たちは小さな土地を持っています。)

Mayroon siyang magandang asawa. (彼には美しい妻がいます。)

Marami akong murang sapatos. (私は安い靴をたくさん持っています。)

Wala tayong bigas. (私たちにはお米がありません。)

Step4 : **may** を使った所有表現を疑問文にする

may を使った所有表現を疑問文にしてみましょう。

ang + 名詞

〈May + 名詞〉 + 〈ba〉 + si / sina + 人名 ?

ang 形の人称代名詞

May laruan ba ang mga bata? 子供たちはおもちゃを持っていますか。

May palayan ba si Aling Maria? マリアお婆さんは水田を持っていますか。

Step4 : **may** を使った所有表現を疑問文にする

カードで示されたように **may** の後に名詞がくるときは、所有者が1人称代名詞であろうとなかろうと **ba** は名詞の後に入りますが、**may** の後ろに名詞句がくると少々複雑になります。

1) 〈may〉 + 〈名詞句の一部〉 + 〈bang〉 + 〈名詞句の一部〉 + ang + 名詞 ?

si / sina + 名詞

May maganda bang trabaho ang mga manggagawa? 労働者達はよい仕事がありますか。

May maganda bang trabaho sina Jose? ホセ達はよい仕事がありますか。

2) 〈may〉 + 〈名詞句の一部〉 + ba + 〈ang 形の人称代名詞 + -ng〉 + 〈名詞句の一部〉 ?

May maganda ba silang trabaho? 彼らはよい仕事がありますか。

May maganda ba kayong trabaho? あなたたちはよい仕事がありますか。

May maganda ka bang trabaho? あなたはよい仕事がありますか

Mabait ang pulis na nasa kalye. 通りにいる警察官は親切です。

Step1 : 人や物の所在を表す nasa 句

1) 〈nasa + 普通名詞句〉では、次のような形がよくとられます。

nasa ibabaw ng ~ (～の) 上にあります / います
nasa ilalim ng ~ (～の) 下にあります / います
nasa itaas ng ~ (～の) 上方にあります / います
nasa ibaba ng ~ (～の) 下方にあります / います
nasa kabila ng ~ (～の) 反対(もう一方の側)にあります / います
nasa gitna ng ~ (～の) 真ん中にあります / います
nasa harap ng ~ (～の) 前にあります / います
nasa tapat ng ~ (～の) 真正面にあります / います
nasa likod ng ~ (～の) 裏(後ろ)にあります / います
nasa labas ng ~ (～の) 外にあります / います
nasa loob ng ~ (～の) 中(奥)にあります / います
nasa tabi ng ~ (～の) 横にあります / います
nasa dulo ng ~ (～の) 端にあります / います
nasa pagitan ng ~ (～の) 間にあります / います

2) nasa 形の人称代名詞

単数 複数

1 人称 nasa akin nasa atin *

nasa amin **

2 人称 nasa iyo nasa inyo

3 人称 nasa kanya nasa kanila

*…話し相手を含む 1 人称複数形の nasa 形。

**…話し相手を含まない 1 人称複数形(「私ども」)の nasa 形。

3) nasa 形の指示代名詞

話し手の近く narito / nandito ここにいます / あります

聞き手の近く nariyan / nandiyán そこにいます / あります

両者から離れて naroon / nandoon あそこにいます / あります

Step2 : 人や物の所在を表す

nasa 句は基本文 1 で述語の位置にきて、人や物の所在を表すためによく使われます。

その場合「～は…にあります / います」の意に解釈できます。

〈nasa 句〉+ 〈ang 句で表される主語〉

Nasa panahon ang pakwan ngayon. スイカは今季節にあります。

→スイカは今、旬(しゅん)です。

Nasa labas ng kulungan ang mga baboy. 豚たちは囲いの外にいます。

Nasa bakuran sila. 彼らは庭にいます。

Step2 : 人や物の所在を表す

基本文 1 で述語の位置に nasa 句がくる例文をもう少し見てみましょう。

Nasa ilalim ng tulay ang bangka. 小舟は橋の下にあります。

Nasa Palawan ang El Nido. エルニドはパラワンにあります。

Nasa eskwelahan siya. 彼は学校にいます。

Nasa akin ang mga sulat ng syota mo. 君の恋人の手紙は僕の所にあります。

Nasa kanya ang pag-ibig mo. 君の愛は彼の所にあります。

Nariyan ang mga labada. 洗濯物はそこにいます。

Naroon ang mga laruan ng bata. 子供のおもちゃはあそこにあります。
Nasa kabila ng kalye ang bahay nina Mr. Cruz.
クルースさんたちの家は道の反対側にあります。

nasa 句が基本文2でも述語の位置にくる例文も見てみましょう。
この場合は「～が…にあります / います」の意になります。
Ang munisipyo ang nasa tabi ng simbahan. 町役場が教会の横にあります。
Si Romy ang na kina Aling Irma. ロミーがイルマさん宅にいます。

なお、人や物の所在をたずねるとき、疑問代名詞の **nasaan** を使います。
Nasaan ang bangka? 小舟はどこにありますか。
Nasaan ang bahay nina Mr. Cruz? クルースさんたちの家はどこにありますか。
Nasaan ang El Nido? エルニドはどこにありますか。

(Step2) : 人や物の所在を表す

Nasa ilalim ng tulay ang bangka. (小舟は橋の下にあります。)
Nasa Palawan ang El Nido. (エルニドはパラワンにあります。)
Nasa eskwelahan siya. (彼は学校にいます。)
Nasa kanya ang pag-ibig mo. (君の愛は彼の所にあります。)
Nariyan ang mga labada. (洗濯物はそこにあります。)
Naroon ang mga laruan ng bata. (子供のおもちゃはあそこにあります。)
Nasa kabila ng kalye ang bahay nina Mr. Cruz. (クルースさんたちの家は道の反対側にあります。)
Ang munisipyo ang nasa tabi ng simbahan. (町役場が協会の横にあります。)
Si Romy ang na kina Aling Irma. (ロミーがイルマさん宅にいます。)
Nasaan ang bangka? (小舟はどこにありますか。)
Nasaan ang bahay nina Mr. Cruz? (クルースさんたちの家はどこにありますか。)
Nasaan ang El Nido? (エルニドはどこにありますか。)

Step3 : 人や物の非所在を表す

「～は…にありません / いません」という人や物の非所在は、基本文の述語の位置に **wala sa** 句を用いて表します。主語が人称代名詞か否かで主語の位置が違ってきます。

〈Wala + sa 句〉 + ang + (mga) + 名詞
si / sina + 人名

Wala sa klase sina Roland. ローランドたちは教室にいません。
Wala kay Danny ang libro mo. 君の本はダニーの所にはありません。
Wala sa Maynila ang Molo Church. モロ教会はマニラにありません。

主語が人称代名詞の時には、人称代名詞が **wala** と **sa** の間にきます。

〈Wala〉 + 〈ang 形の人称代名詞〉 + 〈sa 句〉

Wala siya sa **pag-isip** ko. 彼は私の考えの中にはありません。
Wala ako kina Mang Ambo kahapon. 私は昨日アンボさん宅にはいませんでした。

Step3 : 人や物の非所在を表す

所在を表す **nasa** 句の否定形が **wala sa** 句と言えます。

wala sa 句 : wala sa + 名詞
wala kay (単数)/kina (複数) + 人名
wala + 人称代名詞・指示代名詞の sa 形

nasa → wala sa ～にいません / ありません

na kay → wala kay ~の所にいません / ありません
na kina → wala kina ~たちの所にいません / ありません
nasa akin → wala sa akin 私の所にいません / ありません
nasa atin → wala sa atin 私たちの所にいません / ありません
nasa amin → wala sa amin 私たちの所にいません / ありません
nasa iyo → wala sa iyo 君の所にいません / ありません
nasa inyo → wala sa inyo 君(あなた)たちの所にいません / ありません
nasa kanya → wala sa kanya 彼(彼女)の所にいません / ありません
nasa kanila → wala sa kanila 彼(彼女)らの所にいません / ありません
narito / nandito → wala rito ここにいません / ありません
nariyan / nandiyan → wala riyan そこにいません / ありません

Nasa panahon ang mangga ngayon. マンゴーは今、旬(しゅん)です。

→ Wala sa panahon ang mangga ngayon. マンゴーは今、旬(しゅん)ではありません。

Nasa eskuwelahan ang guro namin. 私たちの先生は学校にいます。

→ Wala sa eskuwelahan ang guro namin. 私たちの先生は学校にいません。

Nandito ang mga NPA. 新人民軍のゲリラたちはここにいます。

→ Wala rito ang mga NPA. 新人民軍のゲリラたちはここにはいません。

なお、基本文2においては wala sa 句は次のように使われます。

Ang guro namin ang nasa eskuwelahan. 私たちの先生が学校にいます。

→ Ang guro namin ang wala sa eskuwelahan. 私たちの先生が学校にいないのです。

Ang mga NPA ang nandito. 新人民軍ゲリラがここにいます。

→ Ang mga NPA ang wala rito. 新人民軍ゲリラがここにはいないのです。

(Step3) : 人や物の非所在を表す

Wala sa panahon ang mangga ngayon. (マンゴーは今、旬ではありません。)

Wala sa eskuwelahan ang guro namin. (私たちの先生は学校にいません。)

Wala rito ang mga NPA. (新人民軍のゲリラたちはここにはいません。)

Ang guro namin ang wala sa eskuwelahan. (私たちの先生が学校にいないのです。)

Ang mga NPA ang wala rito. (新人民軍ゲリラがここにはいないのです。)

Step4 : 所在・非所在文を疑問文にする

nasa 句、wala sa 句が述語の位置にきた基本文1の文を疑問文にするには次のようにします。

nasa 句、つまり〈na+sa 句〉はこれで1つのセットとしてみなされるので、この間に ba は割り込むことは出来ませんが、wala sa 句は wala と sa 句を切り離すことができます。

Nasa labas ang mga bata. → Nasa labas ba ang mga bata? 子供たちは外にいますか。

Na kina Aling Irma si Romy. → Na kina Aling Irma ba si Romy? ロミーはイルマさん宅にいますか。

Nariyan ang mga labada. → Nariyan ba ang mga labada? 洗濯物はそこにありますか。

Wala sila rito. → Wala ba sila rito? 彼らはここにいませんか。

Step4 : 所在・非所在文を疑問文にする

nasa 句、wala 句が述語にきた基本文2の文を疑問文にするには次のようにします。

Ang guro namin ang nasa eskuwalahan. → Ang guro ba namin ang nasa eskuwalahan?
学校にいるのは私たちの先生ですか。

Ang mga NPA ang nandito. → Ang mga NPA ba ang nandito?
ここにいるのは新人民軍のゲリラたちですか。

Sina Ramon ang wala rito. → Sina Ramon ba ang wala rito?
ここにはいないのはラモンたちですか。

(Step4) : 所在・非所在文を疑問文にする

Ang guro ba namin ang nasa eskwelahan? (学校にいるのは私たちの先生ですか。)

Ang mga NPA ba ang nandito? (ここにいるのは新人民軍のゲリラたちですか。)

Sina Ramon ba ang wala rito? (ここにいないのはラモンたちですか。)

Lesson07 : さまざまな形容詞について

この課では形容詞について詳しく学習します。

Step1 : 一般形容詞とその強調形

フィリピン語の形容詞で最も数が多いのは、接辞の **ma-**と語根からできている **ma-**形容詞と、語根だけでできている語根形容詞です。物や人を修飾するときに使われます。

Malakas ang ulan. 雨は強い。

Mahina ang hangin. 風は弱い。

Sira ang telepono. 電話は壊れている。

Luma ang kotse namin. 私たちの車は古い。

Step1 : 一般形容詞とその強調形

ma-形容詞や語根形容詞を強調形にするには、いくつか方法があります。

1) 繋辞を伴って重複させる

Mataba ang mga baboy ko. → **Matabang** mataba ang mga baboy ko.

私の豚はとても太っています。

Payat ang mga baboy niya. → **Payat na** payat ang mga baboy niya.

彼(女)の豚はとてもやせています。

2) **masyado** (非常に) で修飾する

Mataba ang mga baboy ko. → **Masyadong** mataba ang mga baboy ko.

私の豚は太り過ぎです。

Payat ang mga baboy niya. → **Masyadong** payat ang mga baboy niya.

彼(女)の豚は痩せ過ぎです。

Maikli ang palda mo. → **Masyadong** maikli ang palda mo.

あなたのスカートは短か過ぎます。

3) 〈**napaka-** + 語根〉の **napaka-**形容詞に変える **napaka** (程度が過ぎる)

ただしこの **napaka-**形容詞を使用した場合は、主語のない文となります。

Mura naman ang mga mangga. → **Napakamura** naman ng mga mangga. マンゴーはとても安いです。

Malakas ang agos sa ilog. → **Napakalakas** ng agos sa ilog. 川の流れはとても強いです。

Marami ang mga langgam. → **Napakarami** ng mga langgam. アリがとても多いです。

(Step1) : 一般形容詞とその強調形

Matabang mataba ang mga baboy ko. (私の豚はとても太っています。)

Payat na payat ang mga baboy niya. (彼[女]の豚はとてもやせています。)

Masyadong mataba ang mga baboy ko. (私の豚は太り過ぎです。)

Masyadong payat ang mga baboy niya. (彼[女]の豚は痩せ過ぎです。)

Masyadong maikli ang palda mo. (あなたのスカートは短か過ぎます。)

Napakamura naman ng mga mangga. (マンゴーはとても安いです。)

Napakalakas ng agos sa ilog. (川の流れはとても強いです。)

Napakarami ng mga langgam. (アリがとても多いです。)

Step2 : 形容詞の最上級と比較級

ma-形容詞や語根形容詞の最上級が **pinaka-**形容詞です。

pinaka-形容詞は 〈pinaka- + ma-形容詞 / 語根形容詞〉 で形成されています。
Pinakamatangkad at pinakaguwapo si Eddie. エディは一番背が高くってハンサムです。
一方、比較級は 〈mas + ma-形容詞 / 語根形容詞〉 の形をとります。
一方、比較されるものは 〈kaysa + sa 句〉 で表されます。
Mas mura ang saging kaysa sa mangga. バナナはマンゴーよりも安いです。
Mas masipag si Joel kaysa kay David. ジョエルはデービッドよりも勤勉です。

Step2 : 形容詞の最上級と比較級

I . pinaka-形容詞を使った例文をもう少し詳しく学びましょう。

1) 名詞を修飾する場合

pinakatamad na estudyante 一番怠け者の生徒

pinakapopular na kanta 一番人気のある歌

2) 基本文1で述語の位置にきた場合

Pinakasariwa ang mga isda ni Aling Netty. ネティお婆さんの魚は一番新鮮です。

Pinakamatalino iyong bata sa kanila. あの子供が彼らの中で一番頭がよいです。

Pinakamayaman si Mister Cruz sa bayan namin. トニイさんは私たちの町で一番金持ちです。

3) 基本文2や基本文3で述語の位置にきた場合

Sino sa inyo ang pinakatamad? あなたたちの中で誰が一番怠け者ですか。

Si Juan ang pinakatamad sa amin. 私たちの中でフアンが一番怠け者です。

Alin sa mga ito ang pinakamahaba? これらの中でどれが一番長いですか。

Ito ang pinakamahaba sa mga iyan. それらの中でこれが一番長いです。

「～の中で」という表現は sa 句で表すことができます。

II . 比較級を表す 〈mas + ma- / 語根形容詞〉 の例文ももう少し見てみましょう。

1) 基本文1の述語の位置にきた場合

Mas mataba si Malu kaysa sa akin. マルーは私よりもっと太っています。

Mas mahaba ito kaysa diyani. これはそれよりもより長い。

Mas mura ang mga isda rito kaysa (sa mga isda) sa Maynila.

ここの魚はマニラのよりずっと安い。

Mas marami ang mga bisita kahapon kaysa (sa mga bisita) ngayon.

昨日のお客は今日のお客よりもっと多い。

(Step2) : 形容詞の最上級と比較級

Pinakasariwa ang mga isda ni Aling Netty. (ネティお婆さんの魚は一番新鮮です。)

Pinakamatalino iyong bata sa kanila. (あの子供が彼らの中で一番頭がよいです。)

Pinakamayaman si Mister Cruz sa bayan namin. (トニイさんは私たちの町で一番金持ちです。)

Sino sa inyo ang pinakatamad? (あなたたちの中で誰が一番怠け者ですか。)

Si Juan ang pinakatamad sa amin. (私たちの中でフアンが一番怠け者です。)

Alin sa mga ito ang pinakamahaba? (これらの中でどれが一番長いですか。)

Ito ang pinakamahaba sa mga iyan. (それらの中でこれが一番長いです。)

Mas mataba si Malu kaysa sa akin. (マルーは私よりもっと太っています。)

Mas mahaba ito kaysa diyani. (これはそれよりもより長い。)

Mas mura ang mga isda rito kaysa (sa mga isda) sa Maynila.

(ここの魚はマニラのよりずっと安い。)

Mas marami ang mga bisita kahapon kaysa (sa mga bisita) ngayon.

(昨日のお客は今日のお客よりもっと多い。)

Step3 : 同等を表す形容詞

「同じくらい——」という、性質や状態の度合いが同等であることを表す **kasing-**形容詞と **magkasing-**形容詞を学習します。基本文 1 において述語の位置で使われることが多いのですが、**magkasing-**形容詞を使う場合は主語は必ず複数形になります。

〈kasing-形容詞+ 比較されるもの (ng 句) + 主語〉「～は…と同じくらい～です。」

〈magkasing-形容詞+ 主語 (複数形)〉 「～ (複) は同じくらい～です。」

Kasingganda ako ni Lea. 私はレアと同じくらい美しいです。

Magkasingganda kami ni Lea. 私とレアは同じくらい美しいです。

Step3 : 同等を表す形容詞

kasing- と **magkasing-** の **-ng** は、後にくる語根の最初の音次第で、**m** になったり **n** になったりします。

後にくる音が **p, b** の場合 : **m**

後にくる音が **d, l, n, s, t, r** の場合 : **n**

上記以外の音の場合 : **-ng** のまま

kasing + bigat → **kasimbibat** 同じくらい重い

kasing + layo → **kasinlayo** 同じくらい遠い

magkasing + ganda → **magkasingganda** 同じくらい美しい

kasing-形容詞と **magkasing-**形容詞の基本文 1 で、述語の位置にくるときの例文をもう少し見てみましょう。

Kasinlakas ng Bagyong Yoling ang Bagyong Uring. 台風ウリンは台風ヨリンと同じくらい強い。

Magkasinlakas ang Bagyong Yoling at Bagyong Uring. 台風ヨリンとウリンは同じくらい強い。

Kasimbibat ako ni Malu. 私はマルーと同じくらい重たい。

Magkasimbibat kami ni Malu. 私とマルーは同じくらい重たい。

Kasinghirap ng Inggles ang Filipino. フィリピノ語は英語と同じくらい難しい。

Magkasinghirap ang Inggles at Filipino. 英語とフィリピノ語は同じくらい難しい。

天候や自然現象などを表す文における **magkasing-**形容詞は次のようになります。

Magkasing-init dito at doon. こことあそこは同じくらい暑い。

Magkasing-init ngayon at kahapon. 昨日と今日は同じくらい暑い。

(Step3) : 同等を表す形容詞

Kasinlakas ng Bagyong Yoling ang Bagyong Uring. (台風ウリンは台風ヨリンと同じくらい強い。)

Magkasinlakas ang Bagyong Yoling at Bagyong Uring. (台風ヨリンとウリンは同じくらい強い。)

Kasimbibat ako ni Malu. (私はマルーと同じくらい重たい。)

Magkasimbibat kami ni Malu. (私とマルーは同じくらい重たい。)

Kasinghirap ng Inggles ang Filipino. (フィリピノ語は英語と同じくらい難しい。)

Magkasinghirap ang Inggles at Filipino. (英語とフィリピノ語は同じくらい難しい。)

Magkasing-init dito at doon. (こことあそこは同じくらい暑い。)

Magkasing-init ngayon at kahapon. (昨日と今日は同じくらい暑い。)

Step4 : 人や物の性質や状態の度合いを表す

人や物の性質や状態の度合いは〈比較指示代名詞〉+〈ka- + 形容詞の語根〉で表すのが一般的です。比較指示代名詞には次のようなものがあります。

話し手の近く **ganito** このような、このように、これくらい

聞き手の近く **ganyan** そのような、そのように、それくらい

両者から離れて **ganoon** あのような、あのように、あれくらい

Ganito kakapal ang abo. 灰はこれくらいの厚さです。

Ganyan katindi ang pag-ibig niya. 彼の愛はそれくらい際立っています。
Ganoon kahirap ang buhay namin. 私どもの生活はあれくらい貧しいです。

Step4 : 人や物の性質や状態の度合いを表す

I. 〈比較指示代名詞〉 + 〈ka- + 形容詞の語根〉が主語の位置にきた基本文1を、もう少し見てみましょう。主語が人称代名詞か否かで、主語の位置が変わってきます。

1) 〈比較指示代名詞〉 + 〈ka- + 形容詞の語根〉 + **ang + (mga) + 名詞(句)**
si / sina + 人名

Ganito kaputi ang buhangin sa Boracay. ボラカイの砂はこれくらい白いです。

Ganyan katigas ang ulo mo. あなたの頭はそれくらい固いです。

Ganoon kabango ang sampagita. サンパギータはあれくらいよい香りです。

Ganoon kamura ang mangga ngayon. 今マンゴーはあれくらい安いです。

2) 〈比較指示代名詞〉 + 〈ang 形の人称代名詞〉 + 〈ka- + 形容詞の語根〉

Ganito siya kaganda. 彼女はこれくらい美しいです。

Ganyan ka kasipag. あなたはそれくらい勤勉です。

Ganoon sila katanga. 彼らはあれくらい愚かです。

II. 人物の性質や状態の度合いをたずねるには、疑問代名詞の〈gaano+ka-形容詞語根〉を用いますが、主語が人称代名詞か否かで、主語の位置が変わってきます。

1) 〈gaano〉 + 〈ka- + 形容詞の語根〉 + **ang + (mga) + 名詞(句)**
si / sina + 人名

Gaano kayaman si Don Jose? ホセ氏はどれくらいお金持ちですか。

Gaano kaganda ang Binibining Pilipinas? ミス・フィリピンはどのくらい美人ですか。

Gaano kalayo ang Davao mula sa Maynila? ダバオはマニラからどれくらい遠いですか。

2) 〈gaano〉 + 〈ang 形の人称代名詞〉 + 〈ka- + 形容詞の語根〉

Gaano siya kaitim? 彼はどれくらい黒いですか。

Gaano ka kabiog? あなたはどれくらい重いですか。

Gaano sila kahusay sa sayaw? 彼女たちはどれくらい踊りが上手ですか。

この疑問文の答え方はさまざまですが、よく使われる例をいくつかあげてみましょう。
以下は **Gaano kayaman si Don Jose?** に対する答えです。

Kasingyaman si Don Jose ng asawa mo.

ホセ氏はあなたの旦那さんと同じくらいお金持ちです。

Magkasingyaman si Don Jose at ang asawa mo.

ホセ氏とあなたの旦那さんは同じくらいお金持ちです。

Hindi raw mayaman si Don Jose.

ホセ氏はお金持ちではないそうです。

(Step4) : 人や物の性質や状態の度合いを表す

人や物の性質や状態の度合いを表す例文

Ganito kaputi ang buhangin sa Boracay. (ボラカイの砂はこれくらい白いです。)

Ganyan ka kasipag. (あなたはそれくらい勤勉です。)

Gaano sila kahusay sa sayaw? (彼女たちはどれくらい踊りが上手ですか。)

Kasingyaman si Don Jose ng asawa mo.

(ホセ氏はあなたの旦那さんと同じくらいお金持ちです。)

Lesson08 : さまざまな副詞(句)について

この課では小辞と呼ばれる副詞を中心に時を表わす表現について学びます。

Step1 : 小辞と呼ばれる副詞

フィリピン語には小辞と呼ばれる副詞が **18 ほど**あります。他の純粋な副詞が文中では比較的自由な位置にとれるのに比べ、小辞は位置が限定されてきます。

na 既に pala (驚きを表す) そうか～か pa まだ、ほかに
sana (願望を表す)～であったらなあ nga (語調を和らげる)確かに
kaya (思惑を表す)～だろうか din(rin) ～もまた
muna まず、とりあえず man ～もまた kasi なぜなら(理由の表現)
lang(lamang) ～だけ、単なる yata (推測を表す)～だと思ふ daw(raw) ～だそうだ
tuloy (結果を表す) po / ho (敬意を表す) na naman 再び
ba (疑問文を作る) pa rin 相変わらず naman (語調を和らげる)

Step1 : 小辞と呼ばれる副詞

基本文1における小辞の位置について学習しましょう。

1) 基本文1に小辞が1つある場合

小辞は原則として文中で前から2番目の位置にきます。したがって、基本文1に現れる小辞が1つだけのときには、自動的に前から2番目の位置、つまり述語と主語の間にきます。

〈述語〉 + 〈小辞〉 + 〈主語〉

Matanda na si Mang Sergio. セルジオさんは既に年老いています。

Bata pa si Tony. トニーはまだ若いです。

Mag-ingat po kayo. お気をつけください。

Kalatsutsi ba ito? これはプルメリアですか。 kalatsutsi n. plumeria (frangipani)

2) 基本文1に2つ以上の小辞が同時に現れる場合

まず、1音節と2音節のものが混在する場合は、1音節のものを前に出し、1音節のものがいくつか重なるときには、優先順位が決まっています。
例えば、よく使われる na と pa、 po と ho、そして ba の間では次のような順序になります。

〈述語〉 + na + po + ba + 〈主語〉

pa ho

Tapos na po ang parada. パレードはもう終わりました。

Tapos na po ba ang parada? パレードはもう終わりましたか。

Mura pa po ang mangga. マンゴーはまだ安いです。

Mura pa po ba ang mangga? マンゴーはまだ安いですか。

3) 基本文1に小辞と人称代名詞が同時に現れる場合

小辞が人称代名詞と同時に基本文1に現れることがよくあります。
そのときの文中での 順番は次のようになります。

ka	na	nga	din / rin	lang	daw / raw	po	ba	pala	ako
mo	pa		man	lamang		ho		naman	siya
ko								その他の	その他の
								2音節の小辞	2音節の小辞

Anak ka ni Aling Irma. 君はイルマさんの子供です。

→ Anak ka rin ni Aling Irma. 君もまたイルマさんの子供です。

Anak ka rin daw ni Aling Irma. 君もまたイルマさんの子供だそうだね。
Anak ka rin nga raw ni Aling Irma. 君もまたイルマさんの子供だそうだね。
Anak ka rin nga raw pala ni Aling Irma. あれ、君もまたイルマさんの子供だそうだね。
Anak ka rin daw ba ni Aling Irma? 君もまたイルマさんの子供だそうだね。

na と pa が 1 つの文に同時に用いられることはありません。
din と daw は、最後の音が母音で終わる単語が前に来ると rin, raw となる場合があります。
po と ho では、po のほうが敬意の度合いが強いです。

(Step1) : 小辞と呼ばれる副詞

Matanda na si Mang Sergio. (セルジオさんは既に年老いています。)
Bata pa si Tony. (トニーはまだ若いです。)
Mag-ingat po kayo. (お気をつけください。)
Kalatsutsi ba ito? (これはプルメリアですか。)
Tapos na po ang parada. (パレードはもう終わりました。)
Tapos na po ba ang parada? (パレードはもう終わりましたか。)
Mura pa po ang mangga. (マンゴーはまだ安いです。)
Mura pa po ba ang mangga? (マンゴーはまだ安いですか。)
Anak ka rin ni Aling Irma. (君もまたイルマさんの子供です。)
Anak ka rin daw ni Aling Irma. (君もまたイルマさんの子供だそうだね。)
Anak ka rin nga raw ni Aling Irma. (君もまたイルマさんの子供だそうだね。)
Anak ka rin nga raw pala ni Aling Irma. (あれ、君もまたイルマさんの子供だそうだね。)
Anak ka rin daw ba ni Aling Irma? (君もまたイルマさんの子供だそうだね。)

Step2 : 時を表す副詞(句)

副詞の中で小辞は文中での位置に制限がありますが、それ以外の副詞、特に場所や時を表す副詞は、文中での位置にそれほど制限はありません。場所が sa 句で表されることは、4 課で学びましたので、ここではよく用いられる時を表す副詞や副詞句について学びます。

kamakalawa おととい noon 以前 kahapon 昨日 kinabukasan 過去における翌日
kagabi 昨夜 kinagabihan 過去におけるその日の夜 ngayon 今日 kamakailan 先日
bukas 明日 isang araw 過去におけるある日
samakalawa あさって baling araw 未来におけるある日

Mayroong parada sa bayan ngayon. 今日、村でパレードがあります。
Mayroong parada ngayon sa bayan.
Ngayon mayroong parada sa bayan

Step2 : 時を表す副詞(句)

時を表す副詞(句)をもう少し詳しく見てみましょう。

1) 過去の時は noon 「以前」、未来の時は前置詞の sa を用いて表します。

noon + -(n)g + 〈時を表す名詞(句)〉

sa

noong Lunes この前の月曜日 sa Lunes この次の月曜日
noong Pebrero この前の2月 sa Pebrero この次の2月
noong 1896 1896年 sa taong 2008 2008年

May rebolusyon sa Pilipinas noong 1896. 1896年にフィリピンで革命がありました。
May Olympic Games sa Beijing sa taong 2008. 2008年に北京でオリンピックがあります。

2) 1日の中で、すでに過ぎ去った時は **kanina** 「さっき」を用い、これから来る時は **mamaya** 「あとで」を用いて表します。

kanina + -ng + 〈1日の具体的な時を表す名詞〉

mamaya + -ng

kaninang umaga さっきの朝 **mamayang umaga** これからの朝

kaninang tanghali さっきの昼 **mamayang tanghali** これからの昼

kaninang hapon さっきの午後 **mamayang hapon** これからの午後

Nagkita sila kaninang umaga. 今朝彼らは会いました。

Magkita tayo mamayang hapon. 今日の午後会いましょう。

3) **ngayon** 「今日、今」を使って「今の～」を表します。

ngayong linggo 今週 **ngayong buwan** 今月 **ngayong taon** 今年

ngayong semester 今学期 **ngayong Linggo** この日曜日 **ngayong Mayo** この5月

May piyesta sa Barrio Santa Fe ngayong Linggo. この日曜日サンタフェ村で祭りがあります。

Wala kaming klase ngayong linggo. 今週私たちは授業がありません。

4) 回帰的な時を表すには、〈**tuwing+時**を表す名詞(句)〉、

あるいは時を表す名詞の最初の2音節を重複させるかのどちらかです。

tuwing を使う場合 単語の重複

tuwing umaga **uma-umaga** 毎朝

tuwing tanghali **tangha-tanghali** 昼ごとに

tuwing hapon **hapun-hapon** 午後ごとに

tuwing gabi **gabi-gabi** 夜な夜な

(不可) **araw-araw** 毎日

(不可) **oras-oras** 毎時

(不可) **minu-minuto** 毎分

(不可) **linggu-linggo** 毎週

(不可) **buwan-buwan** 毎月

(不可) **taun-taon** 毎年

tuwing dalawang oras (不可) 2時間ごとに

tuwing Martes (不可) 火曜日ごとに

tuwing Hunyo (不可) 6月ごとに

May klase kami ng Filipino tuwing Martes. 私たちは毎火曜日フィリピン語の授業があります。

Umiinom ako ng gatas uma-umaga. 私は毎朝ミルクを飲みます

(Step2) : 時を表す副詞(句)

May rebolusyon sa Pilipinas noong 1896. (1896年にフィリピンで革命がありました。)

May Olympic Games sa Beijing sa taong 2008. (2008年に北京でオリンピックがあります。)

Nagkita sila kaninang umaga. (今朝彼らは会いました。)

Magkita tayo mamayang hapon. (今日の午後会いましょう。)

May piyesta sa Barrio Santa Fe ngayong Linggo. (この日曜日サンタフェ村で祭りがあります。)

Wala kaming klase ngayong linggo. (今週私たちは授業がありません。)

May klase kami ng Filipino tuwing Martes. (私たちは毎火曜日フィリピン語の授業があります。)

Umiinom ako ng gatas uma-umaga. (私は毎朝ミルクを飲みます。)

Step3 : 1日の時間を表す

ここでは時間をたずねたり、時刻を表す表現を勉強します。

時刻はスペイン数字を用いるのが一般的です。

1時は *ala una* ですが、2時から12時までは〈*alas* + スペイン数字〉で表されます。

Anong oras na ngayon? 今何時ですか。

Ala una na. もう1時です。

Anong oras ang klase ninyo? あなたたちの授業は何時ですか。

Alas nuwebe ang klase namin. 私たちの授業は9時です。

Step3 : 1日の時間を表す

1) 1日の時刻をより具体的に表すには次のようにします。

1時5分 *Ala una singko.*

2時15分 *Alas dos kinse*

3時半 *Alas tres y medya*

4時45分 *Alas kuwatro kuwarenta'y singko* (y'は接続詞の「および、そして」)

午前7時 *Alas siyete ng umaga*

午後7時 *Alas siyete ng hapon*

昼の12時 *Alas dose ng tanghali*

真夜中の12時 *Alas dose ng hatinggabi*

2) 「～時に」という表現は、〈*ng* + 時刻〉で表すのが一般的です。

5時に *ng alas singko* 8時に *ng alas otso*

6時に *ng alas seis/sais* 10時に *ng alas diyas*

May klase ako ng alas otso. 私は8時に授業があります。

Magkita tayo ng alas seis. 6時に会いましょう。

3) 過去や未来の曜日や時刻を同時に表すときは、次のようになります。

noong

+ 曜日 + 〈***nang*** + 時刻〉

sa

Nagkita sila noong Martes nang alas onse. 彼らはこの前の火曜日の11時に会いました。

Magkita tayo sa Biyernes nang alas siyete ng gabi. 今度の金曜日の夜7時に会いましょう。

(Step3) : 1日の時間を表す

May klase ako ng alas otso. (私は8時に授業があります。)

Magkita tayo ng alas seis. (6時に会いましょう。)

Nagkita sila noong Martes nang alas onse. (彼らはこの前の火曜日の11時に会いました。)

Magkita tayo sa Biyernes nang alas siyete ng gabi. (今度の金曜日の夜7時に会いましょう。)

Lesson09 : 「好き、欲しい」、「嫌いだ」、「必要だ」を表す

この課では、擬似動詞を使った表現を学習します。擬似動詞とは、意味的には動詞ですが、形態的に動詞の体裁を整えていないものです。「好き、嫌い、必要だ」などの表現です。

Step1 : 物や人、場所の好き嫌いを表す

ここでは、一般的にある物(生物をも含む)が、「好きだ、欲しい」、「嫌いだ」、「必要だ」の表し方を学習します。この文には主語はありません。

Gusto

Ayaw + ng 句で表わされる行為者+ ng + (mga) + 名詞(句)
Kailangan ng 形の指示代名詞

Gusto ng mga bata ng TV game. 子供たちはテレビゲーム(一般)が好きです。
Gusto ko nito. 私はこれが好きです。
Ayaw namin ng corrupt na politiko. 私たちは腐敗した政治家が嫌いです。
Kailangan nila ng tulong ninyo. 彼らはあなたたちの助けが必要です。

Step1 : 物や人、場所の好き嫌いを表す

I. 一般的にある物が「好きだ、欲しい」、「嫌いだ」、「必要だ」の表し方はカードで学習した通りです。このパターンに現れる ng 句は「好きだ、欲しい」、「嫌いだ」、「必要だ」の行為者(主体)を表します。Lesson 3 では、ng 句を所有者を表すものとして学びましたが、実際には ng 句は所有者を表すよりも擬似動詞や Les 10 以降に学ぶ動詞の行為者を表す場合によく使われます。例文を見てみましょう。

Gusto namin noon. 私たちはあれが好きです。
Gusto ni Nony ng matibay na sapatos. ノニーは丈夫な靴が好きです(欲しい)。
Ayaw nina Eddie ng sermon. エディーたちはお説教が嫌いです。
Ayaw ng mga binata ng matapang na alak. 若者たちは強い酒を嫌っています。
Kailangan niya ng pari. 彼は神父さんを必要としています。
Kailangan namin ng mas malaking bahay. 私たちはもっと大きい家が必要です。

II. ある特定のものが「好きだ、欲しい」、「嫌いだ」、「必要だ」の表し方は次の通りです。
このパターンは主語のある文です。

述語 主語

Gusto ang + 名詞(句)
Ayaw + ng 句の行為者 +
Kailangan ang 形の指示代名詞

Gusto ko ang kanta ni Joey Ayala. 私はジョーイ・アヤラの歌が好きです。
Kailangan niya itong pera. 彼女はこのお金が必要です。
Ayaw ko itong pabango. 私はこの香水が嫌いです。

III. ある特定の人が「好きだ」、「嫌いだ」、「必要だ」を表すには2通りあります。下のパターンのほうが、その特定の人物に対する好き嫌いや必要性が断定的でなくなるので、より頻繁に使われます。

述語 主語

Gusto si(単) / sina(複) + 人名
+ ng 句の行為者 +
Ayaw ang 形の人称代名詞

Gusto ng mga tao si President Arroyo. 人々はアロヨ大統領が好きです。
Ayaw niya ako. 彼女は私が嫌いです。

Gusto kay(単) / kina(複) + 人名
+ ng 句の行為者 +
Ayaw sa 形の人称代名詞

Gusto ko sa kanya. 私は彼が好きです。
Ayaw ni Ramon sa akin. ラモンは私が嫌いです。

IV. ある特定の場所が「好きだ」、「嫌いだ」は、次のように表します。

このパターンも主語がありません。

Gusto sa + 名詞

+ ng 句の行為者 +

Ayaw dito, diyan, doon

Gusto ko sa Pilipinas. 私はフィリピン(にいるの)が好きです。

Gusto ko rito. 私はここ(にいるの)が好きです。

Ayaw ko sa Japan. 私は日本(にいるの)が嫌いです

(Step1) : 物や人、場所の好き嫌いを表す

Gusto namin noon. (私たちはあれが好きです。)

Ayaw nina Eddie ng sermon. (エディーたちはお説教が嫌いです。)

sermon n. a public talk on religion or something connected with religion

Kailangan niya ng pari. (彼は神父さんを必要としています。)

Nagbinyag ng mga bata ang pari kahapon. The priest baptized the children yesterday.

Gusto ko ang kanta ni Joey Ayala. (私はジョーイ・アヤラの歌が好きです。)

Kailangan niya itong pera. (彼女はこのお金が必要です。)

Ayaw ko itong pabango. (私はこの香水が嫌いです。) pabango n. perfume, lotion, cologne

Gusto ng mga tao si President Arroyo. (人々はアロヨ大統領が好きです。)

Ayaw niya ako. (彼女は私が嫌いです。)

Gusto ko sa kanya. (私は彼が好きです。)

Ayaw ni Ramon sa akin. (ラモンは私が嫌いです。)

Gusto ko sa Pilipinas. (私はフィリピン(にいるの)が好きです。)

Gusto ko rito. (私はここ(にいるの)が好きです。)

Ayaw ko sa Japan. (私は日本(にいるの)が嫌いです。)

Step2 : 擬似動詞と疑問代名詞

擬似動詞と疑問代名詞を組み合わせた疑問文を学習します。ano を使った文は「何が欲しいですか/必要ですか /嫌いですか」の意味になります。よく使われる文章ですので答え方も含めてしっかり覚えましょう。

gusto

Ano + ang + ayaw + ng 句の行為者 ?

kailangan

Ano ang gusto ninyo? あなた(たち)は何が欲しいですか。

Kape ang gusto ko. 私はコーヒーが欲しいです。

Ano ang ayaw ni Maria? マリアは何が嫌いですか。

Ampalaya ang ayaw ni Maria. マリアはニガウリが嫌いです。

Ano ang kailangan ninyo? あなた(たち)は何が必要ですか。

Pag-ibig ang kailangan ko. 私は愛が必要です。

Step2 : 擬似動詞と疑問代名詞

疑問代名詞 ano に加え、sino 「誰」、alin 「どれ」、kailan 「いつ」、magkano 「いくら」などを使った疑問文とその答えは次のようになります。

Sino ang ayaw ni Lito? リトは誰が嫌いなのですか。

Ikaw ang ayaw ni Lito. リトはあなたが嫌いです。

Alin ang gusto ng mga estudyante? 学生たちはどれが欲しいのですか。

Ito ang gusto ng mga estudyante. 学生たちはこれが欲しいです。

Kailan ang gusto mo? あなたはいつがよいのですか。
Bukas ang gusto ko. 私は明日がよいです。

Magkano ang kailangan niya? 彼はいくら必要なのですか。
Limang libong piso ang kailangan niya. 彼は 5000 ペソ必要です。

(Step2) : 擬似動詞と疑問代名詞

Sino ang ayaw ni Lito? (リトは誰が嫌いなのですか。)
Ikaw ang ayaw ni Lito. (リトはあなたが嫌いです。)
Alin ang gusto ng mga estudyante? (学生たちはどれが欲しいのですか。)
Ito ang gusto ng mga estudyante. (学生たちはこれが欲しいです。)
Kailan ang gusto mo? (あなたはいつがよいのですか。)
Bukas ang gusto ko. (私は明日がよいです。)
Magkano ang kailangan niya? (彼はいくら必要なのですか。)
Limang libong piso ang kailangan niya. (彼は 5000 ペソ必要です。)

Step3 : 擬似動詞の形容詞的な使われ方

gusto, ayaw, kailangan は形容詞のような使われ方もします。繋辞を伴って重複すると、強調形にすることができます。加えて、mas や pinaka- などと一緒に使って、程度を表すこともできます。

Gustung-gusto ka ni Emily. エミリーはあなたが大好きです。

Mas gusto ko ng pagkaing Pilipino kaysa sa pagkaing Hapon.

私は日本料理よりフィリピン料理を好む(欲しい)。

Ito ang pinakagusto ko. これが私は一番好きです。

Step3 : 擬似動詞の形容詞的な使われ方

gusto, ayaw, kailangan が形容詞のように使われている文を、もう少し見てみましょう。

Gustung-gusto nila ng dinuguan.

彼らはディヌグアン(豚の新鮮な血をモツ系と煮込んだ食べ物)が大好きです。

Ayaw na ayaw nila sa amin. 彼女らは僕たちをととても嫌っています。

Kailangang-kailangan namin ng pera. 私たちはお金をとても必要としています。

Mas gusto ko sa Pilipinas kaysa sa Japan. 私は日本よりフィリピンのほうが好きです。

Mas ayaw ko ng winter kaysa sa tag-init. 私は夏より冬のほうがもっと嫌いです。

Mas kailangan mo ng pag-ibig kaysa sa gamot. 君は薬より愛を必要としています。

Ito ang pinakagusto kong bulaklak. これが私の一番好きな花です。

Ikaw ang pinakakailangan niya. あなたを彼は一番必要としています。

Si Mr. Cruz ang pinakaayaw nilang politiko. クルース氏は彼らが一番嫌っている政治家です。

(Step3) : 擬似動詞の形容詞的な使われ方

Gustung-gusto nila ng dinuguan. (彼らはディヌグアンが大好きです。)

Ayaw na ayaw nila sa amin. (彼女らは僕たちをととても嫌っています。)

Kailangang-kailangan namin ng pera. (私たちはお金をとても必要としています。)

Mas gusto ko sa Pilipinas kaysa sa Japan. (私は日本よりフィリピンのほうが好きです。)

Mas ayaw ko ng winter kaysa sa tag-init. (私は夏より冬のほうがもっと嫌いです。)

Mas kailangan mo ng pag-ibig kaysa sa gamot. (君は薬より愛を必要としています。)

Ito ang pinakagusto kong bulaklak. (これが私の一番好きな花です。)

Ikaw ang pinakakailangan niya. (あなたを彼は一番必要としています。)

Si Mr. Cruz ang pinakaayaw nilang politiko. (クルース氏は彼らが一番嫌っている政治家です。)

Lesson10 : 動詞の特徴 (フォーカス、モード、アスペクト) について

この課では、フィリピン語の動詞に関する重要な特徴を学習します。

Step1 : フォーカスと接辞

英語で動詞や動詞文を学ぶときは、自動詞・他動詞、能動態・受動態といった概念が導入されますが、フィリピン語ではフォーカス(焦点)・モード(行為の種類「性質」)・アスペクト(相)という概念を導入して、動詞や動詞文を学んでいきます。

フィリピン語の動詞は〈接辞+語根/語幹〉で形成されています。語根、あるいは語幹がその動詞の意味合いを表すのに対し、接辞はフォーカス・モード・アスペクトを表します。

フォーカスとは、英語の態に相当するもので、動詞文において何を主語にするかを決定するものです。英語では動詞文の主語になるのは、動作を行う人、動作の対象となる目的物(生物を含む)です。前者を能動態の文、後者を受動態の文と言います。ところが、フィリピン語では動作の行為者、動作の対象となる目的物のほかにもさまざまなものが主語になりえます。つまり、英語の受動態に相当する動詞文が、英語よりずっと複雑になっているのです。フィリピン語で主語になりえるものは、名詞(句)だけであることは1課で学びましたが、動詞文において主語になりえる名詞(句)を、補語と呼ぶことにします。そして数ある補語のうち、どの補語を主語にするのかを決定するのがフォーカスです。

Step1 : フォーカスと接辞

ここでは、フォーカスに基づいて動詞の接辞を見てみましょう。

1) 動作の行為者を表す、行為者補語を主語にする、行為者フォーカス接辞

- (a) mag- mag- + aral → mag-aral 勉強する
mag- + turo → magturo 教える
- (b) -um- -um- + kain → kumain 食べる
-um- + inom → uminom 飲む
- (c) mang- mang- + pasyal → mamasyal 散歩する
mang- + ligaw → manligaw 求愛する
- (d) m- m- + panood → manood 見る
m- + paligo → maligo 水浴びする、シャワーを浴びる
- (e) maka- maka- + sayaw → makasayaw 踊ることができる
maka- + kanta → makakanta 歌うことができる
- (f) maki- maki- + inom → maki-inom 一緒に飲む
maki- + kain → makikain 一緒に食べる

2) 動詞の対象となる物や人を表す、目的補語を主語にする、目的フォーカス接辞

- (a) i- i- + handa → ihanda 準備する
i- + bigay → ibigay 与える
- (b) -in dalaw + -in → dalawin 訪問する
hintay + -in → hintayin 待つ
- (c) -an tulong + -an → tulongan 助ける
balik + -an → balikan 戻る

3) 動作の行われる方向を表す、方向補語を主語にする、方向フォーカス接辞

- (a) -an punta + -an → puntahan 行く
bayad + -an → bayaran 支払う
- (b) ka- -an ka- + awa + -an → kaawaan 哀れむ
ka- + inis + an → kainisan いらつく

- 4) 動作の行われる場所を表す、場所補語を主語にする、場所フォーカス接辞
- (a) -an bili + -an → bilhan 買う
takas + -an → takasan 逃げる
- (b) pag- -an pag- + tulog + -an → pagtulugan 寝る
pag- + trabaho + -an → pagtrabahuhan 働く
- 5) 動作の恩恵を受ける人や物を表す、恩恵補語を主語にする、恩恵フォーカス接辞
- (a) i- i- + bili → ibili 買う
i- + kuha → ikuha 取ってくる
- (b) ipag- ipag- + luto → ipagluto 料理する
ipag- laban → ipaglaban 戦う
- (c) -an kanta + -an → kantahan 歌う
basa + -an → basahan 読む
- 6) 動作を行うための手段(道具)を表す、道具補語を主語にする、道具フォーカス接辞
- ipang- ipang- + putol → ipamputol 折る
ipang- + surat → ipasurat 書く
- 7) 話題を表す、話題補語を主語にする、話題フォーカス接辞
- pag- -an pag- + usap + -an → pag-usapan 話し合う
pag- + tsismis + -an → pagtsismisan ゴシップを言い合う
- 8) 動作が行われる理由を表す、理由補語を主語にする、理由フォーカス接辞
- ika- ika- + matay → ikamatay 死ぬ
ika- + galak → ikagalak 喜ぶ

Step2 : モードと接辞

動詞を形成する接辞は、フォーカスの他にモードをも決定します。モードとは、具体的な動作の種類を表すものです。

多かれ少なかれ意志を伴って行われる動作を表す**中立モード**、
偶然的な要素(行為者の能力や経験、偶然性など)が起因した動作を表す**状況モード**、
他者と一緒に行う動作を表す**参加モード**があります。

1 課に出てくる行為者フォーカス接辞のうち mag- , -um- , mang- , m- は中立モードです。

一方、 maka- は状況モード、 maki- は参加モードです。

目的・方向・場所・恩恵・道具・話題フォーカス接辞の -in , i- , -an , pag- -an , ipag- , ipang- は全て中立モードです。

Step2 : モードと接辞

よく使われる接辞のフォーカスとモードの関係を表すと、次のような表になります。

フォーカス/モード	中立	状況	参加
行為者	mag- -um- mang- m-	makapag- maka- makapang- maka-	makipag- maki- makipang- maki-
目的	-in i- -an	ma- mai- ma- -an	— — —

方向・場所	-an	ma- -an	—
場所・話題	pag- -an	mapag- -an	—
恩恵	ipag-	maipag-	—
道具	ipag-	maipag-	—

中立モード： Nagluto ako ng pansit. 私は焼きそばを料理した。(pansit n. long rice, noodles)

状況モード： Nakapagluto ako ng pansit. 私は焼きそばを料理できた。

参加モード： Nakipagluto ako ng pasit sa kanila. 彼らと一緒に焼きそばを料理した。

中立モード： Kumain ako ng durian. 私はドゥリアンを食べた。

(栄養が豊富で、王様が精力増強に食していたらしい。

「果物の王様」との別名がついたと言われるのがドゥリアン)

状況モード： Nakakain ako ng durian. 私はドゥリアンを食べたことがある。

参加モード： Nakikain ako ng durian sa kanila. 私は彼らと一緒にドゥリアンを食べた。

中立モード： Sinira ko ang manika. 私は人形を(わざと)壊した。

状況モード： Nasira ko ang manika. 私は人形を(不本意に)壊した。

参加モード： なし

中立モード： Pinuntahan namin ang Iloilo. 私たちはイロイロ市に行った。

状況モード： Napuntahan namin ang Iloilo. 私たちはイロイロ市に行くことができた。

参加モード： なし

(Step2) : モードと接辞

Nagluto ako ng pansit. (私は焼きそばを料理した。)

Nakapagluto ako ng pansit. (私は焼きそばを料理できた。)

Nakipagluto ako ng pasit sa kanila. (彼らと一緒に焼きそばを料理した。)

Kumain ako ng durian. (私はドゥリアンを食べた。)

Nakakain ako ng durian. (私はドゥリアンを食べたことがある。)

Nakikain ako ng durian sa kanila. (私は彼らと一緒にドゥリアンを食べた。)

Sinira ko ang manika. (私は人形を[わざと]壊した。)

Nasira ko ang manika. (私は人形を[不本意に]壊した。)

Pinuntahan namin ang Iloilo. (私たちはイロイロ市に行った。)

Napuntahan namin ang Iloilo. (私たちはイロイロ市に行くことができた。)

Step3 : アスペクト(相)と接辞

フィリピン語の動詞はアスペクト(相)によって活用します。

アスペクト(相)には完了相(動作が始まり、既に完了した場合で「~してしまった」)、
継続相(動作が始まってはいるが、完了していない場合で「~している / ~していた」)、
未然相(これから動作が始まる場合で「~します」)があります。

活用の仕方は接辞によって異なります。

	料理する	食べる	寝る	壊す	与える	行く
不定形	magluto	kumain	matulog	sirain	ibigay	puntahan
完了相	nagluto	kumain	natulog	sinira	ibinigay	pinuntahan
継続相	nagluluto	kumakain	natutulog	sinisira	ibinibigay	pinupuntahan
未然相	magluluto	kakain	matutulog	sisirain	ibibigay	pupuntahan

m- で始まる接辞 mag-, ma-, maka- などは、

完了・継続相では m- が n- に変わりますが、未然相では m- のままです。

一方、接辞が -in, i-, -an を伴う動詞の完了・継続相では、接辞-in- が語根の間に入ってきます。

Step3 : アスペクト(相)と接辞

主だった接辞のアスペクト(相)による違いは以下の通りです。

Nag-alaga ako ng mga baboy namin. 私は豚の世話をしました。(mag-alaga)

Nag-aalaga ako ng mga baboy namin. 私は豚の世話をしています。

Mag-aalaga ako ng mga baboy namin. 私は豚の世話をします。

Tumugtog ng gitara si Jose. ホセはギターを弾きました。(tumugtog)

Tumutugtog ng gitara si Jose. ホセはギターを弾いています。

Tutugtog ng gitara si Jose. ホセはギターを弾きます。

Natulog si Annie sa kama. アニーはベッドで寝ました。(matulog)

Natutulog si Annie sa kama. アニーはベッドで寝ています。

Matutulog si Annie sa kama. アニーはベッドで寝ます。

Binasa ko ang dyaryo(diyaryo). 私は新聞を読みました。(basahin)

Binabasa ko ang dyaryo. 私は新聞を読んでいます。

Babasahin ko ang dyaryo. 私は新聞を読みます。

Inihanda niya ang baon para kay Bong. 彼女はボンのために弁当を用意しました。(ihanda)

Inihahanda niya ang baon para kay Bong. 彼女はボンのために弁当を用意しています。

Ihahanda niya ang baon para kay Bong. 彼女はボンのために弁当を用意します。

Pinunasan namin ang mga bintana. 私たちは窓を拭きました。(punasan)

Pinupunasan namin ang mga bintana. 私たちは窓を拭いています。

Pupunasan namin ang mga bintana. 私たちは窓を拭きます。

(Step3) : アスペクト(相)と接辞

Nag-alaga ako ng mga baboy namin. (私は豚の世話をしました。)

Nag-aalaga ako ng mga baboy namin. (私は豚の世話をしています。)

Mag-aalaga ako ng mga baboy namin. (私は豚の世話をします。)

Tumugtog ng gitara si Jose. (ホセはギターを弾きました。)

Tumutugtog ng gitara si Jose. (ホセはギターを弾いています。)

Tutugtog ng gitara si Jose. (ホセはギターを弾きます。)

Natulog si Annie sa kama. (アニーはベッドで寝ました。)

Natutulog si Annie sa kama. (アニーはベッドで寝ています。)

Matutulog si Annie sa kama. (アニーはベッドで寝ます。)

Binasa ko ang dyaryo. (私は新聞を読みました。)

Binabasa ko ang dyaryo. (私は新聞を読んでいます。)

Babasahin ko ang dyaryo. (私は新聞を読みます。)

Inihanda niya ang baon para kay Bong. (彼女はボンのために弁当を用意しました。)

Inihahanda niya ang baon para kay Bong. (彼女はボンのために弁当を用意しています。)

Ihahanda niya ang baon para kay Bong. (彼女はボンのために弁当を用意します。)

Pinunasan namin ang mga bintana. (私たちは窓を拭きました。)
Pinupunasan namin ang mga bintana. (私たちは窓を拭いています。)
Pupunasan namin ang mga bintana. (私たちは窓を拭きます。)

Step4 : 動詞文と補語

主語と述語で構成されている基本文で、述語の位置に動詞がくる文が動詞文です。フィリピン語の動詞文は、動詞と1つ、または2つ以上の補語で構成されています。動詞における補語が1つのときは、これが自動的に主語になりますが、2つ以上のときは1つだけが主語になります。主語になる補語は *ang* 句で表されますが、それ以外の補語は *ng* 句や *sa* 句、*para sa* 句などで表されます。

Umiiyak ang bata. 子供が泣いています。(umiyak)

行為者補語＝主語

Naghanda ang nanay ng tanghalian para sa amin. (maghanda)

行為者補語＝主語 目的補語 恩恵補語

お母さんが私たちのために昼食を用意しました。

Ibinigay ni Mayor Lim ang bigas sa mga mahirap. (ibigay)

行為者補語 目的補語＝主語 方向補語

リム市長は貧しい人々に米をあげました。

Step4 : 動詞文と補語

補語とは動詞文に現れる名詞(句)で主語になれるものです。具体的には行為者を表す行為者補語、動作の対象となる物や人を表す目的補語、動作のなされる方向を表す方向補語、動作の行われる場所を表す場所補語、動作の恩恵を受ける人や物を表す恩恵補語、動作がなされる手段を表す道具補語、話題を表す話題補語、理由や原因を表す理由補語があります。これらの補語が基本文において主語にならないときは、次のように表されます。

行為者補語	： 「～は、～が」	： ng 句
目的補語	： 「～を」	： ng 句、sa 句
方向補語	： 「～に、～へ」	： sa 句
場所補語	： 「～で、～から」	： sa 句
恩恵補語	： 「～のために」	： para sa 句
道具補語	： 「～を使って」	： sa pamamagitan ng + 名詞、ng 句
話題補語	： 「～について」	： tungkol sa 句
理由補語	： 「～の理由で」	： dahil sa 句

ng 句や *sa* 句、*para sa* 句などで表されていた補語が、主語になると自動的に *ang* 句になります。
Gumawa kami ng mga parol. → Ginawa namin ang mga parol. 私たちはパロルを作りました。
Pumunta kami sa Pilipinas. → Pinuntahan namin ang Pilipinas. 私たちはフィリピンに行きました。
Gumawa kami ng parol para sa mga bata. → Iginawa namin ang mga bata ng parol.
私たちは子供たちのためにパロルを作りました。

(Step4) : 動詞文と補語

Ginawa namin ang mga parol. (私たちはパロルを作りました。)

Pinuntahan namin ang Pilipinas. (私たちはフィリピンに行きました。)

Iginawa namin ang mga bata ng parol. (私たちは子供たちのためにパロルを作りました。)

Lesson11 : 行為者フォーカスの mag-動詞と -um-動詞、動詞の修飾について

この課では、行為者補語を主語にする〈mag- + 語根〉で形成されている mag-動詞、
〈-um- + 語根〉で形成されている -um-動詞を学びます。

一番基本的な動詞ですから、しっかり覚えましょう。

Step1 : 行為者フォーカス動詞の mag-動詞

mag-動詞が述語の位置にくる動詞文では、主語となる行為者補語は ang 句で表されます。それ以外の補語は次のように表されます。

行為者補語 「～は、～が」	:	ang 句
目的補語 「～を」	:	ng 句、sa 句
方向補語 「～に、～へ」	:	sa 句
場所補語 「～で、～から」	:	sa 句
恩恵補語 「～のために」	:	para sa 句
道具補語 「～を使って」	:	sa pamamagitan ng + 名詞、ng 句
話題補語 「～について」	:	tungkol sa 句
理由補語 「～の理由で」	:	dahil sa 句

Mag-iimbita ako ng mga kaibigan sa party. 私は友達をパーティーに招待します。(mag-iimbita)
行為者補語 目的補語 方向補語

Step1 : 行為者フォーカス動詞の mag-動詞

mag-動詞を使った例文をもう少し見てみましょう。

Maghiwa ka ng karne sa pamamagitan ng kutsilyo. ナイフで肉をスライスしなさい。(maghiwa)
行為者補語 目的補語 道具補語

Mag-usap tayo tungkol sa kinabukasan natin. 私たちの将来について話し合ひましょう。
行為者補語 話題補語 (mag-usap)

Namatay ang lolo ko dahil sa kanser. 私の祖父はガンで亡くなりました。(mamatay)
行為者補語 理由補語

I . mag-動詞の活用

母音で始まる語根 子音で始まる語根

語根	aral 勉強する	hintay 待つ
不定形	mag-aral	maghintay
完了相	nag-aral	naghintay
継続相	nag-aaral	naghihintay
未然相	mag-aaral	maghihintay

接辞の mag- は、完了・継続相では nag- になりますが、未然相では mag- のままです。また、継続相と未然相では語根の重複が行われます。これは、第1音節の最初の子音と母音、あるいは母音のみを重複させます。母音で始まる語根の場合は母音だけの重複です。

II . mag-動詞のおおまかな分類

1) 他動詞

mag-動詞の多くが他動詞です。よく使われるものをいくつかあげておきます。

(a) ng 句や sa 句で表される目的補語を伴うもの

(b) 目的補語がすでに動詞の語根に含まれてしまっているものに大別できます。

(a) mag-alaga 世話をする magluto 料理する magbayad 支払う magpunas 拭く
magdala 持って行く/来る magsabi 言う maghanda 用意する magsalita 話す
maghintay 待つ magsuot 着る mag-iwan 置いていく、残す magtanim 植える

Nag-aalaga si Marina ng pamangkin niya. マリナは姪の世話をしています。

Maghintay ka sa akin sa kantin. 食堂で待っていてください。

Nagtatanim ang mga magsasaka ng pakwan. 農民らはスイカを植えています。

(b) magbir ビールを飲む magsapatos 靴を履く magkape コーヒーを飲む
magbakya 木のサンダルを履く mag-obento お弁当を食べる magtagalog タガログ語を話す
magtenis テニスをする magkutsara スプーンを使う

Magkape muna tayo. とりあえずコーヒーを飲みましょう。
Nagbabakya ako pag tag-ulan. 雨期には私は木のサンダルを履きます。
Nagtatagalog ka ba? タガログ語を話しますか。

2) 「お互いに～する」、「一斉に～する」という相互動作や一斉動作を表す。
主語は必ず複数になります。

mag-away 喧嘩する magkuwentuhan 話し合う magkita 会う
magkantahan 一緒に歌う maghiwalay 別れる mag-inuman 一緒に飲む
magtanan 駆け落ちする magtulungan 助け合う

Magkita tayo sa kantin mamaya. あとで食堂で会いましょう。
Nagkantahan ang mga bata. 子供たちは一緒に歌っています。

3) 自動詞

目的補語を伴わず使用されます。数はそれほど多くありません。
magtaka 驚く magsawa 飽きる magbago 変わる magmadali 急ぐ
mag-alala 心配する mag-alsa 蜂起する maglibot 徘徊する mag-umpisa 始まる

Nagmamadali ako. 私は急いでいます。
Nag-alsa ang mga katipunero. 秘密結社のメンバーたちは蜂起しました。

(Step1) : 行為者フォーカス動詞の mag-動詞

Nag-aalaga si Marina ng pamangkin niya. (マリナは姪の世話をしています。)
Maghintay ka sa akin sa kantin. (食堂で待っていなさい。)
Nagtatanim ang mga magsasaka ng pakwan. (農民らはスイカを植えています。)
Magkape muna tayo. (とりあえずコーヒーを飲みましょう。)
Nagbabakya ako pag tag-ulan. (雨期には私は木のサンダルを履きます。)
Nagtatagalog ka ba? (タガログ語を話しますか。)

Step2 : 行為者フォーカス動詞の -um-動詞

-um-動詞を形成する接辞 -um- は、フィリピン語の数少ない接中辞です。語根の最初の子音と母音の間に添加されます。mag-動詞の多くが他動詞であるのに比べ、-um-動詞は自動詞も多いと言えます。-um-動詞が述語の位置にくる動詞文では、行為者補語・目的補語・方向補語・場所補語・恩恵補語等全て mag-動詞と同じ方法で表されます。

行為者補語 「～は、～が」	:	ang 句
目的補語 「～を」	:	ng 句、sa 句
方向補語 「～に、～へ」	:	sa 句
場所補語 「～で、～から」	:	sa 句
恩恵補語 「～のために」	:	para sa 句
道具補語 「～を使って」	:	sa pamamagitan ng + 名詞、ng 句
話題補語 「～について」	:	tungkol sa 句
理由補語 「～の理由で」	:	dahil sa 句

Step2 : 行為者フォーカス動詞の -um-動詞

I. -um-動詞の活用

母音で始まる語根	子音で始まる語根
語根 alis 立ち去る	dating 到着する
不定形 umalis	dumating
完了相 umalis	dumating
継続相 umaalis	dumarating
未然相 aalis	darating

接辞の -um- は完了相と継続相ではそのままですが、未然相では消えます。また継続相と未然相では、語根の重複が行われます。第1音節の最初の子音と母音、あるいは母音の重複です。母音で始まる語根の場合は、母音だけの重複です。なお、不定形と完了相は同じ形です。

II. -um-動詞のおおまかな分類

1) 自動詞

-um-動詞の多くが自動詞です。よく使われるものをいくつかあげておきます。

(a) sa 句で表される方向補語や場所補語を伴うもの

(b) 形容詞の語根と共通の語根を有し、状態を表すものに大別できます。

- (a) umalis 立ち去る pumunta 行く umakyat 上る sumakay 乗る
 bumaba 降りる、下がる tumakas 逃走する bumali 戻る tumayo 立つ
 dumating 到着する umupo 座る umuwi 家に帰る sumama 同行する
 pumasok 中に入る、(学校などに) 行く

Pumunta tayo sa Pilipinas sa Pasko. クリスマスにフィリピンに行きましょう。

行為者補語 方向補語

Sasama ka sa akin sa Immigration. 出入国管理局に同行して。

行為者補語 方向補語 方向補語

Tumakas ang mga bilanggo sa bilangguan. 刑務所から囚人たちが逃げ出しました。

行為者補語 場所補語

Bababa ako sa susunod na istasyon. 私は次の駅で降ります。

行為者補語 場所補語

- (b) tumaba 太る pumayat やせる lumakas 強くなる humina 弱くなる
 bumata 若くなる tumanda 年を取る uminit 熱(暑)くなる lumamig 冷たくなる

Tumataba ako ngayon. 私は太っています。

行為者補語

Bumata ka naman. あなたは若くなりましたね。

行為者補語

Lumamig na ang mga pagkain. もう食べ物は冷たくなりました。

行為者補語

2) 他動詞

ng 句や sa 句で表される目的補語を伴います。

bumasa 読む sumulat 書く kumain 食べる uminom 飲む

bumili 買う kumuha 手に入れる、取る gumamit 使用する gumawa 作る、する

humanap 探す humingi 請う pumutol 折る、切る pumitas 摘む

Bumili tayo ng ulam para sa hapunan. 夕食のためにおかずを買きましょう。

行為者補語 目的補語 恩恵補語

Pumutol tayo ng mga sanga sa pamamagitan ng gunting. はさみを使って枝を切りましょう。
行為者補語 目的補語 道具補語

Gumagawa sila ng suman para sa Pasko. 彼らはクリスマスのためにスーマンを作っています。
行為者補語 目的補語 恩恵補語
「スーマン」固めに炊いた餅米をココナッツミルクと塩で味付けし、バナナの葉で包む。

3) 天候や自然現象を表す -um-動詞

天候・自然現象を表す名詞を語根として作られている -um-動詞は、主語を伴うことなしに使用できます。時や場所を表す副詞や sa 句などと一緒に使われます。

umulan 雨が降る bumaha 洪水になる kumulog 雷が鳴る kumidlat 稲妻が光る
bumagyo 台風がある lumindol 地震がある dumilim 暗くなる lumiwanag 明るくなる

Umuulan ngayon. 今雨が降っています。

Bumaha sa amin. 私たちの所は洪水になりました。

Dumilim na. もう暗くなりました。

(Step2) : 行為者フォーカス動詞の -um-動詞

Pumunta tayo sa Pilipinas sa Pasko. (クリスマスにフィリピンに行きましょう。)

Sasama ka sa akin sa Immigration. (出入国管理局に同行して。)

Tumakas ang mga bilanggo sa bilangguan. (刑務所から囚人たちが逃げ出しました。)

Bababa ako sa susunod na istasyon. (私は次の駅で降ります。)

Tumataba ako ngayon. (私は太っています。)

Bumata ka naman. (あなたは若くなりましたね。)

Lumamig na ang mga pagkain. (もう食べ物は冷たくなりました。)

Step3 : 形容詞や副詞による動詞の修飾

フィリピン語では副詞に加え、一部形容詞も動詞を修飾することができます。

「～ができる」、「～が上手である」を意味する **marunong** , **magaling/ mahusay** が動詞を修飾するときは、動詞の前から修飾するのが一般的です。一方、ごく一般的な形容詞を使って修飾するときは、動詞の後から〈**nang** + 形容詞〉の形で修飾するのが一般的です。

Umuulan at humahangin **nang** malakas. 雨と風が強いです。

Magaling sumayaw sina Kris. クリスたちは踊りが上手です。

Laging kumakain si Jun. ジェンはいつも食べています。

Step3 : 形容詞や副詞による動詞の修飾

I. 程度や頻度を表す副詞や副詞句は、動詞の前から修飾するのが一般的です。

繋辞の -ng は省略されることはありませんが、na は省略されます。

lalo さらに muntik もう少しで lagi / palagi いつも paminsan-minsan ときどき bihira まれに
minsan かつて、一度 agad / kaagad 急に、すぐさま halos ほとんど isang beses 一度

Lalong lumakas ang hangin. 風がますます強くなりました。

Muntik siyang mamatay. 彼はもう少しで死ぬところでした。

Bihira kaming nagbabakasyon sa Cebu. 私たちはまれにセブで休暇を過ごします。

Magdamag siyang bumabasa ng nobela. 彼は夜中に小説を読んでいます。

(damag - magdamag (mag-) adv. the whole night)

Isang beses lang pumunta si Nony sa night club. ノニーは一度だけナイトクラブに行きました。

II. 形容詞の marunong 「～ができる」 mahusay 「上手である」 magaling 「上手である」 が動詞を修

Bumaril sila ng ibon. 彼らは鳥を撃ちました。 (bumaril)
 Namaril sila ng ibon. 彼らは鳥を狩猟しました。 (mang+baril → mambaril → mamaril)
 (baril n. gun · bumaril (-um-) v. to shoot with a gun. Bumaril si Pedro. Pedro shot the gun.
 magbaril (mag-) v. to shoot oneself. Magbaril ka. (You) shoot.
 mamaril, barilin (mang-:in) to shoot at something. Barilin mo ang ibon. Shoot the bird.)
 Magbigay ka ng pagkain sa kanila. 彼らに食べ物をあげなさい。 (magbigay)
 Mamigay ka ng pagkain sa kanila. 彼らに食べ物を配布しなさい。
 (mang+bigay → mambigay → mamigay)

Step1 : 行為者フォーカス動詞の mang-動詞

I. 接頭辞の添加に伴う音の変化

接辞の mag- や -um- が語根に添加されるとき、音の変化はありませんが、 mang- が語根に添加されると音の変化が生じますから注意しましょう。まず、mang- の -ng が語根の最初の子音に同化されます。最初の子音が **p, b** のときは **-m** に、 **t, d, l, s** のときは **-n** に、その他のときは **-ng** のままです。同化に加えて、語根の最初の子音が消失する場合があります。

1) 同化のみ

g : mang- + gulo → manggulo 問題を起こす
 h : mang + harana → mangharana セレナーデを歌う
 y : mang- + yakap → mangyakap 抱きしめる

 b : mang- + babae → mambabae 女遊びをする
 d : mang- + dukot → mandukot 掏(す)る
 l : mang- + ligaw → manligaw 求愛する

2) 〈同化+ 語根〉の最初の子音の消失

p : mang- + pasyal → mampasyal → mamasyal 散策する
 b : mang- + buhay → mambuhay → mamuhay 生活する
 k : mang- + kuha → mangkuha → manguha 採取する
 t : mang- + tukso → mantukso → manukso からかう
 s : mang- + sipa → mansipa → manipa 蹴る

II. mang-動詞の活用

(語根の最初の子音が)消失している場合と消失していない場合

語根	pasyal	ligaw
不定形	ma/ ma/ syal	man/ li / gaw
完了相	namasyal	nanligaw
継続相	namamasyal	nanliligaw
未然相	mamamasyal	manliligaw

接辞 mang- は完了・継続相では nang- になりますが、未然相では mang- のままです。また継続相と未然相では、不定形の第2音節の最初の子音と母音が重複されます。

III. mang-動詞の分類

mang-動詞は mang-動詞の形のみで存在するものと、

-um-動詞や mag-動詞から派生されたものと大きく分けることができます。

1) mang-動詞の形でのみ存在するもの

mamangka (mang+bangka) バンカに乗る mangisda (mang+gisda) 漁をする
 mangahoy (mang+kahoy) 薪を集める mamulaklak (mang+bulaklak) 咲く
 mamunga (mang+bunga) 実をつける mamuhay (mang+buhay) 生活する

mamundok (mang+bundok) 山にこもる mamalengke (mang+palengke) (市場で)買い物をする

***バンカ**(Banca)とはパンブポート (エンジン付きアウトリガーカヌー) のこと。
アウトリガーカヌー (Outrigger canoe) は、南太平洋などで用いられるカヌーの一種で、安定性を増すために、カヌー本体の片脇あるいは両脇にアウトリガーとも呼ばれる浮子 (ウキ) が張り出した形状をしている。

Namumulaklak ang mga wild orkid(orchid). 野生のランが花を咲かせています。

Namumunga ang mga puno ng mangga. マンゴーの木が実をつけています。

Namamalengke ako pag Sabado. 私は土曜日に市場で買い物をします。

2) -um-動詞や mag-動詞から派生されたもの

mamili ショッピングする (bumili 買う)

manguha 採集する (kumuha 取る)

mandukot 掏(す)る (dumukot 取り出す)

manghiram 頻繁に借りる (humiram 借りる)

mamasyal 散歩する (pumasyal 訪問する)

manipa 何回も蹴る (sumipa 蹴る)

manuntok 何回も殴る (sumuntok 殴る)

manigarilyo 習慣的に喫煙する (magsigarilyo 喫煙する)

mangitim 一時的に黒くなる (umitim 黒くなる)

mamula 赤面して赤くなる (pumula 日に焼けて赤くなる)

Mamasyal tayo sa Luneta Park. ルネタ公園に散歩に行きましょう。

Laging nanghihiram ng pera si Mang Andoy. アンドイさんはいつもお金を借りています。

Bakit ka namumula? どうして赤くなっているのですか。

(Step1) : 行為者フォーカス動詞の mang-動詞

Namumulaklak ang mga wild orkid. (野生のランが花を咲かせています。)

Namumunga ang mga puno ng mangga. (マンゴーの木が実をつけています。)

Namamalengke ako pag Sabado. (私は土曜日に市場で買い物をします。)

Mamasyal tayo sa Luneta Park. (ルネタ公園に散歩に行きましょう。)

Laging nanghihiram ng pera si Mang Andoy. (アンドイさんはいつもお金を借りています。)

Bakit ka namumula? (どうして赤くなっているのですか。)

Step2 : 行為者フォーカス動詞の m-動詞

フィリピン語の動詞は基本的には〈接辞+語根〉で形成されています。しかし一部の動詞は〈接辞+語幹 (=接辞+語根)〉としてとらえます。あくまでも語根にこだわれば〈接辞+語幹〉は、〈より複雑な接辞+語根〉として扱えますが、動詞の接辞を複雑化させないために、一部の動詞は〈接辞+語幹〉として扱います。m-動詞がこれにあたります。p- で始まる語幹を接辞の m- で置き換えることによって成り立っている動詞です。なお、m-動詞の語幹の多くは名詞としても使われています。

〈語幹〉	〈m-動詞〉
pangako (= pang- + ako) 約束	mangako 約束する
panalo (= pang- + talo) 勝利	manalo 勝つ
pakiramdam (= pang- + damdam) 気分	makiramdam 感じ取る

Step2 : 行為者フォーカス動詞の m-動詞

I. m-動詞の活用

語幹	pa/ nga/ ko 約束する	pa/ na/ lo 勝つ
不定形	mangako	manalo
完了相	nangako	nanalo
継続相	nangangako	nananalo
未然相	mangangako	mananalo

接辞 m- は完了・継続相では n- になりますが、未然相では m- のままです。
また継続・未然相では語幹の第2音節の最初の子音と母音を重複します。

II. m-動詞の分類

m-動詞はすでに語幹に含まれている接辞の種類に基づき、大きく3つに分けることができます。
ここで出てくる接辞 paki- や pang- は、本来は何らかの機能を持ちあわせていたのですが、現在ではほとんど消失してしまっています。

1) 語幹が接辞 pa- を含んでいるもの

makinabang (pakinabang) 利益を得る、恩恵を被る
makinig (pakinig) 聞く maligo (paligo) シャワーを浴びる

Sino ang nakikinabang sa digmaan? 誰が戦争から利益を得ているのですか。
Makinig kayo sa akin. 私の話を聞きなさい。

2) 語幹が接辞 paki- を含んでいるもの

makialam (pakialam) 干渉する makibaka (pakibaka) 争いに加わる
makibagay (pakibagay) 適応させる makitungo (pakitungo) 扱う
makisama (pakisama) 付き合う makiramdam (pakiramdam) 感じとる
makiusap (pakiusap) お願いする

Huwag ka nga munang makialam sa akin. 私に干渉しないで。
Makikiramdam ako kung ano ang balak nila. 何が彼らの計画か探ってみます。
Nakikiusap ako sa iyo. お願いがあるので。

3) 語幹が接辞 pang- を含んでいるもの

manganak (panganak) 子供を産む mangamba (pangamba) 恐れる
mangarap (pangarap) 夢見る mangaral (pangaral) 教えを説く
mamahala (pamahala) 責任を持つ managinip (panaginip) (夜)夢を見る
manaog (panaog) 下に降りる manatili (panatili) (~で)あり続ける
maniwala (paniwala) 信じる manood (panood) (映画などを)見る
manawagan (panawagan) 訴える manindigan (panindigan) 主義主張を守る

Hindi ako naniniwala sa iyo. 私はあなたを信じません。
Manood ka na lang ng sabong. 闘鶏を見てみたら。
Mangako kang titigil ka na sa bisyong iyon. 悪い癖をやめると約束して。
Huwag ka ngang mangarap nang gising. 目覚めていて夢見ないこと

(Step2) : 行為者フォーカス動詞の m-動詞

Sino ang nakikinabang sa digmaan? (誰が戦争から利益を得ているのですか。)
Makinig kayo sa akin. (私の話を聞きなさい。)
Huwag ka nga munang makialam sa akin. (私に干渉しないで。)
Makikiramdam ako kung ano ang balak nila. (何が彼らの計画か探ってみます。)
Nakikiusap ako sa iyo. (お願いがあるので。)

Hindi ako naniniwala sa iyo. (私はあなたを信じません。)
Manood ka na lang ng sabong. (闘鶏を見てみたら。)
Mangako kang titigil ka na sa bisyong iyon. (悪い癖をやめると約束して。)
Huwag ka ngang mangarap nang gising. (目覚めていて夢見ないこと。)

Step3 : huwag, dapat, maaari / puwede による動詞の修飾

禁止を表す huwag 「～してはいけない」、義務を表す dapat 「～すべきである」、
許可を表す maaari / puwede 「～してもよろしい」が動詞を修飾する文を学習します。

Huwag kayong umuwi. あなたたちは家に帰ってはいけません。
Huwag tayong umuwi. 家に帰るのをやめましょう。
Dapat kayong umuwi. あなたたちは家に帰らなければいけません。
Maaari kayong umuwi. あなたたちは帰ってもかまいません。

Step3 : huwag, dapat, maaari / puwede による動詞の修飾

I. huwag が動詞を修飾して用いられるのは、話し相手あるいは自分たちに対し、ある動作を禁止するときです。つまり、2人称の ka か kayo、1人称複数 of tayo が主語になります。

Huwag + kang / kayong + 〈動詞の不定形 / 未然相〉「～してはいけません。」
Huwag + tayong + 〈動詞の不定形 / 未然相〉「～するのをやめましょう。」

Huwag kayong aalis. 行かないで。
Huwag tayong umalis dito. ここから立ち去るのをやめましょう。

II. dapat と maaari / puwede が動詞を修飾するときの主語は huwag のときのように限定されず、ang 句であれば誰でもかまいません。ただし、行為者が人称代名詞かどうかで、主語の位置は変わってきます。

1) 主語が人称代名詞の場合

dapat + 〈人称代名詞 + -ng〉 + 〈動詞の基本形〉
maaari / puwede

Dapat kang uminom ng gamot. あなたは薬を飲まなければいけません。
Maaari silang sumali sa parada. 彼らはパレードに参加できます。
Puwede silang manood ng sine. 彼らは映画を見てもかまいません。

2) 主語が人称代名詞以外の場合

dapat + 〈動詞の基本形〉 + ang + (mga) + 普通名詞
maaaring / puwedeng si / sina + 人名

Dapat uminom ng gamot ang mga pasyente. 患者たちは薬を飲まなければいけません。
Maaaring sumali sa parada ang mga dayuhan. 外国人はパレードに参加できます。
Puwedeng manood ng sine dito ang mga bata. 子供たちはここで映画を見ることができます。

(Step3) : huwag, dapat, maaari / puwede による動詞の修飾

Huwag kayong aalis. (行かないで。)
Huwag tayong umalis dito. (ここから立ち去るのをやめましょう。)
Dapat kang uminom ng gamot. (あなたは薬を飲まなければいけません。)
Maaari silang sumali sa parada. (彼らはパレードに参加できます。)
Puwede silang manood ng sine. (彼らは映画を見てもかまいません。)
Dapat uminom ng gamot ang mga pasyente. (患者たちは薬を飲まなければいけません。)
Maaaring sumali sa parada ang mga dayuhan. (外国人はパレードに参加できます。)

Subukin mong magsalita ng Tagalog. Try to speak in Tagalog.

(s'ubok - magsubok, sub'ukin (mag-:-in) v. to try, to test.)

Gusto mo bang manubok sa ginagawa ng mga dayuhan?

(manubok (mang-) v. to spy on.) Do you like to spy on the activities of the foreigners?

Puwedeng manood ng sine dito ang mga bata. (子供たちはここで映画を見ることができます。)

Step4 : gusto, ayaw, kailangan による動詞の修飾

gusto 「欲しい、好きだ」、ayaw 「嫌いだ」、kailangan 「必要だ」が動詞を修飾すると、「～したい、～したがつている」、「～したくない、～しようとしなない」、「～する必要がある」の意になります。

Gusto kong sumama sa iyo. あなたと一緒にいきたいです。

Ayaw kong sumama sa iyo. あなたと一緒に行くのは嫌です。

Ayaw umandar nitong bentilador. この扇風機は動こうとしません。

Kailangan mong umalis ngayon. 今出発する必要があります。

Step4 : gusto, ayaw, kailangan による動詞の修飾

gusto, ayaw, kailangan が動詞を修飾する場合、主体（行為者）が人称代名詞か否かで、パターンが少し異なります。

1) 主体（行為者）が人称代名詞の場合

gusto

ayaw + 〈ng 形の人称代名詞+ -ng〉+ 〈動詞の不定形〉

kailangan

Gusto nilang maligo bago sila kumain. 彼らは食べる前に水浴びをしたがつています。

Gusto kong manatiling maganda. 私は美しくあり続けたい。

Ayaw nilang mangitim. 彼らは黒くなりたくない。

Kailangan naming magtipid. 私たちは節約する必要があります。

2) 主体（行為者）が人称代名詞以外の場合

Gustong

Ayaw + 〈動詞の不定形〉+ 〈ng 句の主体〉

kailangang

Gustong bumili ng bagong kotse ng mga magulang ko. 私の両親は新しい車を買いたがつています。

Ayaw manigarilyo ni Mang Bendoy. ベンドイさんはタバコを吸うのが嫌いです。

Ayaw makinig sa akin ng mga estudyante. 学生たちは私の言うことを聞こうとしません。

Kailangang magsauli ng utang sa akin ni Aling Malu. マルーさんは私に借金を返す必要があります。

Kailangang tumakbo ng mga bata uma-umaga. 子供たちは毎朝走る必要があります。

(Step4) : gusto, ayaw, kailangan による動詞の修飾

Gusto nilang maligo bago sila kumain. (彼らは食べる前に水浴びをしたがつています。)

Gusto kong manatiling maganda. (私は美しくあり続けたい。)

Ayaw nilang mangitim. (彼らは黒くなりたくない。)

Kailangan naming magtipid. (私たちは節約する必要があります。)

Gustong bumili ng bagong kotse ng mga magulang ko. (私の両親は新しい車を買いたがつている。)

Ayaw manigarilyo ni Mang Bendoy. (ベンドイさんはタバコを吸うのが嫌いです。)

Ayaw makinig sa akin ng mga estudyante. (学生たちは私の言うことを聞こうとしません。)

Kailangang magsauli ng utang sa akin ni Aling Malu. (マルーさんは私に借金を返す必要がある。)

Kailangang tumakbo ng mga bata uma-umaga. (子供たちは毎朝走る必要があります。)

Lesson13 : 行為者フォーカス動詞の状況モードについて

フィリピン語の動詞を学ぶとき、フォーカスという概念を理解することが大切ですが、モードという概念も理解しておく必要があります。今まで学んできた mag-動詞、-um-動詞、mang-動詞、m-動詞は、モードでいうと中立モードです。この課では行為者フォーカス動詞の状況モードと参加モードの動詞を学びます。

Step1 : 状況モードの maka-動詞

行為者フォーカス動詞で状況モードの動詞は「～できる」、「たまたま～する」、「不本意に～する」、「～したことがある」の意味合いで用いられます。

どの意味が適切なのかは、文の前後から判断します。

今まで学習してきた mag-動詞、-um-動詞、mang-動詞、m-動詞の状況モードを見てみましょう。

中立モード 状況モード

uminom (飲む) makainom

magluto (料理する) makapagluto

mangisda (漁をする) makapangisda

manood (見る) makapanood

Uminom ako ng tuba. ココヤシのワインを飲みました。

Nakainom ako ng tuba. ココヤシのワインを飲んだことがあります。

Nanood kami ng “Mano po”. 私たちは『マノポ』（映画のタイトル）を観ました。

Nakapanood kami ng “Mano po”. 私たちは『マノポ』（映画のタイトル）を観ることができた。

Step1 : 状況モードの maka-動詞

-um-動詞の状況モードは、語根はそのままにして -um- を maka- に置き換えることによってすぐできます。mag-動詞、mang-動詞、m-動詞の場合は、不定形の最初の m- を p- に置き換え、これに maka- を添加すると簡単にできます。

uminom → maka- + inom → makainom

magluto → pagluto → maka- + pagluto → makapagluto

mangisda → pangisda → maka- + pangisda → makapangisda

manood → panood → maka- + panood → makapanood

I. maka-動詞の活用形

不定形 makainom makapagluto makapangisda makapanood

語根(幹) (inom) (pagluto) (pangisda) (panood)

完了相 nakainom nakapagluto nakapangisda nakapanood

継続相 nakakainom/ nakakapagluto / nakakapangisda / nakakapanood /

 nakaiinom nakapagluluto nakapangingisda nakapanonood

未然相 makakainom / makakapagluto / makakapangisda / makakapanood /

 makaiinom makapagluluto makapangingisda makapanonood

完了相・継続相は、接辞の maka- を naka- に変えますが、未然相はそのままです。

継続相・未然相においては重複が行われますが、重複の仕方が2通りあります。

接辞の一部の -ka- を重複する場合と、語根(あるいは語幹)の一部、具体的には第2音節の子音と母音を重複する場合があります。

II. 大半の maka-動詞は基底となる mag-動詞や -um-動詞から派生したものですが、一部は maka-動詞の形でしか存在しません。これらはよく使われますので覚えてしまいましょう。

makaramdam : Nakakaramdam ako ng gutom.

感じる 私は飢えを感じています。

makakita : Sino ang nakakita ng aksidente?

見る 誰が事故を見ましたか。
makalimot : Huwag tayong makalimot sa ating bayan.
忘れる 私たちの祖国を忘れないようにしましょう。
makaintindi : Nakakaintindi siya ng problema ko.
理解する 彼は私の問題を理解してくれます。
makaalam : Sino ang nakakaalam tungkol dito?
知る 誰がこのことについて知っていますか。
makatanda : Sino ang nakakatanda sa sinabi ko?
覚えておく 誰が私の言うことを覚えていますか。
makaranas : Gusto kong makaranas ng kaunting ginhawa.
経験する ちょっとばかりのぜいたくを経験したいです。
makaamoy : Nakakaamoy ako ng masarap na pagkain.
においがする おいしい食べ物のにおいがします。

(Step1) : 状況モードの maka-動詞

Nakakaramdam ako ng gutom. (私は飢えを感じています。)
Sino ang nakakita ng aksidente? (誰が事故を見ましたか。)
Huwag tayong makalimot sa ating bayan. (私たちの祖国を忘れないようにしましょう。)
Nakakaintindi siya ng problema ko. (彼は私の問題を理解してくれます。)
Sino ang nakakaalam tungkol dito? (誰がこのことについて知っていますか。)
Sino ang nakakatanda sa sinabi ko? (誰が私の言うことを覚えていますか。)
Gusto kong makaranas ng kaunting ginhawa. (ちょっとばかりのぜいたくを経験したいです。)
Nakakaamoy ako ng masarap na pagkain. (おいしい食べ物のにおいがします。)

Step2 : 参加モードの maki-動詞

参加モードの maki- 動詞は「～と…する」、「一緒に～する」という動作を表します。

中立モード	参加モード
uminom (飲む)	makiinom
magluto (料理する)	makipagluto
mangisda (漁をする)	makipangisda
manood (見る)	makipanood

Uminom ako ng tuba. ココヤシ酒を飲みました。
Nakiinom ako ng tuba kina Rico. 私はリコたちと一緒にココヤシ酒を飲みました。
Nanood ako ng “Mano po”. 私は『マノポ』(映画のタイトル)を見ました。
Nakipanood ako ng “Mano po” kina Celia. 私はセリアたちと一緒に『マノポ』を見ました。

Step2 : 参加モードの maki-動詞

-um-動詞の参加モードは語根をそのままにして -um- を maki- に置き換えることによってできます。mag-動詞、mang-動詞、m-動詞の場合は、不定形の最初の m- を p- に置き換え、これに maki- を添加すると簡単にできます。

uminom	→	maki-	+	inom	→	makiinom		
magluto	→	pagluto	→	maki-	+	pagluto	→	makipagluto
mangisda	→	pangisda	→	maki-	+	pangisda	→	makipangisda
manood	→	panood	→	maki-	+	panood	→	makipanood

I . maki-動詞の活用形

不定形	makiinom	makipagluto	makipangisda	makipanood
語根(幹)	(inom)	(pagluto)	(pangisda)	(panood)
完了相	nakiinom	nakipagluto	nakipangisda	nakipanood
継続相	nakikiinom / nakiiinom	nakikipagluto / nakipagluluto	nakikipangisda / nakipangingisda	nakikipanood / nakipanonood
未然相	makikiinom / makiinom	makikipagluto / makipagluluto	makikipangisda / makipangingisda	makikipanood / makipanonood

完了相・継続相は、接辞の **maki-** を **naki-** に変えますが、未然相はそのままです。
 継続相・未然相においては重複が行われますが、重複の仕方が2通りあります。
 接辞の一部の **-ki-** を重複する場合と、語根(あるいは語幹)の一部、具体的には第2音節の子音と母音を重複する場合があります。

II. 大半の **maki-**動詞は基底となる **mag-**動詞や **-um-**動詞から派生したのですが、一部は **maki-**動詞の形でしか存在しません。よく使われるものが多いので覚えてしまいましょう。

makiramay : **Nakiramay ako sa inyo.**

同情する ご愁傷様です。

makipagkaibigan : **Gusto kong makipagkaibigan kay Kris.**

友達になる 私はクリスと友達になりたいです。

makipagkapitbahay : **Nakipagkapitbahay kami sa Pilipinong mag-asawa.**

お隣さんになる 私たちはフィリピン人の夫妻とお隣さんになりました。

makipagkilala : **Nakipagkilala si Tomas sa magandang artista.**

知り合いになる トマスは美しい女優と知り合いになりました。

makipag-usap : **Makikipag-usap ako kay Edwin mamaya.**

話す 後でエドウィンと話します。

III. 一部の **maki-**動詞は、依頼表現としてはよく用いられます。

よく用いられるものを例文としてあげておきます。

Makikisingit nga ho ako. (人混みの中で)通してください。

Makikisakay nga ho ako. 車に乗せてください。

Makikisindi nga ho ako. タバコの火をください。

Makikitawag nga ho ako. 電話を使わせてください。

Makikisilong nga ho ako. 床下で雨宿りさせてください。

(Step2) : 参加モードの **maki-**動詞

Nakiramay ako sa inyo. (ご愁傷様です。)

Gusto kong makipagkaibigan kay Kris. (私はクリスと友達になりたいです。)

Nakipagkapitbahay kami sa Pilipinong mag-asawa.

(私たちはフィリピン人の夫妻とお隣さんになりました。)

Nakipagkilala si Tomas sa magandang artista.

(トマスは美しい女優と知り合いになりました。)

Makikipag-usap ako kay Edwin mamaya. (後でエドウィンと話します。)

Makikisingit nga ho ako. (「人混みの中で」通してください。)

Makikisakay nga ho ako. (車に乗せてください。)

Makikisindi nga ho ako. (タバコの火をください。)

Makikitawag nga ho ako. (電話を使わせてください。)

Makikisilong nga ho ako. (床下で雨宿りさせてください。)

Lesson14 : 行為者フォーカス動詞 ma-動詞と ma- -an 動詞について

この課では接辞の ma-を伴う ma-動詞と、ma-・・-an を伴う ma-・・-an 動詞を学習します。mag-動詞、-um-動詞、mang-動詞、m-動詞が動的な動作を表すのに対し、ma-動詞、ma-・・-an 動詞はほとんどが静的といえます。つまりアクションよりも感情や状態を表す動詞です。

Step1 : 行為者フォーカスの ma-動詞

ma-動詞には、行為者補語を主語にするものと、そうでないものがありますが、ここでは行為者(あるいは主体)が主語になるものだけ学習します。行為者フォーカスの ma-動詞は、ほんのわずかなもの(4つ)がアクションを表しますが、それ以外は人の感情や反応を表したり、不可避な出来事の結果陥る状態を表したりします。状態を表す ma-動詞は、生物が主語になる場合が多く、モードでいうと状況モードです。

Nahihiya ako sa iyo. 私はあなたに対して恥ずかしい。

Namatay na ang lola ko. 私の祖母は亡くなった。

Nasira ang bahay namin. 私たちの家は壊れた。

Nabulok ang pagkain namin. 私たちの食べ物は腐ってしまった。

Step1 : 行為者フォーカスの ma-動詞

I. ma-動詞の活用は次の通りです。

母音で始まる語根 子音で始まる語根

語根	awa	tulog
不定形	maawa 哀れむ	matulog 寝る
完了形	naawa	natulog
継続相	naaawa	natutulog
未然相	maaawa	matutulog

接辞の ma- は、完了・接続相では na- になります。また接続・未然相では語根の第1音節の最初の母音、あるいは最初の子音と母音が重複されます。

II. ma-動詞のおおまかな分類

1) 動的な行為を表します。ここに属するものは4つしかありません。これらの動詞はモードでいうと中立モードです。したがって、対応する状況モード、参加モードがあります。

matulog 寝る maupo 座る mauna 先に行く mahiga 横になる

Mauna ka sa akin. 先に行って。

Maupo ka ryan. そこに座りなさい。

2) 感情や反応を表します。状況モードの動詞です。

maawa 哀れむ magalit 怒る magulat 驚く matakot 怖がる

mahiya 恥じる malungkot 悲しむ、寂しく思う mainis いらいらする matuwa 喜ぶ

magutom おなかがすく mabusog 満腹になる

Huwag tayong matakot sa dilim. 暗闇を怖がらないようにしよう。

Huwag kayong mainis sa akin. 私にいらいらしないでください。

Nagagalit ako sa kanya. 私は彼に怒っています。

Huwag kang mahiya. 恥ずかしがらないで。

3) 不可避な出来事の結果、陥った不本意な状態を表します。モードは状況モードです。

主語は、不可避な出来事が原因で何らかの被害を受けるものです。

masira 壊れる mabulok 腐る mabasa ぬれる matuyo 乾く

matunaw 溶ける mabangga ぶつかる mabasag 割れる mabagsak 落ちて壊れる
maipit はさまれる mamatay 死ぬ maligaw (道に)迷う

Nabasag itong baso. このコップは割れた。
Nabasa ang sofa. ソファはぬれた。
Nasunog ang bahay namin. 私たちの家は焼けた。

(Step1) : 行為者フォーカスの ma-動詞

Mauna ka sa akin. (先に行って。)
Maupo ka riyan. (そこに座りなさい。)
Huwag tayong matakot sa dilim. (暗闇を怖がらないようにしよう。)
Huwag kayong mainis sa akin. (私にいらいらしないでください。)
Nagagalit ako sa kanya. (私は彼に怒っています。)
Huwag kang mahiya. (恥ずかしがらないで。)
Nabasag itong baso. (このコップは割れた。)
Nabasa ang sofa. (ソファはぬれた。)
Nasunog ang bahay namin. (私たちの家は焼けた。)

Step2 : 行為者フォーカスの ma- -an 動詞

ma- -an 動詞も、ma-動詞と同じように、行為者(あるいは主体)補語を主語にするものとそうでないものがありますが、ここでは行為者(主体)補語を主語にする ma- -an 動詞のみ学習します。アクションではなく、人の感情や反応を表したり、不可避な出来事の結果陥る状態を表したりしています。

Nasugatan ang bata sa paa. 子供は足をけがしました。
Nawalan kami ng pag-asa sa kinabukasan. 私たちの将来の希望が失せてしまいました。
Nababagalan ako sa rescue operation. 救助活動が遅いと思います。

Step2 : 行為者フォーカスの ma- -an 動詞

I. ma- -an 動詞の活用は次の通りです。

	母音で始まる語根	子音で始まる語根
語根	init	hirap
	(暑いと思う)	(苦勞する)
不定形	mainitan	mahirapan
完了相	nainitan	nahirapan
継続相	naiinitan	nahihirapan
未然相	maiinitan	mahihirapan

継続・未然相では、語根の第1音節の最初の母音、あるいは最初の子音と母音が重複しています。

II. ma- -an 動詞のおおまかな分類

1) 人間(時には動物)の感情や反応を表します。

このグループに属する ma- -an 動詞の語根は、形容詞の語根と共通です。

mahirapan : Nahihirapan kami sa pag-aaral ng Filipino.
苦勞する 私たちはフィリピン語の勉強に苦勞しています。
madalian : Nadadalian ako sa pag-aaral ng Ingles.
簡単だと思う 私は英語の勉強は簡単だと思います。
masarapan : Nasasarapan kami sa luto ni Aling Letty.
おいしいと思う 私たちはレッティおばさんの料理をおいしいと思います。

magandahan : Nagagandahan ako kay Lisa.
 美しいと感じる リサを美しいと感じます。
 mainitan : Setyembre na ngayon pero naiinitan pa ako.
 暑いと感じる もう9月ですがまだ暑いと感じます。
 malamigan : Hulyo na ngayon pero nalalamigan pa ako.
 寒いと感じる もう7月ですがまだ寒いと感じます。

2) 不可避な出来事や自然の成り行きの結果陥った状態を表します。主語は被害を受ける人で、具体的な被害は ng 形、具体的な被害を受ける場所は sa 句で表されています。

masaktan : Nasaktan ako sa sinabi mo.
 傷つく 私はあなたの言ったことに傷つきました。
 masugatan : Nasugatan ang bata sa paa.
 怪我をする 子供は足を怪我しました。
 masiraan : Nasiraan ako ng kotse kahapon.
 壊れる 私は昨日車が壊れてしまいました。
 mawalan : Nawalan ako ng pag-asa.
 失う 私は希望が失せてしまいました。
 masunugan : Nasunugan sila ng bahay.
 燃える 彼らは家が燃えてしまいました。
 mamatayan : Namatayan sila ng lolo.
 死なれる 彼らはおじいさんに死なれました。

(Step2) : 行為者フォーカスの ma- -an 動詞

Nahihirapan kami sa pag-aaral ng Filipino. (私たちはフィリピン語の勉強に苦労しています。)
 Nadadalian ako sa pag-aaral ng Ingles. (私は英語の勉強は簡単だと思います。)
 Nasasarapan kami sa luto ni Aling Letty. (私たちはレッチェおばさんの料理をおいしいと思う。)
 Nagagandahan ako kay Lisa. (リサを美しいと感じます。)
 Setyembre na ngayon pero naiinitan pa ako. (もう9月ですがまだ暑いと感じます。)
 Hulyo na ngayon pero nalalamigan pa ako. (もう7月ですがまだ寒いと感じます。)
 Nasaktan ako sa sinabi mo. (私はあなたの言ったことに傷つきました。)
 Nasugatan ang bata sa paa. (子供は足を怪我しました。)
 Nasiraan ako ng kotse kahapon. (私は昨日車が壊れてしまいました。)
 Nawalan ako ng pag-asa. (私は希望が失せてしまいました。)
 Nasunugan sila ng bahay. (彼らは家が燃えてしまいました。)
 Namatayan sila ng lolo. (彼らはおじいさんに死なれました。)

Lesson15 : 目的フォーカスの-in 動詞について

14 課までは行為者補語を主語にする動詞を学んできましたが、この課からは行為者補語以外の補語を主語とする動詞について学びます。これら行為者以外の補語を主語にする動詞をまとめて非行為者フォーカス動詞と呼ぶことにします。非行為者フォーカス動詞には-in 動詞、i-動詞、-an 動詞、pag- -an 動詞などがあります。共通していることは、これらの動詞が含まれた動詞文では、行為者が全て ng 句で表されるということです。最初に学ぶのは-in 動詞です。

Step1 : 目的フォーカス動詞の -in 動詞

語根の後に接辞の -in が添加されたものが -in 動詞で、-in 動詞は、ほんのひとにぎりを除いて、すべて目的補語を主語にする動詞です。目的補語とは日本語で「～を」に相当する名詞句で、今まで学んだ mag-動詞や -um-動詞が述語の位置にくる動詞文においては、ng 句や sa 句で表されていたものです。-in 動詞を使った動詞文では、それぞれの補語は以下のように表されます。

目的補語 : 「～を」 : ang 句
 行為者補語 : 「～は、～が」 : ng 句

方向補語 : 「～に、～へ」 : sa 句
 場所補語 : 「～で、～から」 : sa 句
 恩恵補語 : 「～のために」 : para sa 句

Kumain ako ng mangga. 私はマンゴーを食べました。
 行為者補語 目的補語

Kinain ko ang mangga. 私はマンゴーを食べました。
 行為者補語 目的補語

Step1 : 目的フォーカス動詞の -in 動詞

I. 接辞の添加に伴うアクセントや音の変化

-in 動詞は〈語根+in〉で形成されていますが、語根に -in を添加することによって、次のようなアクセントや音の変化がおきます。

(a) 規則的なアクセントの移動(1音節後ろにずれる)

kain + -in → kainin 食べる isip + -in → isipin 考える

(b) 母音で終わっている語根では h が現れる

sabi + -in → sabihin 言う basa + -in → basahin 読む

(c) 語根の最後の音節にある o は u に、 d は r に変わる

tanong + -in → tanungin 質問する bago + -in → baguhin 変える

(d) 一部語根の最後の音節にある母音の消失

gawa + -in → gawin する、作る dala + -in → dalhin 持って行く、持って来る

(e) 不規則に変化する

kuha + -in → kunin 手に入れる dinig + -in → dinggin 聞く

II. -in 動詞の活用

母音で始まる語根 l,r,w,y で始まる語根 l,r,w,y 以外の子音で始まる語根

語根	ibig	linis	dalaw
	愛す	掃除する	訪れる
不定相	ibigin	linisin	dalawin
完了相	inibig	nilinis/ lininis	dinalaw
継続相	iniibig	nililinis/ linilinis	dinadalaw
未然相	iibigin	lilininis	dadalawin

完了・継続相では、語根の語尾にあった -in が、そのままか、少し形を変え、語根の前や語根の第1音節の最初の子音と母音の間に移ります。継続・未然相では、語根の一部重複(第1音節の最初の母音、あるいは子音と母音)も行われます。l, r, w, y で始まる語根の場合、完了・継続相は2通りの活用の仕方があります。

III. -in 動詞のおおまかな分類

すでに学んだ mag-動詞や -um-動詞は、他動詞であったり自動詞であったりしましたが、-in 動詞は全て他動詞で、多くは、-um-動詞の中の他動詞と対応しています。もちろん mag-動詞と対応しているものもあります。また行為者が語根に組み込まれているため、-ng 句の行為者を伴わない「特別の -in 動詞」と呼ばれるものがあります。

1) -um- / -in のセットになるもの

kumuha / kunin 手に入れる gumawa / gawin する、作る
 kumain / kainin 食べる uminom / inumin 飲む
 bumasa / basahin 読む sumulat / sulatin 書く

gumamit / gamitin 使う dumalaw / dalawin 訪ねる
bumili / bilhin 買う humingi / hingin 請う

Dumalaw kayo sa amin sa Linggo. 私たちを日曜日に訪ねてきてください。
Dalawin ninyo kami sa Linggo.
Huwag kang bumasa ng sulat ko. 私の手紙を読まないで。
Huwag mong basahin ang sulat ko.
Bumili tayo ng mga gulay kina Aling Tina. 野菜をティナさんの所で買しましょう。
Bilhin natin ang mga gulay kina Aling Tina.

2) mag- / -in のセットになるもの

mag-ayos / ayusin 整える maghintay / hintayin 待つ
magdala / dalhin 持って行く (来る) magluto / lutuin 料理する
maglinis / linisin 掃除する mag-isip / isipin 考える

Maghintay ka sa akin. 私を待って。
Hintayin mo ako sa labas. (外で)
Magdala tayo nito sa kanila. これらを彼らの所に持って行きましょう。
Dalhin natin ito sa kanila.
Maglinis tayo ng kuwarto natin. 部屋を掃除しましょう。
Linisin natin ang kuwarto natin.

3) 特別な -in 動詞

このグループに属する -in 動詞は、ng 句の行為者を伴うことなしに用いられます。
したがって ang 句で表される主語は、被害を受ける生物や無生物が多いと言えます。

(a) 病気などにかかる場合

sipunin 風邪をひく hikain 喘息にかかる lagnatin 熱を出す
himatayin 気絶する tagiyawatin ニキビが出る malaryahin マラリアにかかる

Medyo nilalagnat ako. 私は少し熱があります。
Baka sipunin na naman ako. また風邪を引くかもしれません。

(b) 害虫やカビなどの被害を受ける場合

amagin カビにやられる kalawangin さびつく lamukin 蚊に刺される
langawin ハエにたかられる langgamín アリにたかられる anayin シロアリにやられる

Madaling amagin ang mga pagkain kung tag-ulan. 雨期は、食べ物はすぐカビにやられます。
Magdamag akong nilamok. 私は一晩中蚊に刺されました。

(c) その他

antukin 眠い ginawin 寒い sumpungin かんしゃくを起こす
tamarin だるい suwertehin 運が良い malasín 運が悪い

Inaantok pa ako at tinatamad. 私は眠いしだるいです。
Laging sinusumpong itong bata. この子はいつもかんしゃくを起こしています。
Sinuwerte kami sa iksam. 私たちは試験で運が良かったです。
Minamalas ako sa pag-ibig. 私は恋にはついていません。

(Step1) : 目的フォーカス動詞の -in 動詞

Dumalaw kayo sa amin sa Linggo. (私たちを日曜日に訪ねてきてください。)
 Dalawin ninyo kami sa Linggo. (私たちを日曜日に訪ねてきてください。)
 Huwag kang bumasa ng sulat ko. (私の手紙を読まないで。)
 Huwag mong basahin ang sulat ko. (私の手紙を読まないで。)
 Bumili tayo ng mga gulay kina Aling Tina. (野菜をティナさんの所で買しましょう。)
 Bilhin natin ang mga gulay kina Aling Tina. (野菜をティナさんの所で買しましょう。)
 Maghintay ka sa akin. (私を待って。)
 Hintayin mo ako sa labas. (外で私を待って。)
 Magdala tayo nito sa kanila. (これらを彼らの所に持って行きましょう。)
 Dalhin natin ito sa kanila. (これらを彼らの所に持って行きましょう。)
 Maglinis tayo ng kuwarto natin. (部屋を掃除しましょう。)
 Linisin natin ang kuwarto natin. (部屋を掃除しましょう。)
 Inaantok pa ako at tinatamad. (私は眠いしだるいです。)
 Laging sinusumpong itong bata. (この子はいつもかんしゃくを起こしています。)
 Sinuwerte kami sa iksam. (私たちは試験で運が良かったです。)
 Minamalas ako sa pag-ibig. (私は恋にはついていません。)

Step2 : 疑問代名詞と動詞の関係

疑問代名詞 sino「誰」、ano「何」で始まる文で、述語に動詞がくる文においては、動詞が行為者フォーカス動詞か目的フォーカス動詞かで、問われている対象が違ってきます。行為者フォーカス動詞の magmahal と目的フォーカス動詞の mahalín、行為者フォーカス動詞の kumagat と目的フォーカス動詞の kagatin を使った例文をみてみましょう。

Sino ang **nagmahal** sa iyo? 誰があなたを愛したのですか。
 Sino ang **minahal** mo? あなたは誰を愛したのですか。

Ano ang **kumagat** sa paa ng mesa? 何が机の脚をかんだのですか。
 Ano ang **kinagat** ng aso mo? あなたの犬は何をかんだのですか。

Step2 : 疑問代名詞と動詞の関係

疑問代名詞 sino「誰」と ano「何」を使った疑問文において、行為者を問う場合は以下のようになります。

1) 行為者が人間の場合 :

Sino + ang + 〈行為者フォーカス動詞〉 ?

Sino ang tumutugtog ng gitara? 誰がギターを弾いていますか。

Si Rudy ang tumutugtog ng gitara. ルーディがギターを弾いています。

Sino ang bibili ng gulay at isda? 誰が野菜と魚を買いますか。

Sina Tessie ang bibili ng gulay at isda. テッシーたちが野菜と魚を買います。

2) 行為者が人間以外の場合

Ano + ang + 〈行為者フォーカス動詞〉 ?

Ano ang lumilipad sa bukirin? 何が畑で飛んでいますか。

Paruparo ang lumilipad sa bukirin. チョウが畑で飛んでいます。

Ano ang lumubog sa dagat? 何が海に沈んだのですか。

Barko ang lumubog sa dagat. 船が海に沈みました。

また動作の対象となるもの(目的)が何であるかを問う場合は以下のようになります。

1) 目的物が物の場合

Ano + ang + 〈目的フォーカス動詞〉 + 〈ng 句の行為者〉 ?

Ano ang kinain ni Andoy? アンドイは何を食べたのですか。
Balot ang kinain ni Andoy. バロットをアンドイは食べました。
Ano ang hinahanap ninyo? 何をお探しですか。
Bakya ang hinahanap ko. 木のサンダルを探しています。

2) 目的物が人の場合

Sino + ang + 目的フォーカス動詞 + ng 句の行為者 ?

Sino ang hinihintay mo? 誰を待っているのですか。
Ikaw ang hinihintay ko. あなたを待っていたのです。
Sino ang tinawag ni Rosa? ローサは誰を呼んだのですか。
Ikaw ang tinawag niya. あなたを呼んだのです。

(Step2) : 疑問代名詞と動詞の関係

Sino ang tumutugtog ng gitara? (誰がギターを弾いていますか。)
Si Rudy ang tumutugtog ng gitara. (ルーディがギターを弾いています。)
Sino ang bibili ng gulay at isda? (誰が野菜と魚を買いますか。)
Sina Tessie ang bibili ng gulay at isda. (テッシーたちが野菜と魚を買います。)
Ano ang lumilipad sa bukirin? (何が畑で飛んでいますか。)
Paruparo ang lumilipad sa bukirin. (チョウが畑で飛んでいます。)
Ano ang lumubog sa dagat? (何が海に沈んだのですか。)
Barko ang lumubog sa dagat. (船が海に沈みました。)
Ano ang kinain ni Andoy? (アンドイは何を食べたのですか。)
Balot ang kinain ni Andoy. (バロットをアンドイは食べました。)
Ano ang hinahanap ninyo? (何をお探しですか。)
Bakya ang hinahanap ko. (木のサンダルを探しています。)
Sino ang hinihintay mo? (誰を待っているのですか。)
Ikaw ang hinihintay ko. (あなたを待っていたのです。)
Sino ang tinawag ni Rosa? (ローサは誰を呼んだのですか。)
Ikaw ang tinawag niya. (あなたを呼んだのです。)

Lesson16 : 目的・恩恵フォーカスの i-動詞について

接辞 i-を伴う i-動詞は、動詞文においては目的補語を主語にするか、恩恵補語を主語にするかのどちらかです。この課では目的フォーカス動詞の i-動詞と、恩恵フォーカス動詞の i-動詞をまとめて学びます。どちらも活用の仕方は同じですが、主語になるものが違いますから、間違えないようにしましょう。

Step1 : 目的フォーカス動詞の i-動詞

i-動詞のうち、どの i-動詞が目的フォーカス動詞であり、どの i-動詞が恩恵フォーカス動詞であるのかは、語根によって見きわめます。下の例文では、**iakyat** は目的フォーカス動詞、**ibili** は恩恵フォーカス動詞です。

Iakyat mo ang inumin sa itaas. 2階に飲み物を持って行って。

Ibili mo ako ng bag. 私にバッグを買って。

ここではまず目的フォーカス動詞の i-動詞を学びます。目的フォーカス動詞の -in 動詞の多くが -um-動詞と対応しているのに対し、目的フォーカス動詞の i-動詞のほとんどは mag-動詞と対応しています。目的フォーカス動詞の i-動詞を使った動詞文におけるさまざまな補語の表し方は、-in 動詞の場合と同じです。主語となる目的補語は **ang** 句で表され、行為者は **ng** 句で表されます。

Step1 : 目的フォーカス動詞の i-動詞

I. i-動詞の活用

	母音で始まる語根	h,l,r,w,y で始まる語根	左の子音以外で始まる語根
語根	alok	lagay	baba
不定形	ialok(申し出る)	ilagay(置く)	ibaba(降ろす)
完了相	inialok	inilagay	ibinaba
継続相	iniaalok	inilalagay	ibinababa
未然相	iaalok	ilalagay	ibababa

完了・継続相は、i- に加え、-in 動詞と同様に -ni- や -in- が、語根の前や語根の第1音節の最初の子音と母音の間に添えられます。なお、完了・継続相の i- はよく省略されます。継続・未然相では、語根の第1音節の母音、あるいは子音と母音が重複します。

II. よく使われる目的焦点動詞の i-動詞

目的補語を主語にする i-動詞のほとんどは、行為者補語を主語にする mag-動詞とセットになっています。

mag-akyat / iakyat	上げる	magbaba / ibaba	下げる
magbigay / ibigay	与える	maglagay / ilagay	置く
magpasok / ipasok	入れる	maglabas / ilabas	出す
maghanda / ihanda	用意する	magsuot / isuot	着る
magsara / isara	閉める	maghinto / ihinto	やめる
magkulong / ikulong	閉じ込める	magsakay / isakay	乗せる

Nagbigay si Lito ng rosas kay Maria. リトはマリアにバラをあげました。
行為者補語 目的補語 方向補語

Ibinigay ni Lito ang rosas kay Maria. リトはマリアにバラをあげました。
行為者補語 目的補語 方向補語

Naglagay sila ng ilaw sa labas. 彼らは明りを外に置きました。
行為者補語 目的補語 方向補語

Inilagay nila ang ilaw sa labas. 彼らは明りを外に置きました。
行為者補語 目的補語 方向補語

Maghahanda ako ng maraming ulam para sa hapunan.
行為者補語 目的補語 恩恵補語

私は夕飯のためにたくさんのおかずを用意します。

Ihahanda ko ang maraming ulam para sa hapunan.
行為者補語 目的補語 恩恵補語

私は夕飯のためにたくさんのおかずを用意しています。

(Step1) : 目的フォーカス動詞の i-動詞

Nagbigay si Lito ng rosas kay Maria. (リトはマリアにバラをあげました。)

Ibinigay ni Lito ang rosas kay Maria. (リトはマリアにバラをあげました。)

Naglagay sila ng ilaw sa labas. (彼らは明りを外に置きました。)

Inilagay nila ang ilaw sa labas. (彼らは明りを外に置きました。)

Maghahanda ako ng maraming ulam para sa hapunan.

(私は夕飯のためにたくさんのおかずを用意します。)

Ihahanda ko ang maraming ulam para sa hapunan.

(私は夕飯のためにたくさんのおかずを用意しています。)

Step2 : 恩恵フォーカスの i-動詞

恩恵補語とは今まで学んだ mag-動詞や -um-動詞が、述語の位置にくる動詞文においては、 para sa

句で表されていたものです。この para sa 句の部分の主語にする動詞が、恩恵フォーカス動詞です。i-動詞のかなりの部分がこれに相当します。恩恵フォーカス動詞を使った動詞文におけるさまざまな補語は、次のように表されます。

恩恵補語 「～のために」 : ang 句
行為者補語 「～は、～が」 : ng 句
方向補語 「～に、～へ」 : sa 句
場所補語 「～で、～から」 : sa 句

Bumili ako ng rosas para kay Maria. 私はマリアのためにバラを買いました。
行為者 目的 恩恵

Ibili ko si Maria ng rosas. 私はマリアのためにバラを買いました。
行為者 恩恵 目的

Step2 : 恩恵フォーカスの i-動詞

恩恵フォーカス動詞の i-動詞は、行為者フォーカス動詞の -um-動詞と対応しています。いくつか例を見てみましょう。

bumili / ibili 買う humingi / ihingi 請う gumawa / igawa する、作る
humanap / ihanap 探す kumuha / ikuha 手に入れる pumili / ipili 選ぶ

Gumawa ako ng saranggola para sa mga bata.

Iginawa ko ang mga bata ng saranggola. 私は子供たちのために凧（たこ）を作りました。

Kukuha ako ng gamot para kay Nene.

Ikukuha ko si Nene ng gamot. 私はネネのために薬を取ってきます。

Humingi tayo ng tulong para sa kanila.

Ihingi natin sila ng tulong. 彼らのために助けを請いましょう。

(Step2) : 恩恵フォーカスの i-動詞

Gumawa ako ng saranggola para sa mga bata. (私は子供たちのために凧「たこ」を作りました。)

Iginawa ko ang mga bata ng saranggola. (私は子供たちのために凧「たこ」を作りました。)

Kukuha ako ng gamot para kay Nene. (私はネネのために薬を取ってきます。)

Ikukuha ko si Nene ng gamot. (私はネネのために薬を取ってきます。)

Humingi tayo ng tulong para sa kanila. (彼らのために助けを請いましょう。)

Ihingi natin sila ng tulong. (彼らのために助けを請いましょう。)

Lesson17 : 目的・恩恵・方向・場所フォーカスの -an 動詞について

この課では -an 動詞を学びます。語根に接辞の -an が添加されたものが -an です。-an 動詞の多くは動詞文において方向補語や場所補語を主語にします。他にも目的補語、あと数は少ないのですが恩恵補語を主語にするものもあります。この課では、主に方向・場所補語を主語にする -an 動詞について学びます。

Step1 : 目的・恩恵フォーカス動詞の -an 動詞

-an 動詞は、目的フォーカス動詞の -an 動詞、方向・場所フォーカス動詞の -an 動詞、そして恩恵フォーカス動詞の -an 動詞に分かれます。どの語根に -an が添加されているかで見きわめます。

Hugasan natin ang sahig. 床を洗いましょう。

Kantahan natin ang mga bisita. 訪問客のために歌いましょう。

Bigyan natin sila ng bigas. 彼らに米をあげましょう。

Takasan natin sila. 彼らから逃げましょう。

hugasan は目的フォーカス動詞、**kantahan** は恩恵フォーカス動詞、**bigyan** は方向フォーカス動詞、**takasan** は場所フォーカス動詞です。ここではまず目的フォーカス動詞と恩恵フォーカス動詞の **-an** 動詞を学習します。

Step1 : 目的・恩恵フォーカス動詞の **-an** 動詞

I. 接辞 **-an** が語根に添加されると、**-in** 動詞と同じく次のようなアクセントや音の変化が起こります。

(a) 規則的なアクセントの移動(1音節後ろにずれる)

alágà + **-an** → alagáan 世話する、面倒見る

púnas + **-an** → punásan 拭く

(b) 母音で終わっている語根では **h** が現れる

asa + **-an** → asahan 期待する、頼る

basa + **-an** → basahan 読む

(c) 語根の最後の音節にある **o** は **u** に、**d** は **r** に変わる

turo + **-an** → turuan 教える

bayad + **-an** → bayaran お金を払う、払う

(d) 一部語根の最後の音節にある母音の消失

bigay + **-an** → bigyan 与える

lagay + **-an** → lagyan 置く、入れる

laba + **-an** → labhan 洗濯する

bukas + **-an** → buksan 開ける

masid + **-an** → masdan 観察する

takip + **-an** → takpan ふたをする

sunod + **-an** → sundan ついて行く / 来る

(e) 不規則に変化する

tanim + **-an** → tamnan 植える

pakinig + **-an** → pakinggan 聞く

II. **-an** 動詞の活用

母音で始まる語根 l, r, w, y で始まる語根 左の子音以外で始まる語根

語根	asa	lagay	subok
	期待する	置く	話す
不定形	asahan	lagyan	subukan
完了相	inasahan	nilagyan/ linagyan	sinubukan
継続相	inaasahan	nilalagyan/ linalagyan	sinusubukan
未然相	aasahan	lalagyan	susubukan

完了・継続相では、接辞 **-an** に加え、**ni-** や **-in-** が語根の前や、語根の第1音節の最初の子音と母音の間に添えられます。また、継続・未然相では、語根の一部重複(第1音節の最初の母音、あるいは子音と母音)があります。l, r, w, y で始まる語根の場合、完了・継続相の活用の仕方は2通りあります。

III. **-an** 動詞のうち、方向・場所フォーカス動詞のものは **Step 2** で詳しく学習しますので、ここで

は目的フォーカス動詞と恩恵フォーカス動詞の -an 動詞でよく用いられるものを見てみましょう。

1) 目的フォーカス動詞の -an 動詞

(a) mag- / -an のセットになっているもの

mag-alaga / alagaan 面倒を見る magpunas / punasan 拭く
magbayad / bayaran 支払う magsimula / simulan 始める
maglaba/ labhan 洗濯する magmasid/ masdan 観察する maghugas/ hugasan 洗う

Nag-aalaga si Jun ng mga baboy ni Mang Ambo.

Inaalagaan ni Jun ang mga baboy ni Mang Ambo. ジュンはアンボさんの豚を世話しています。

Naglalaba ang mga babae ng mga damit sa ilog.

Nilalabhan ng mga babae ang mga damit sa ilog. 女性たちは川で洋服を洗濯しています。

Nagmamasid sila ng mga isda.

Minamasdan nila ang mga isda. 彼らは魚を観察しています。

(b) -um / -an のセットになっているもの

humanga / hangaan 称賛する sumubok/ subkan 試みる
humawak / hawakan 握る、つかむ tumikim / tikman 味見する
umapak / apakan 踏む tumingin / tingnan 見る
umasa / asahan 期待する、頼る tumulong / tulungan 助ける

Kanino ka umaasa? 君は誰を頼りにしていますか。

Sino ang inaasahan mo?

Huwag kayong umapak ng mga halaman. 植物を踏まないでください。

Huwag ninyong apakan ang mga halaman.

Huwag kang tumingin sa ibang babae. 他の女性を見ないでください。

Huwag mong tingnan ang ibang babae.

(c) セットになる行為者フォーカス動詞をもたないもの

alatan 塩辛くする habaan 長くする、引き伸ばす asiman すっぱくする
iklian 短くする bilisan 早くする lakihan 大きくする bagalan のろくする
liitan 小さくする lakasan (声などを)大きくする hayaan 放っておく
hinaan (声などを)弱くする

Bilisan natin ang lakad natin. 歩みを速めましょう。

Habaan ninyo itong palda nang kaunti. このスカートを少しだけ長くしてください。

Huwag nating alatan ang ulam. おかずを塩辛くするのはやめましょう。

上記の動詞で hayaan 以外は、語根が ma-形容詞の語根と共通です。

(maalat 塩辛い mahaba 長い maasim 酸っぱい maikli 短い mabilis 早い malaki 大きい
mabagal ゆっくりした maliit 小さい malakas 強い mahina 弱い)

2) 恩恵フォーカス動詞の -an 動詞

bumasa / basahan 読む bumalik / balikan 戻る kumanta / kantahan 歌う

Kakanta si Eddie ng harana para sa iyo.

Kakantahan ka ni Eddie ng harana. エディーは君のためにセレナーデを歌います。

Bumabasa ako ng dyaryo para sa lola ko.

Binabasahan ko ang lola ko ng dyaryo. 私は祖母のために新聞を読んでいます。

(Step1) : 目的・恩恵フォーカス動詞の -an 動詞

Nag-aalaga si Jun ng mga baboy ni Mang Ambo. (ジュンはアンボさんの豚を世話しています。)

Inaalagaan ni Jun ang mga baboy ni Mang Ambo. (ジュンはアンボさんの豚を世話しています。)

Naglalaba ang mga babae ng mga damit sa ilog. (女性たちは川で洋服を洗濯しています。)

Nilalabhan ng mga babae ang mga damit sa ilog. (女性たちは川で洋服を洗濯しています。)

Nagmamasid sila ng mga isda. (彼らは魚を観察しています。)

Minamasdan nila ang mga isda. (彼らは魚を観察しています。)

Kanino ka umaasa? (君は誰を頼りにしていますか。)

Sino ang inaasahan mo? (君は誰を頼りにしていますか。)

Huwag kayong umapak ng mga halaman. (植物を踏まないでください。)

Huwag ninyong apakan ang mga halaman. (植物を踏まないでください。)

Huwag kang tumingin sa ibang babae. (他の女性を見ないでください。)

Huwag mong tingnan ang ibang babae. (他の女性を見ないでください。)

Bilisan natin ang lakad natin. (歩みを速めましょう。)

Habaan ninyo itong palda nang kaunti. (このスカートを少しだけ長くしてください。)

Huwag nating alatan ang ulam. (おかずを塩辛くするのはやめましょう。)

Kakanta si Eddie ng harana para sa iyo. (エディーは君のためにセレナーデを歌います。)

Kakantahan ka ni Eddie ng harana. (エディーは君のためにセレナーデを歌います。)

Bumabasa ako ng dyaryo para sa lola ko. (私は祖母のために新聞を読んでいます。)

Binabasahan ko ang lola ko ng dyaryo. (私は祖母のために新聞を読んでいます。)

Step2 : 方向・場所フォーカス動詞の -an 動詞

ここでは、方向・場所補語を主語とする動詞を学習します。方向補語とは、その動詞が表すところの行為が向けられる人・物・場所(～に、～へ)をさし、場所補語とは、その行為のなされる場所(～で、～から)を表します。方向・場所補語が主語になる動詞文において、各々の補語は以下のように表されます。

方向・場所補語(～に/～へ・～で/～から) : ang 句

行為者補語(～は/～が) : ng 句

目的補語(～を) : ng 句、sa 句

恩恵補語(～のために) : para sa 句

Pinupuntahan ng mga tao ang simbahan. 人々は教会に行っています。

行為者補語 方向補語

Binigyan ni Jose si Carmen ng rosas. ホセはカルメンにバラをあげました。

行為者補語 方向補語 目的補語

Tinakasan ng mga bilanggo ang bilangguan. 囚人たちは刑務所から脱走した。

行為者補語 場所補語

Step2 : 方向・場所フォーカス動詞の -an 動詞

方向・場所フォーカス動詞の -an 動詞が具体的にどのように用いられるのか、セットになる行為者フォーカス動詞や目的フォーカス動詞と比べながら見てみましょう。

I. 方向フォーカス動詞の -an 動詞は、以下のように大別されます。

1) 他動詞であれば行為者フォーカス動詞の mag-動詞、加えて目的フォーカス動詞の i-動詞あるいは in-動詞と対応しています。

mag-abot Mag-abot ka ng mga kendi sa mga bata.

iabot Iabot mo ang mga kendi sa mga bata.
abutan Abutan mo ng mga kendi ang mga bata. 子供たちに飴（あめ）を渡して。

これら3つの文は全て、「子供たちに飴を渡しなさい。」という意味です。最初の文は行為者フォーカス動詞の mag-abot が使われているので、行為者の ka が主語になります。2番目の文では目的フォーカス動詞の iabot が使われているので、kendi が主語になります。3番目の文は方向フォーカス動詞の abutan が使われているので、行為を向けられている人、つまり mga bata が主語になります。

magbigay Nagbigay siya ng hikaw na perlas sa akin.
ibigay Ibinigay niya sa akin ang hikaw na perlas.
bigyan Binigyan niya ako ng hikaw na perlas. 彼は真珠のイヤリングを私にくれました。

magdala Magdala kayo ng tubig sa akin.
dalhin Dalhin ninyo ang tubig sa akin.
dalhan Dalhan ninyo ako ng tubig. 私に水を持って来て。

magsabi Nagsabi siya sa aking aalis siya rito.
sabihin Sinabi niya sa aking aalis siya rito.
sabihan Sinabihan niya akong aalis siya rito. 彼は私にここから去ると言いました。

2) 自動詞であれば -um-動詞の中の自動詞と対応しています。最も数が多いと言えます。

sumama Sumama ka nga sa akin sa party.
samahan Samahan mo nga ako sa party. 私についてパーティに来て。

kumaway Kumaway sa mga sambayanan si Pangulong Ramos.
kawayan Kinawayan ni Pangulong Ramos ang sambayanan. ラモス大統領は国民に手を振りました。

ngumiti Ngumingiti ang baby sa iyo.
ngitian Ngingintian ka ng baby. 赤ちゃんが君にほほえんでいます。

lumapit Lumapit siya sa mga may kapangyarihan.
lapitan Nilapitan niya ang mga may kapangyarihan. 彼女は権力者に近づきました。

umuwi Uuwi ang mga mag-anak sa Pilipinas.
uwian Uuwian ng mga mag-anak ang Pilipinas. 一家はフィリピンに帰ります。

II. 場所フォーカス動詞の -an 動詞は以下のように大別されます。

1) 他動詞であれば、行為者フォーカス動詞の mag-動詞か -um-動詞、目的フォーカス動詞の -in 動詞と対応しています。

mag-alis Nag-alis si Eva ng laman sa kabinet.
alisin Inalis ni Eva ang laman sa kabinet.
alisan Inalisan ni Eva ng laman ang kabinet. エバはキャビネットから中味を取り除きました。

magbawas Magbawas kayo ng isang libo sa utang ko.
bawasin Bawasin ninyo ang isang libo sa utang ko.
bawasan Bawasan ninyo ng isang libo ang utang ko. 私の借金から 1000 ペソ減らしてください。

humiram Humiram ako ng libro sa laybrari.

hiramin Hiniram ko ang libro sa laybrari.
hiraman Hiniraman ko ng libro ang laybrari. 私は図書館から本を借りました。

bumili Bumili tayo ng mga gulay sa kanya.
bilhin Bilhin natin ang mga gulay sa kanya.
bilhan Bilhan natin siya ng mga gulay. 彼女から野菜を買いましょう。

umutang Umutang ka kay Mang Pedro ng pammatrikula.
utangin Utangin mo kay Mang Pedro ang pammatrikula.
utangang Utangan mo si Mang Pedro ng pammatrikula. ペドロさんから授業料を借金して。

(b).自動詞であれば、-um-動詞の中の自動詞と対応しています。

tumakas Tumakas ang mga bilanggo sa bilangguan.
takasan Tinakasan ng mga bilanggo ang bilangguan. 囚人たちは刑務所から脱走しました。

lumabas Lumabas ang tagiyawat sa mukha ko.
labasan Nilabasan ako ng tagiyawat sa mukha. 私は顔にニキビが出ました。

tumakbo Tumakbo kami mula sa mga pulis.
takbuhan Tinakbuhan namin ang mga pulis. 私たちは警察から駆けて逃げました。

(Step2) : 方向・場所フォーカス動詞の-an 動詞

Mag-abot ka ng mga kendi sa mga bata. (子供たちに飴「あめ」を渡して。)
Ilabot mo ang mga kendi sa mga bata. (子供たちに飴「あめ」を渡して。)
Abutan mo ng mga kendi ang mga bata. (子供たちに飴「あめ」を渡して。)
Nagbigay siya ng hikaw na perlas sa akin. (彼は真珠のイヤリングを私にくれました。)
Ibinigay niya sa akin ang hikaw na perlas. (彼は真珠のイヤリングを私にくれました。)
Binigyan niya ako ng hikaw na perlas. (彼は真珠のイヤリングを私にくれました。)
Sumama ka nga sa akin sa party. (私についてパーティに来て。)
Samahan mo nga ako sa party. (私についてパーティに来て。)
Nag-alis si Eva ng laman sa kabinet. (エバはキャビネットから中味を取り除きました。)
Inalis ni Eva ang laman sa kabinet. (エバはキャビネットから中味を取り除きました。)
Inalisan ni Eva ng laman ang kabinet. (エバはキャビネットから中味を取り除きました。)
Tumakas ang mga bilanggo sa bilangguan. (囚人たちは刑務所から脱走しました。)
Tinakasan ng mga bilanggo ang bilangguan. (囚人たちは刑務所から脱走しました。)

Lesson18 : 恩恵フォーカスの ipag-動詞、方向・場所・話題フォーカスの pag- -an 動詞について
15 課から学んできた非行為者フォーカス動詞の中でも、-in 動詞、i-動詞、-an 動詞はメジャーな動詞と言えます。この課ではマイナーですが、知っておく必要のある ipag-動詞、pag- -an 動詞を学びます。

Step1 : 恩恵フォーカス動詞の ipag-動詞

ipag-動詞はほんの一部を除いて、mag-動詞と対応する恩恵フォーカス動詞です。
16 課の Step 2 で学んだ i-動詞も恩恵フォーカス動詞ですが、この i-動詞と対応する行為者フォーカス動詞は -um-動詞です。

Gagawa kami ng parol para sa mga bata.
Igagawa namin ang mga bata ng parol. 私たちは子供たちのためにパロールを作ります。
Magluluto si Nene ng suman para sa mga bata.
Ipagluluto ni Nene ang mga bata ng suman. ネネは子供たちのためにスーマンを作ります。

Step1 : 恩恵フォーカス動詞の ipag-動詞

ここでもう一度、恩恵フォーカス動詞についてまとめてみましょう。

基底となる行為者フォーカス動詞が -um-動詞の場合は、恩恵フォーカス動詞は i-動詞(ただし一部は -an 動詞になる)、mag-動詞の場合は ipag-動詞になります。ipag-動詞の活用は以下のようになります。なお、完了・継続相の i は省略されることがあります。

語根	luto
不定相	ipagluto 料理する
完了相	ipinagluto
継続相	ipinapagluto/ ipinagluluto
未然相	ipapagluto/ ipagluluto

Pumili siya ng matamis na pakwan para sa akin. 彼は私のために甘いスイカを選びました。

Ipinili niya ako ng matamis na pakwan.

Bumalik ka para sa akin. 私のために戻って来て。

Balikan mo ako.

Maghiwa kayo ng keyk para sa akin. 私のためにケーキを切って。

Ipaghiwa ninyo ako ng keyk.

Magbabalot si Telma ng pansit para sa kanila. テルマは彼らのためにパンシットを包みます。

Ipagbabalot sila ni Telma ng pansit. パンシット(ビーフン、焼きそば)

なお、数は少ないのですが、ipag-動詞の中には目的フォーカス動詞もあるので注意しましょう。

Ipagdiriwang nina Elsa ang kanyang kaarawan. エルサたちは彼女の誕生日を祝います。

Ipinagmamalaki nila ang kanilang kayamanan. 彼らは彼らの富を誇っています。

(Step1) : 恩恵フォーカス動詞の ipag-動詞

Pumili siya ng matamis na pakwan para sa akin. (彼は私のために甘いスイカを選びました。)

Ipinili niya ako ng matamis na pakwan. (彼は私のために甘いスイカを選びました。)

Ipagdiriwang nina Elsa ang kanyang kaarawan. (エルサたちは彼女の誕生日を祝います。)

Ipinagmamalaki nila ang kanilang kayamanan. (彼らは彼らの富を誇っています。)

Step2 : 方向・場所フォーカス動詞の pag- -an 動詞

pag- -an 動詞は、方向フォーカス動詞の pag- -an 動詞、そして話題フォーカス動詞の pag- -an 動詞に分かれます。

Dapat paglingkuran ng mga civil servant ang sambayanan. 公務員は国民に奉仕すべきです。

Pinagtatrabahuhan ko itong pabrika. 私はこの工場で働いています。

Pinag-uusapan nila ang anting-anting. 彼らはお守りについて話しています。

paglingkuran は方向フォーカス動詞、pagtrabahuhan は場所フォーカス動詞、pag-usapan は話題フォーカス動詞です。ここではまず方向・場所フォーカス動詞の pag- -an を学習します。

Step2 : 方向・場所フォーカス動詞の pag- -an 動詞

I. pag- -an 動詞の活用は次のようになります。

語根	trabaho
不定形	pagtrabahuhan 働く
完了相	pinagtrabahuhan
継続相	pinapagtrabahuhan/ pinagtatrabahuhan
未然相	papagtrabahuhan/ pagtatrabahuhan

II. pag- -an 動詞のうち、話題フォーカス動詞のものは Step 3 で詳しく学習しますので、ここでは方向フォーカス動詞と場所フォーカス動詞の pag- -an 動詞を学びます。

1) 方向フォーカス動詞の pag- -an 動詞

pag- -an 動詞は自動詞であれば行為者フォーカス動詞の mag-動詞と対応しています。また pag- -an 動詞が他動詞であれば、mag-動詞に加え、目的フォーカス動詞の ipag-動詞とも対応しています。

maglambing Naglambing si Nora sa asawa niya. ノラは夫に甘えました。
paglambingan Pinaglambingan ni Nora ang asawa niya.

maghiganti Maghihiganti daw si Nony sa mga pumatay sa tatay niya.
paghigantihan Paghigantihan daw ni Nony ang mga pumatay sa tatay niya.
ノニーはお父さんを殺した人々に復讐するそうです。

magkatiwala Nagkatiwala ang nanay ng mga anak niya sa katulong nilang matanda.
ipagkatiwala Ipinagkatiwala ng nanay ang mga anak niya sa katulong nilang matanda.
pagkatiwalaan Pinagkatiwalaan ng nanay ng mga anak niya ang katulong nilang matanda.
お母さんは子供たちを年老いたお手伝いさんに任せました。

maglingkod Naglilingkod ang mga doktor sa mga maysakit sa baryo namin.
paglingkuran Pinaglilingkuran ng mga doctor ang mga maysakit sa baryo namin.
医師は私たちの村の病気の人々に奉仕しています。

2) 場所フォーカス動詞の pag- -an 動詞

mag-動詞と対応しているものがほとんどです。また、基本文 1 よりも基本文 2 や基本文 3 でよく用いられます。

magtrabaho / pagtrabahuan 働く magtago / pagtaguan 隠れる
magturo / pagturuan 教える matulog / pagtulugan 寝る

Ito ang pinagtuturuan ni Emily. ここでエミリーは教えています。
Banyo ang pinagtataguan ng mga bata. 子供たちは風呂場に隠れます。
Banig ang pinagtutulugan ko sa probinsya. 田舎では花ゴザで寝ます。

(Step2) : 方向・場所フォーカス動詞の pag- -an 動詞

Naglambing si Nora sa asawa niya. (ノラは夫に甘えました。)
Pinaglambingan ni Nora ang asawa niya. (ノラは夫に甘えました。)
Ito ang pinagtuturuan ni Emily. (ここでエミリーは教えています。)
Banyo ang pinagtataguan ng mga bata. (子供たちは風呂場に隠れます。)
Banig ang pinagtutulugan ko sa probinsya. (田舎では花ゴザで寝ます。)

Step3 話題フォーカス動詞の pag- -an 動詞

話題フォーカス動詞とは、動詞文において話題補語を主語にするものです。話題補語とは、話題「～について」を表す名詞句であり、主語にならないときは tungkol sa 句で表されるものです。
Nag-uusap ang mga tao tungkol sa nakaraang kalamidad. 人々はこの前の災害について話しています。
Nagtatalo sina Annie tungkol sa pag-ibig. アニーたちは愛について論議しています。

Step3 話題フォーカス動詞の pag- -an 動詞

話題フォーカス動詞の pag- -an 動詞は、行為者フォーカス動詞の中でも「お互いに～する」の意を表す mag-動詞と対応しています。よく使われるものをあげておきます。

mag-usap / pag-usapan 話し合う
magtalo / pagtatalunan, pagtataluhan 論議し合う
mag-away / pag-awayan 喧嘩し合う
magsundo / pagkasunduan 合意に達する
magkuwentuhan / pagkuwentuhan 語り合う
magtsismis / pagtsisisan ゴシップを語り合う

なお上記の pag- -an 動詞は、ano「何」で始まる疑問文、またはその答えの文によく用いられます。

Ano ang pinag-uusapan ng mga tao? 人々は何について話し合っているのですか。
Ang nakaraang kalamidad ang pinag-uusapan nila. 彼らはこの前の災害について話し合っています。

Ano ang pinagtatalunan nina Annie? アニーたちは何について論議し合っているのですか。
Pag-ibig ang pinagtatalunan nila. 彼女たちは愛について論議しています。

Ano ang pinag-aawayan ng mga bata? 子供たちは何について喧嘩しているのですか。
Mga laruan ang pinag-aawayan nila. 彼らはおもちゃについて喧嘩しています。

(Step3) 話題フォーカス動詞の pag- -an 動詞

Ano ang pinag-uusapan ng mga tao? (人々は何について話し合っているのですか。)

Ang nakaraang kalamidad ang pinag-uusapan nila.

(彼らはこの前の災害について話し合っています。)

Ano ang pinagtatalunan nina Annie? (アニーたちは何について論議し合っているのですか。)

Pag-ibig ang pinagtatalunan nila. (彼女たちは愛について論議しています。)

Lesson19 : 道具フォーカスの ipang-動詞、方向フォーカスの ka- -an 動詞、理由フォーカスの ika-動詞について

この課で学ぶ動詞も minor な非行為者フォーカス動詞です。ipang-動詞は道具フォーカス動詞、ika-動詞は理由フォーカス動詞です。ka- -an 動詞は ma-動詞や ika-動詞と密接な関係にある方向フォーカス動詞です。

Step1 : 道具フォーカス動詞の ipang-動詞

道具フォーカス動詞とは、動詞文において道具を主語にする動詞です。道具補語とは手段「～を使って、～で」を表す名詞句であり、主語にならないときは〈sa pamamagitan ng + 名詞〉、または〈ng + 名詞〉で表されるものです。

Pinutol niya ang mga sanga sa pamamagitan ng itak. 彼は山刀で枝を切り取りました。

Tinabas ng tatay ang mga damo sa pamamagitan ng karit. お父さん鎌(かま)で芝を刈りました。

この道具補語が主語になると、動詞は ipang-動詞が用いられます。

Ipinamputol niya **ang itak** ng mga sanga. 彼は枝を山刀で切り取りました。

Ipinantabas ng tatay **ang karit** ng mga damo. お父さんは鎌で草を刈りました。

Step1 : 道具フォーカス動詞の ipang-動詞

I. ipang-動詞は、〈ipang- + 語根〉で形成されていますが、〈i- + pang-名詞〉で形成されているととらえるとわかりやすいでしょう。pang-名詞とは「～のためのもの」を意味し、〈pang-+語根〉で形成されています。なお、pang- の -ng は、後ろにくる語根の最初の音に同化されるので、-m になったり、-n になったりもします。また、pang- が添加されると、語根の最初の音が消失する場合もあります。

語根	pang-名詞	ipang-動詞	意味
putol	pamputol	ipamputol	切り取る
bayad	pambayad	ipambayad	支払う
dikit	pandikit	ipandikit	貼る
linis	panlinis	ipanlinis	掃除する
sulat	pansulat/ panulat	ipansulat/ ipanulat	書く
hiwa	panghiwa	ipanghiwa	薄く切る
kayod	pangkayod	ipangkayod	(果物等を)削り取る

Pambayad ng utang namin ang palay. 米は私たちの借金を返すためのものです。
 Ipinambabayad namin ng utang namin ang palay. 私たちは米で借金を払っています。
 Panlinis ng banyo itong walis tingting. このハウキはシャワー室を掃除するためのものです。
 Ipanlinis mo nga ng banyo itong walis tingting. このハウキでシャワー室を掃除して。

Pangkayod ng niyog ang kudkuran. クッド克蘭はココヤシ(の果肉)を削るためのものです。
 Ipinangkakayod namin ng niyog ang kudkuran.
 私たちはクッド克蘭でココヤシ(の果肉)を削っています。

II. ipang-動詞の活用

語根	putol	linis
語幹	pamputol	panlinis
不定形	ipamputol	ipanlinis
	切り取る	掃除する
完了相	ipinamputol	ipinanlinis
継続相	ipinapamputol / ipinampuputol	ipinapanlinis / ipinanlilinis
未然相	ipapamputol / ipampuputol	ipapanlinis / ipanlilinis

(Step1) : 道具フォーカス動詞の ipang-動詞

Panlinis ng banyo itong walis tingting. (このハウキはシャワー室を掃除するためのものです。)
 Ipanlinis mo nga ng banyo itong walis tingting. (このハウキでシャワー室を掃除して。)
 Pangkayod ng niyog ang kudkuran.

(クッド克蘭はココヤシ「の果肉」を削るためのものです。)

Ipinangkakayod namin ng niyog ang kudkuran.

(私たちはクッド克蘭でココヤシ「の果肉」を削っています。)

Step2 : 方向フォーカス動詞の ka- -an 動詞

感情や不本意な状態を表す ma-動詞が述語の位置にくる動詞文は、ang 句で表される行為者補語のほかに sa 句で表される方向補語や dahil sa 句で表される理由補語を伴うのが一般的です。この dahil sa 句で表される理由補語を主語にするときは、ika-動詞が用いられますが、sa 句で表わされる方向補語を主語にするときは ka- -an 動詞が用いられます。ここではこの ka- -an 動詞について学習します。

Naaawa ako sa mga batang lansangan.

Kinaawaan ko ang mga batang lansangan. 私はストリート・チルドレンに哀れみを感じます。

Natutuwa ang mga bata sa computer game.

Kinatutuwaan ng mga bata ang computer game. 子供たちはコンピューター・ゲームに喜んでいます。

Step2 : 方向フォーカス動詞の ka- -an 動詞

I . ka- -an 動詞の活用

語根	awa	takot
不定形	kaawaan	katakutan
	哀れむ	恐れる
完了相	kinaawaan	kinatakutan
継続相	kinakaawaan/ kinaawaan	kinakatakutan/ kinatakutan
未然相	kakaawaan/ kaaawaan	kakatakutan/ katatakutan

II . ma-動詞の中で、対応する ka- -an 動詞と ika-動詞の両方を待ち合わせるものを、いくつか記しておきますので、1つのセットとして覚えておきましょう。

maawa / kaawaan / ikaawa 哀れむ
mainis / kainisan / ikainis いらいらする
mainip / kainipan / ikainip 退屈する
matakot / katakutan / ikatakot 怖がる
matuwa / katuwaan / ikatuwa 喜ぶ
magalak / kagalakan / ikagalak 喜ぶ
magalit / kagalitan / ikagalit 怒る
magulat / kagulatan / ikagulat 驚く

ka- -an 動詞を用いた例文

Mga preskong lalaki ang kinaiinisan ng mga dalaga. エッチな男性たちに乙女はいらつきます。

(Step2) : 方向フォーカス動詞の ka- -an 動詞

Mga preskong lalaki ang kinaiinisan ng mga dalaga. (エッチな男性たちに乙女はいらつきます。)

Step3 理由フォーカス動詞の ika-動詞

理由フォーカス動詞とは、動詞文において理由補語を主語にするものです。理由補語とは理由(～が原因で)を表す名詞句であり、主語にならないときは dahil sa 句で表されるものです。

Namatay ang lolo namin dahil sa tibi. おじいさんは結核が原因で死にました。

Nahilo si Carlo dahil sa mabahong amoy. カルロは悪臭が原因でめまいがしました。

Natutuwa ako dahil sa pasko na. もうすぐクリスマスなので私はうれしいです。

この理由補語が主語になると、動詞は ika-動詞が用いられます。

Ikinamatay ng lolo namin ang tibi. おじいさんは結核が原因で死にました。

Ikinahilo ni Carlo ang mabahong amoy. カルロは悪臭が原因でめまいがしました。

Ikinatutuwa ko ang pasko. もうすぐクリスマスなので私はうれしいです

Step3 理由フォーカス動詞の ika-動詞

I . ika-動詞は〈ika- + 語根〉で形成されており、対応する行為者フォーカス動詞は感情や不本意な状況を表す ma-動詞です。この ma-動詞については14課で学びました。

mamatay / ikamatay 死ぬ matakot / ikatakot 怖がる
mabuhay / ikabuhay 生きる、生活する mahiya / ikahiya 恥じる
mahilo / ikahilo めまいがする matuwa / ikatuwa 喜ぶ

mainis / ikainis いらいらする magalak / ikagalak 喜ぶ
mainip / ikainip 退屈する malungkot / ikalungkot 悲しむ

ika-動詞を用いた例文をいくつかあげておきますが、ika-動詞は基本文1よりも基本文3の動詞文で用いられることのほうが多いと言えます。

Ikinagagalik ko kayong makilala. あなたと知り合えてうれしく思います。
Ano ang ikinamatay ng lolo ninyo? 何が原因で君たちのおじいさんは亡くなったのですか。
Tibi ang ikinamatay ng lolo namin. 結核が原因で死にました。
Ano ang ikinatutuwa mo? 君は何で喜んでいるのですか。
Pasko ang ikinatutuwa ko. クリスマスで喜んでいるのです。
Ano ang ikinabubuhay nina Mang Karding? カルディンさんたちは何で生活しているのですか。
Pangingisda ang ikinabubuhay nila. 彼らは漁で生活しています。

II. ika-動詞の活用

語根 buhay
不定形 ikabuhay 生きる、生活する
完了相 ikinabuhay
継続相 ikinabubuhay / ikinakabuhay
未然相 ikabubuhay / ikakabuhay

(Step3)理由フォーカス動詞の ika-動詞

Ikinagagalik ko kayong makilala. (あなたと知り合えてうれしく思います。)
Ano ang ikinamatay ng lolo ninyo? (何が原因で君たちのおじいさんは亡くなったのですか。)
Tibi ang ikinamatay ng lolo namin. (結核が原因で死にました。)
Ano ang ikinatutuwa mo? (君は何で喜んでいるのですか。)
Pasko ang ikinatutuwa ko. (クリスマスで喜んでいるのです。)

Lesson20 : 非行為者フォーカス動詞の状況モード、近完了について

行為者フォーカス動詞のモードによる違い(中立モード、状況モード、参加モード)については、13課で学びましたが、この課では非行為者フォーカス動詞のモードによる違いを学習します。加えて、「～したばかり」という近完了表現についても学びます。

Step1 : 非行為者フォーカス動詞の状況モード

行為者フォーカスで状況モードの動詞は、「～できる」、「たまたま～する」、「不本意に～する」、「～したことがある」の意味あいでも用いられますが、非行為者フォーカスで状況モードの動詞には「～したことがある」の意味あいはありません。「～できる」、「たまたま～する」、「不本意に～する」のうち、どの意味が適切なのかは、文の前後から判断します。いくつか例文を見てみましょう。
()内は不定形です。

Kakainin (kainin) mo ba ito? あなたはこれを食べますか。
Makakain (makain) mo ba ito? あなたはこれを食べられますか。

Inihanda (ihanda) niya ang pagkain. 彼は食べ物を用意しました。
Naihanda (maianda) niya ang pagkain. 彼は食べ物を用意することができました。

Tutulungan (tulangan) mo ba ako? 私を助けてくれますか。
Matutulungan (matulungan) mo ba ako? 私を助けてくれることができますか。

Step1 : 非行為者フォーカス動詞の状況モード

I. 今まで学習してきた -in 動詞、i-動詞、-an 動詞、pag- -an 動詞、ipag-動詞、ipang-動詞の状

況モードは以下のようになります。-in 動詞の -in は接辞の ma- が添加されると消失しますが、それ以外の接辞は ma- が添加されても消失しません。なお、ika-動詞と ka- -an 動詞には状況モードはありません。

中立モード 状況モード

-in	ma-
i-	mai-
-an	ma- -an
pag- -an	mapag- -an
ipag-	maipag-
ipang-	maipang-

モードの違いを表した例文をもう少し見てみましょう。

Pinatay (patayin) ng sundalo ang kaaway. 兵士は敵を殺しました。
Napatay (mapatay) ng sundalo ang kaaway. 兵士はたまたま敵を殺してしまいました。

Pinag-usapan (pag-usapan) namin iyan. 我々はそのことについて話し合いました。
Napag-usapan (mapag-usapan) namin iyan. 我々はそのことについて話し合うことができました。

Baka ipagluto ka niya. 彼女があなたのために料理するでしょう。
Baka maipagluto ka niya. 彼女があなたのために料理することができるでしょう。

Ipambibili (ipambili) nila ito ng bigas. 彼らはこれを使って米を買います。
Maipambibili (maipambili) nila ito ng bigas.
彼らはこれを使ってお米を買うことができます。

上記の表で -in 動詞と -an 動詞が状況モードにおいて、それぞれ ma-動詞、 ma- -an 動詞となることに注意しましょう。1 4 課で学んだ行為者フォーカスの ma-動詞、 ma- -an 動詞と区別できるようにしましょう。

Nasira ang makina. 機械は壊れました。
Nasira niya ang makina. 彼は不本意にも機械を壊してしまいました。

Nasunog ang bibingka. ビビンカが焦げてしまいました。
Nasunog ko ang bibingka. 私はビビンカを焦がしてしまいました。

Nasaktan si Jun. ジュンは傷つきました。
Nasaktan ni Jun ang kasama niya. ジュンは不本意にも仲間を傷つけてしまいました。

II. 1 3 課で学んだ行為者フォーカスの状況モードである maka-動詞の中には mag-動詞や -um-動詞から派生したのではなく、maka-動詞の形でしか存在しないものがありました。このタイプの maka-動詞に対応する状況モードの動詞をしっかりと覚えましょう。知覚に関するものが多く、よく使われます。

行為者フォーカス・状況モード // 意味 // 非行為者フォーカス・状況モード

makaramdam	感じる	maramdaman
makakita	目にする	makita
makalimot	忘れる	ma (ka) limutan
makaintindi	理解する	maintindihan

makaalam	知る	malaman
makatanda	覚えている	matandaan
makaranas	経験する	maranasan
makaamoy	においがする	maamoy
makaalaala	思い出す	maalaala

Ano ang nararamdaman ninyo? 何を感じますか。 →どんな症状ですか。

Ano ang nakita mo kagabi? 昨夜、何を見たのですか。

Hindi kita malilimutan. あなたのことは忘れません。

Naiintindihan ko ang Filipino. 私はフィリピン語がわかります。

Gusto kong malaman ang katotohanan. 私は事実を知りたいのです。

Hindi ko siya natatandaan. 私は彼を覚えていません。

Naranasan mo ba ang kahirapan sa bahay? 人生の厳しさを経験しましたか。

Naaamoy ko ang paborito kong aroskaldo. 私の好きなおかゆのにおいがします。

Naaalaala mo ba ako? 私のことを思い出しましたか。

III. 天候・気象現象を表す動詞の中にも、状況モードになる動詞があります。これらの動詞は行為者である天候・自然現象が、語根の中に組み込まれているので、ng 句の行為者なしで使われます。

ang 句で表され、主語となるのは、天候・自然現象の影響を受ける人（または生物）です。

Naulanan ako kanina. さっき雨に降られました。

Baka mahanginan ka. 風に吹かれるかもしれません。

Hindi tayo dapat maarawan. 日にあたらないようにしましょう。

Nakidlatan si Mang Andoy at namatay. アンドイさんは雷に打たれて死にました。

(Step1) : 非行為者フォーカス動詞の状況モード

Pinatay (patayin) ng sundalo ang kaaway. (兵士は敵を殺しました。)

Napatay (mapatay) ng sundalo ang kaaway. (兵士はたまたま敵を殺してしまいました。)

Baka ipagluto ka niya. (彼女があなたのために料理するでしょう。)

Baka maipagluto ka niya. (彼女があなたのために料理することができるでしょう。)

Nasira ang makina. (機械は壊れました。)

Nasira niya ang makina. (彼は不本意にも機械を壊してしまいました。)

Naiintindihan ko ang Filipino. (私はフィリピン語がわかります。)

Hindi ko siya natatandaan. (私は彼を覚えていません。)

Naulanan ako kanina. (さっき雨に降られました。)

Baka mahanginan ka. (風に吹かれるかもしれません。)

Step2 : 近完了表現

フィリピン語では「～したばかり」という表現は、相 (aspect) では表しません。代わりに行為者フォーカス動詞の語根 / 語幹の第1音節の子音と母音を重複したものに、接辞の ka- を添加した形で表現します。なお、行為者は ng 句で表されます。

Kaaalis lang ng mga pulis. 警察官たちは今ちょうど立ち去ったところです。

Kararating ko lang dito. 私は今ちょうど到着したばかりです。

Step2 : 近完了表現

行為者フォーカス動詞と近完了表現の関係を表にすると以下ようになります。ng 句の行為者がいない文は受身のように訳すとよいでしょう。

基本形 近完了

umalis kaaalis 立ち去ったばかり
 dumating kararating 到着したばかり
 magluto kaluluto 料理したばかり
 maglinis kalilinis 掃除したばかり
 manganak kapapanganak 産んだばかり
 manood kapapanood 見たばかり
 makinig kapapakinig 聞いたばかり

Kaluluto lang ng hamon. ハムは料理できたばかりです。
 Kapapanganak lang niya ng kambal. 彼女は双子を産んだところです。
 Kapapanganak lang ng kambal. 双子は産まれたばかりです。
 Kapapanood lang namin ng sine. 私たちは今ちょうど映画を観たところです。

(Step2) : 近完了表現

Kaluluto lang ng hamon. (ハムは料理できたばかりです。)
 Kapapanganak lang niya ng kambal. (彼女は双子を産んだところです。)
 Kapapanganak lang ng kambal. (双子は産まれたばかりです。)
 Kapapanood lang namin ng sine. (私たちは今ちょうど映画を観たところです。)

Lesson21 : 使役動詞について

この課では使役動詞と使役動詞が述語の位置にくる使役文について学習します。使役動詞と区別するため、今まで学んできた動詞をまとめて被使役動詞と呼ぶことにします。また使役文には、今まで学んできた動詞文と違い、動作をさせる人と、実際に動作を行う人の両者が登場します。

Step1 : 使役者フォーカス動詞の magpa-動詞

使役文には、今まで学んできた動詞文に登場したさまざまな補語に加えて、使役者補語が登場します。使役者補語とは、使役動詞が示すところの動詞を指示・許可・依頼する人です。なお、使役文においては実際に動作を行う人は行為者補語ではなく、被行為者補語と呼びます。ここではまず使役者補語を主語にする使役者フォーカス動詞と、この動詞が述語の位置にきた使役文について学びます。

Nagpauwi ako ng mga bata. 私は子供たちを帰らせました。
 使役者補語 被使役者補語
 Nagpabili ako ng bigas kay Leo. 私はレオに米を買わせました。
 使役者補語 目的補語 被使役者補語
 Nagpahanda ako ng miryenda kay Carmen para sa mga bisita.
 使役者補語 目的補語 被使役者補語 恩恵補語
 私はカルメンにお客さん用におやつを用意させました。

Step1 : 使役者フォーカス動詞の magpa-動詞

I. 使役者補語を主語にする使役者フォーカス動詞は〈magpa- + 語根 / 語幹〉で表されます。今まで学んだ行為者フォーカス動詞の接辞を magpa- で置き換えると、使役者フォーカス動詞になります。使役者フォーカス動詞の主語は ang 句で表されている使役者補語です。なお、使役者フォーカス動詞は全て他動詞です。

基底となる行為者フォーカス動詞	使役者フォーカス動詞
umuwi	magpauwi
bumili	magpabili
mag-aral	magpaaral
maghanda	magpahanda
magtanim	magpatanim

manood
matulog
mahiga

magpapanood
magpatulog
magpahiga

- Pumasok siya sa kuwarte. 彼は部屋に入りました。
行為者補語 方向補語
- Nagpapasok siya ng mga bata sa kuwarte. 彼は子供たちを部屋に入れさせました。
行為者補語 目的補語 方向補語
- Nagtanim ako ng palay. 私は稲を植えました。
行為者補語 目的補語
- Nagpatanim ako ng palay sa mga magsasaka 私は農民に稲を植えさせました。
行為者補語 目的補語 被使役者
- Natutulog si Pia. ピアは寝ています。
行為者補語
- Nagpapatulog si Pia ng sanggol. ピアは赤ちゃんを寝かせています。
行為者補語 目的補語

II. magpa-動詞の活用は以下のようになります。

不定形	magpaaral	magpatanim
完了相	nagpaaral	nagpatanim
継続相	nagpapaaral / nagpaaaral	nagpapatanim/ nagpatatanim
未然相	magpapaaral / magpaaaral	magpapatanim/ magpatatanim

継続・未然相においては、接辞の一部の **-pa-** を重複する場合と、語根の第1音節の子音と母音（あるいは母音のみ）を重複する場合があります。

III. magpa-動詞が述語の位置にくる使役文で、補語が **ang** 句で表される使役者補語しかないものがあります。このような文は、使役者が「～させる」ところの行為が、使役者自身になされると解釈できます。

- Nagpapapayat si Nene. ネネは自身をやせさせています。
Nagpapagutom ang mga manggagawa. 労働者はハンストを行っています。
Nagpapalamig si Ramon sa lilim. ラモンは木陰で涼んでいます。
Nagpapaulan ang mga bata. 子供たちは雨に打たれています。
Huwag tayong magpaaraw. 日にあたるのはやめましょう。

(Step1) : 使役者フォーカス動詞の magpa-動詞

- Pumasok siya sa kuwarte. (彼は部屋に入りました。)
Nagpapasok siya ng mga bata sa kuwarte. (彼は子供たちを部屋に入れさせました。)
Nagpatanim ako ng palay sa mga magsasaka. (私は農民に稲を植えさせました。)
Nagpapapayat si Nene. (ネネは自身をやせさせています。)
Nagpapagutom ang mga manggagawa. (労働者はハンストを行っています。)
Huwag tayong magpaaraw. (日にあたるのはやめましょう。)

Step2 : 被使役者フォーカス動詞の pa- -in 動詞と pag- -in 動詞

ここでは実際に動作を行う人を表す、被使役者補語を主語にする、被使役者動詞について学びます。被使役者動詞には **pa- -in** 動詞と **pag- -in** 動詞があります。基底となる行為者フォーカス動詞が **-um-**動詞（あるいは一部 **ma-**動詞）の場合は **pa- -in** 動詞に、**mag-**動詞の場合は **pag- -in** 動詞になります。また被使役者補語は、基底となる行為者フォーカス動詞が自動詞の場合は「～を」、他動

詞の場合は「～に」で表されます。

Papauwiin ko ang mga bata. 私は子供たちを帰らせます。
使役者補語 被使役者補語

Papabilhin ko si Leo ng bigas. 私はレオに米を買わせませす。
使役者補語 被使役者補語 目的補語

Papaghandain ko si Carmen ng miryenda para sa mga bisita.
使役者補語 被使役者補語 目的補語
私はカルメンにお客さん用のおやつを用意させませす。

Step2 : 被使役者フォーカス動詞の pa- -in 動詞と pag- -in 動詞

I. 被使役者フォーカス動詞の pa- -in 動詞と pag- -in 動詞と、それぞれの基底となる行為者フォーカス動詞との関係は以下のようになっています。なお、基底となる動詞が mag-動詞の場合、被使役者フォーカス動詞は本来は papag- -in ですが、活用が複雑になることを避けるためか、papag- の pa- は省略されます。

基底となる行為者フォーカス動詞 被行為者フォーカス動詞

umuwi (自)	pauwiin (帰らせる)
bumili (他)	pabilhin (買わせる)
mag-aral (他)	(pa) pag-aralin (勉強させる)
maghanda (他)	(pa) paghandain (用意させる)
magtanim (他)	(pa) pagtanimin (植えさせる)
matulog (自)	patulugin (手伝わせる)
mahiga (自)	pahigain (休ませる)

II. pa- -in 動詞と pag- -in 動詞の活用は以下のようになります。

不定形	pauwiin	patulugin	pag-aralin	pagtanimin
完了相	pinauwi	pinatulog	pinag-aral	pinagtanim
継続相	pinapauwi / pinauwi	pinapatulog / pinatutulog	pinapag-aral / pinag-aaral	pinapagtanim / pinagtanimin
未然相	papauwiin / pauwiin	papatulugin / patutulugin	papag-aralin / pag-aaralin	papagtanimin / pagtanimin

pa- -in 動詞、 pag- -in 動詞、共に継続・未然相は2通りの活用の仕方があります。

Step3 : 使役目的フォーカス動詞の ipa-動詞と pa- -an 動詞

使役文には使役者補語、被使役者補語に加え、目的補語が頻繁に現れます。ここではこの目的語補語を主語にする ipa-動詞と pa- -an 動詞を学びます。基底となる目的フォーカス動詞が -in 動詞や i-動詞であると ipa-動詞に、 -an 動詞であると pa- -an 動詞になります。

Alisin mo ito. これを取り除いて。

Ipaalis mo ito. これを取り除かせなさい。

Itapon mo ang basura. ごみを捨てて。

Ipatapon mo ang basura. ごみを捨てさせなさい。

Hugasan mo ang mga plato. お皿を洗って。

Pahugasan mo ang mga plato. お皿を洗わせなさい。

Step3 : 使役目的フォーカス動詞の ipa-動詞と pa- -an 動詞

I. ipa-動詞と pa- -in 動詞の活用は以下の通りです。

不定形	ipaluto	pahugasan
(料理してもらう)		(洗ってもらう)
完了相	ipinaluto	pinahugasan
継続相	ipinapaluto /	pinapahugasan /
	ipinaluluto	pinahuhugasan
未然相	ipapaluto /	papahugasan /
	ipaluluto	pahuhugasan

II. 基底となる被使役動詞と 2 1 課で学習している使役動詞の関係をまとめて表にすると以下のようになります。

NC	A ₁ FV	A ₂ FV	OFV
umuwi (自)	magpauwi	pauwiin	-----
pumayat (自)	magpapayat	papayatin	-----
bumili (他) / bilhin	magpabili	pabilhin	ipabili
kumain (他) / kainin	magpakain	pakainin	ipakain
magluto (他) / lutu	magpaluto	paglutu	ipaluto
maghanda (他) / ihanda	magpahanda	paghandain	ipahanda
maglaba (他) / labhan	magpalaba	paglabahin	palabhan
maghugas (他) / hagasan	magpahugas	paghugasin	pahugasan

自 = 自動詞 A₁FV = 使役者フォーカス動詞 OFV = 目的フォーカス動詞
 他 = 他動詞 A₂FV = 被使役者フォーカス動詞

Nagpabili ako ng bigas kay Leo. 私はレオに米を買わせました。
 Pinabili ko si Leo ng bigas.
 Ipinabili ko ang bigas kay Leo.

Nagpapahanda si Ate Irma ng hapunan kay Carmen.
 Pinaghahanda ni Ate Irma si Carmen ng hapunan.
 Ipinahahanda ni Ate Irma ang hapunan kay Carmen.

イルマ姉さんはカルメンに夕食を用意させています。

Nagpalaba ang nanay ng mga damit kay Rose. 母はローズに服を洗ってもらいました。
 Pinaglaba ng nanay si Rose ng mga damit.
 Pinalabhan ng nanay ang mga damit kay Rose.

(Step3) : 使役目的フォーカス動詞の ipa-動詞と pa- -an 動詞
 Nagpabili ako ng bigas kay Leo. (私はレオに米を買わせました。)
 Pinabili ko si Leo ng bigas. (私はレオに米を買わせました。)
 Ipinabili ko ang bigas kay Leo. (私はレオに米を買わせました。)
 Nagpalaba ang nanay ng mga damit kay Rose. (母はローズに服を洗ってもらいました。)
 Pinaglaba ng nanay si Rose ng mga damit. (母はローズに服を洗ってもらいました。)
 Pinalabhan ng nanay ang mga damit kay Rose. (母はローズに服を洗ってもらいました。)

Lesson22 : may, mayroon を使って不特定な行為者や目的物を表す

may/mayroon や wala を使って不特定な人や物の存在の有無を表す表現は 5 課で学びましたが、この課ではこのパターンを使い、不特定な動作の行為者や、動作の対象となる目的物を表す表現を学びます。加えて ay を使って主語や述語の位置が入れ替わる倒置文を学びます。

Step1 : may, mayroon, wala を使って不特定な行為者や対象の存在の有無を表す

主語と述語で構成されている動詞文は、動作を行う人や動作の対象となる物(生物を含む)がはっきりしている(特定化されている)ときに使われる文です。一方、動作を行う人や動作の対象となる物がはっきりしていない場合、つまり不特定であるときは〈may / mayroong + 名詞句〉、あるいは〈walang + 名詞句〉のパターンで表現します。行為者が不特定である場合は、名詞句の名詞を修飾するのは行為者フォーカス動詞、対象となる物が不特定である場合は目的フォーカス動詞です。

Tumulong sa kanya ang mga magsasaka. 農民たちが彼を助きました。

May/Mayroong tumulong na magsasaka sa kanya. 彼を助けた農民たちがいます。

Ibinigay niya sa akin ang pasalubong. 彼は私にお土産をくれました。

Mayroon siyang ibinigay na pasalubong sa akin. 彼は私に何かお土産をくれました。

Step1 : may, mayroon, wala を使って不特定な行為者や対象の存在の有無を表す

「～があります / います」、あるいは「～がありません / いません」という不特定な人や物の存在の有無は〈may / mayroong + 名詞句〉、あるいは〈walang + 名詞句〉のパターンを使って表しますが、この同じパターンを使って不特定な行為者や動作の対象となる物や人を表します。ただしこの場合、名詞句を構成する名詞が省略されることが多いと言えます。その結果、あたかも may / mayroong, walang の後には名詞句ではなく行為者フォーカス動詞、あるいは目的フォーカス動詞だけが続いているようなパターンの文になります。

1) 不特定な行為者の存在の有無を表す

may

mayroong + 行為者フォーカス動詞を含む名詞句

walang 行為者フォーカス動詞

maraming

May dumating na grupo kanina. さっき到着したグループがいます。

May dumating kanina. さっき到着した人がいます。

Mayroong nagweling manggagawa sa pabrikang iyon.

あの工場でストライキをした労働者がいます。

Mayroong nagwelga sa pabrikang iyon. あの工場でストライキをした人がいます。

Wala pang umabot na Hapones sa lugar na iyon. あの土地にたどり着いた日本人はいません。

Wala pang umabot sa lugar na iyon. あの土地にたどり着いた者はいません。

Maraming nagsalitang aktibista sa rally. 集会で演説した活動家がたくさんいます。

Maraming nagsalita sa rally. 集会で演説した人がたくさんいます。

2) 不特定な対象の存在の有無を表す

may

mayroon + 目的フォーカス動詞を含む名詞句

walang 目的フォーカス動詞 + 〈ang 句の主語〉

maraming

May ginagawa ako araw-araw. 私は毎日することがあります。

May ginagawa akong trabaho araw-araw. 私は毎日する仕事があります。

May sasabihin si Tony sa iyo. トニーはあなたに言うことがあります。

Mayroon akong dadalhing bagahe sa iyo. 私はあなたに持って行く荷物があります。

Mayroon akong dadalhin sa iyo. 私はあなたに持って行くものがあります。

Wala akong ibibigay na regalo sa iyo. 私はあなたにあげるプレゼントがありません。

Wala akong ibibigay sa iyo. 私はあなたにあげるものがありません。

Wala silang kinikitang pera. 彼らには稼げるお金がありません。

Wala silang kinikita. 彼らには稼げるものがありません。

Maraming inaalagaang orkid si Pamela. パメラには育てているランがたくさんあります。

Maraming inaalagaan si Pamela. パメラには育てているものがたくさんあります。

(Step1) : may, mayroon, wala を使って不特定な行為者や対象の存在の有無を表す

May dumating na grupo kanina. (さっき到着したグループがいます。)

May dumating kanina. (さっき到着した人がいます。)

Maraming nagsalitang aktibista sa rally. (集会で演説した活動家がたくさんいます。)

Maraming nagsalita sa rally. (集会で演説した人がたくさんいます。)

Mayroon akong dadalhing bagahe sa iyo. (私はあなたに持って行く荷物があります。)

Mayroon akong dadalhin sa iyo. (私はあなたに持って行くものがあります。)

Maraming inaalagaang orkid si Pamela. (パメラには育てているランがたくさんあります。)

Maraming inaalagaan si Pamela. (パメラには育てているものがたくさんあります。)

Step2 : 倒置文

タガログ語における倒置文とは、記号ともいえる **ay** を使って主語と述語の位置を入れ替えたり、時や場所を表す句を一番先に出してくる文をさします。倒置文は、意味の上では本来の文と何ら変わることはありませんが、よりかしこまった文になるといえます。従って、会話というより演説調の文や書く文においてよく使われます。なお、**ay** は記号のようなものであり、これ自体は何の意味も持ち合わせません。

Malakas ang ulan. 雨が強いです。

Ang ulan ay malakas.

Umulan kahapon. 昨日、雨が降りました。

Kahapon ay umulan.

May party ngayon gabi. 今夜パーティーがあります。

Ngayon gabi ay may party.

Step2 : 倒置文

倒置文をもう少し詳しく見てみましょう。なお、**ay** の **a** は前にくる単語が母音や声門閉鎖音で終わっている場合は省略され、' **y** になることが多いといえます。

1) 基本文 1 の主語と述語が倒置された場合

Nasa bakuran ang duyan. ブランコが庭にあります。

Ang duyan ay nasa bakuran.

Kailangan namin ito. 私たちはこれが必要です。

Ito 'y kailangan namin.

May dalang pana ang mga lalaki. 男の人たちは弓矢を持ち運びます。

Ang mga lalaki ay may dalang pana.

Hindi kami sumakay ng dyipni. 私たちはジープニに乗りませんでした。

Kami ay hindi sumakay ng dyipni.

Hinahanap nila ang malaking bahay. 彼らは大きな家を探しています。

Ang malaking bahay ay hinahanap nila.

Hindi niya ako minamahal. 彼は私を愛していません。

Ako ay hindi niya minamahal.

Hindi kita babayaran. 私はあなたに（お金を）支払いません。

Ikaw ay hindi ko babayaran.

2) 基本文 1 やそうでない文における、時・場所・理由・話題などを表す句が倒置された場合

Nagkakaingin sila kung tag-init. 乾季に彼らは焼畑農耕をします。

Kung tag-init ay nagkakaingin sila.

Nagkasakit si Jun dahil sa masamang hangin. 空気が悪かったのでジュンは病気になりました。

Dahil sa masamang hangin ay nagkasakit si Jun.

Nag-uusap sila tungkol sa kinabukasan nila. 彼らは彼らの将来について話しています。

Tungkol sa kinabukasan nila ay nag-uusap sila.

Maraming hayop dati-rati sa kagubatan. かつては森に動物がいました。

Dati-rati ay maraming hayop sa kagubatan.

Sa kagubatan ay maraming hayop dati-rati.

Mainit dito ngayon. ここは今暑いです。

Dito ay mainit ngayon.

Ngayon ay mainit dito.

(Step2) : 倒置文

Nasa bakuran ang duyan. (ブランコが庭にあります。)

Ang duyan ay nasa bakuran. (ブランコが庭にあります。)

Hindi kami sumakay ng dyipni. (私たちはジープニに乗りませんでした。)

Kami ay hindi sumakay ng dyipni. (私たちはジープニに乗りませんでした。)

Nagkakaingin sila kung tag-init. (乾季に彼らは焼畑農耕をします。)

Kung tag-init ay nagkakaingin sila. (乾季に彼らは焼畑農耕をします。)

Nag-uusap sila tungkol sa kinabukasan nila. (彼らは彼らの将来について話しています。)

Tungkol sa kinabukasan nila ay nag-uusap sila. (彼らは彼らの将来について話しています。)